MITSUBISHI

sRGB

HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

はじめに

映像を見る

設定・調整する

その他

三菱 DLP® プロジェクター

形名

LVP-UD8400

取扱説明書

PJLink®

このたびは三菱 DLP® プロジェクターをお買上げいただきありがとうございました。

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。

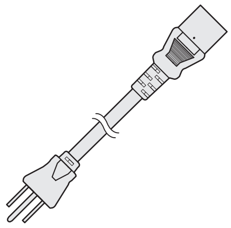
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買上げの販売店からお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

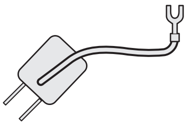
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する（このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。）

■ 電源関係

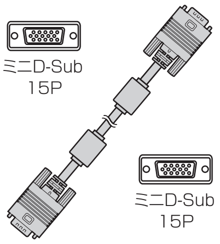


電源コード



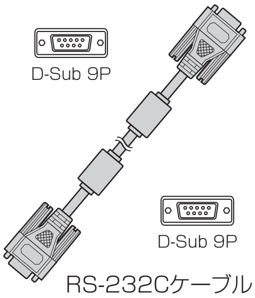
変換アダプター

■ 映像関係



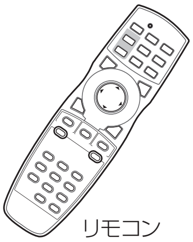
RGB信号ケーブル

■ パソコン制御関係

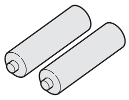


RS-232Cケーブル

■ リモコン関係



リモコン



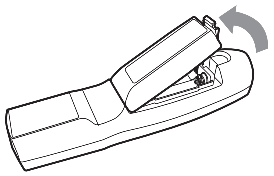
単三乾電池（2本）

■ その他

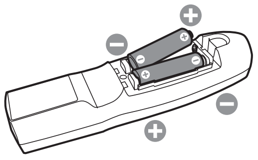
- レンズキャップ（本体に付属）
- ターミナルカバー
- ランプ交換用トレー
- 取扱説明書
- クイックスタートアップ
- 保証書
- CD-ROM
- 三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
- 三菱ロゴプレート
- 天吊り用操作部シール
- 天吊り用端子部シール

- 付属の電源コード・変換アダプターは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる

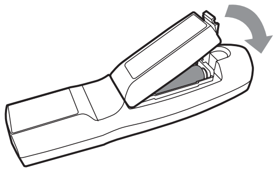


1 リモコン裏面のフタをはずす



2 乾電池の（＋）、（－）をよく確かめて、（－）側から正しく入れる

- 乾電池を（+）側から入れると、（―）側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。



3 裏面のフタを付ける

- 乾電池は、単三乾電池（R6）を 2 本お使いください。
- リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2 本とも新しい乾電池に交換してください。

リモコンから乾電池を取り出す

- リモコンの裏面のフタをはずし、乾電池を取り出してください。

⚠注意

- 乾電池は、7 ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」をよく読んで、正しくお使いください。使用を誤ると、液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります（乾電池に表示されている注意事項もお読みください）。
- このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつ、そのコンセントには容易にアクセスできなければなりません。
- 本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
- J55022 クラス B 装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属の RGB 信号ケーブルと RS-232C ケーブルおよびシールドされた LAN ケーブルをご使用ください。
- 本機は必ず接地してください。

もくじ

はじめに

安全のために必ずお守りください........4
各部のなまえ........8
- 本体のなまえ........8
- リモコンのなまえ........9

リモコンの使いかた........10

映像を見る

設置する........12
コンピューターの映像を見る........19
- A. コンピューターと接続する........19
- B. ターミナルカバーを取り付ける........20
- C. 投写する........20
- D. アスペクト比（画角）の設定について........22

プレゼンテーションを演出する........23
- 映像を一時的に消す（BLANK）........23
- コンピューター映像とビデオ映像を同時に見る（2 画面表示）........23
- 起動時などの画面を変更する........24

ビデオ機器の映像を見る........25
- A. ビデオ機器と接続する........25
- B. ターミナルカバーを取り付ける........26
- C. 投写する........27

設定・調整する

メニューを使って設定する........28
- メニューの設定のしかた........29

映像を調整する........39
- 映像の明るさを調整する（コントラスト、ブライト）........39
- 色を調整する（色の濃さ、色合い）........39
- 映像をくっきりさせたり、ソフトにしたりする（シャープネス）........39
- 白の色合いを調整する（色温度の詳細設定）........39
- 独自の明るさと色合いを設定する（カラーエンハンサーの詳細設定）........39
- 映像の繊細感を調整する (SUPER RESOLUTION)........40
- 色ごとの色合いを調整する (NCM)........40
- コンピューター映像の調整........41
- マルチ画面の映像の調整........43

その他

ネットワークの初期設定........45
ランプリレーについて........48
パスワードを設定する........50
コンピューターによる監視と制御........51
SERIAL 端子による監視と制御........53
制御盤などによる制御........54
設置工事を依頼するときは........55
自動クリーニングフィルターについて........56
お掃除のしかた........57
光源ランプを交換する........58
故障かなと思ったら........60
仕様........63
- 別売品........63
- 接続できる信号の種類........64

索引........65
- 端子について........65

インジケーターの見かた........66
保証とアフターサービス........67

商標および著作権について

- DLP®(Digital Light Processing®)、DMD、BrilliantColor™は、米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac は、Apple Inc. の商標です。
- PJLink は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
- Crestron RoomView Connected は、Crestron Electronics, Inc. の商標です。
- その他、本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

- アスペクト比の切り換えについて
  - 本機はアスペクト比切り換え機能（22 ページ）を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
  - 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換えを利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください	絶対に水にぬらさないでください
絶対にぬれた手で触れないでください	絶対に水場では使用しないでください	必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

⚠ 警告

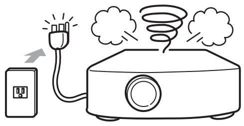
故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く !!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください (67 ページ参照)。

プラグを抜く

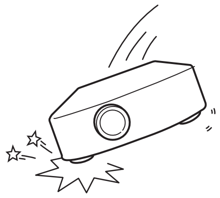
煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く !!



プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

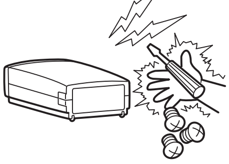


使用禁止

火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

キャビネットをはずしたり、改造しない

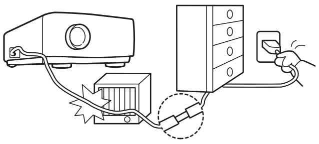


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検･調整･修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

電源コードを傷つけない

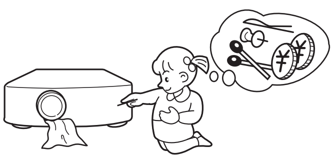
- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない



禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

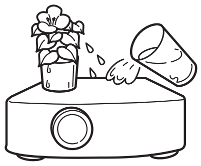
内部に異物を入れない



禁止

金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



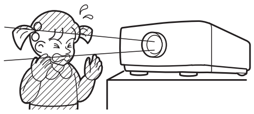
禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

⚠警告

次のようなことはしない（つづき）

レンズをのぞかない

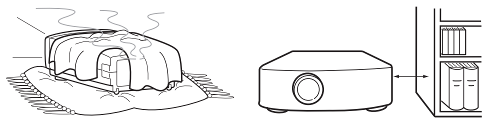


禁止

光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない（壁から 50cm 以上離す）
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



禁止

吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

接触禁止

感電の原因となります。

たこ足配線をしない

火災の原因となります。

禁止

電源コードの延長をしない

火災の原因となります。

禁止

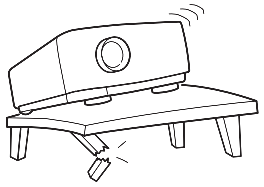
可燃性の溶剤（ベンジンやシンナーなど）やスプレーを近くで使用しない

禁止

ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

次のような場所に置かない

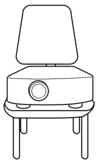
不安定な場所には置かない



禁止

（特に上下逆さまに置いた状態で）ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

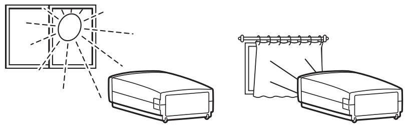
ソファー、椅子などの上に置かない



禁止

吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

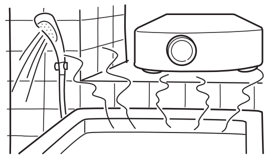
直射日光の当たる場所に置かない
レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



禁止

火災や故障の原因となります。

風呂場では使わない



水場での
使用禁止

火災や感電の原因となります。

その他

定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使う

指定以外のコンセントで使用すると、火災や感電の原因となります。
また、必ず漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。

定格 15A
交流 100V

使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

禁止

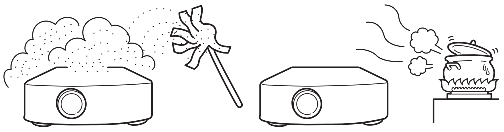
安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠注意

次のような場所には置かない

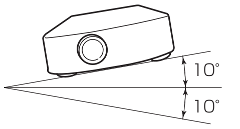
設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具や加湿器の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所



設置禁止

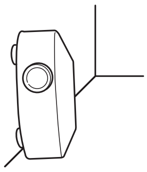
傾けた状態で動作させない



禁止

左右方向に傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。左右方向に対して± 10゜を超えて傾けた状態で動作させないでください。また、傾けた状態で設置する場合、すべり落ちることがあるので、台などに固定して使用してください。

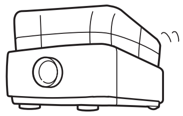
立てた状態で置かない



禁止

倒れて、けがや故障の原因となります。

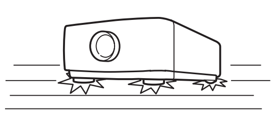
重いものを置かない、踏み台にしない



禁止

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

ワックスのかかった床に直接置かない

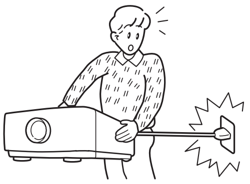


設置禁止

床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

電源コード・プラグについて

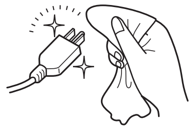
接続したまま移動させない



禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

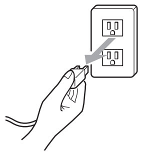
電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取る

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
1 年に 1 回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

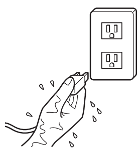
電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

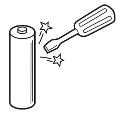
⚠注意

乾電池の取り扱いについて

新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。

禁止

分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。

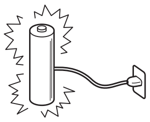


禁止

プラス（+）とマイナス（－）の向きを正しく入れる。

正しく入れる

乾電池を充電しない。
充電式の電池は使用しない。



禁止

- 乾電池は、（－）側から入れてください。
  乾電池を（+）側から入れると、（－）側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
- 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。
- 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 使用済みの乾電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。
- 乾電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。

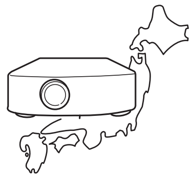
その他

1 年に一度は内部の掃除を依頼する

内部掃除

三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむりなどにより内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災、故障や光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

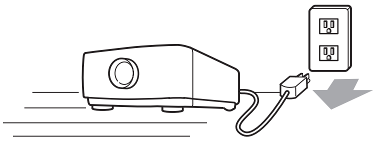
このプロジェクターは日本国内専用です



日本専用

電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

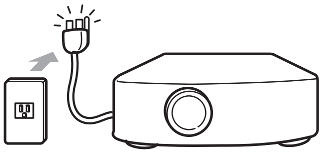
ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ（待機状態）にします。**約 2 分間**待ったあと、主電源スイッチを切り、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
スタンバイにして約 2 分間待つのは、光源ランプを冷やすために吸・排気ファンが回っているからです。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



プラグを抜く

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。

接触禁止

海抜 2700m 以上での使用は避ける

海抜 2700m 以上での使用は、製品の寿命に影響する恐れがあります。（海抜 2000m から 2700m までの場合は高地モードを「高地」に設定してご使用ください。）

注意

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。

禁止

結露した状態で使用しない

結露した状態で使用すると、故障やその他の不具合が発生する原因となることがあります。

禁止

レンズシフト動作中はレンズ開口部に手を入れない

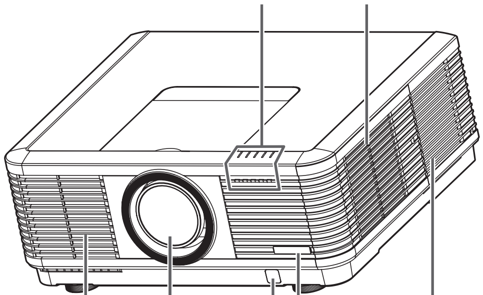
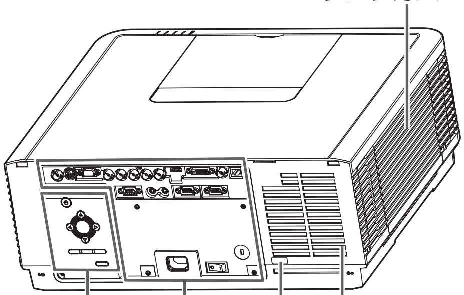
手（指）がはさまれ、けがの原因となることがあります。

手はさみ注意

各部のなまえ

本体のなまえ（○は参照ページ）

本体

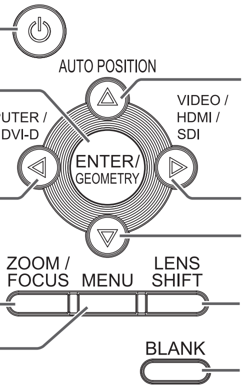



⚠注意

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

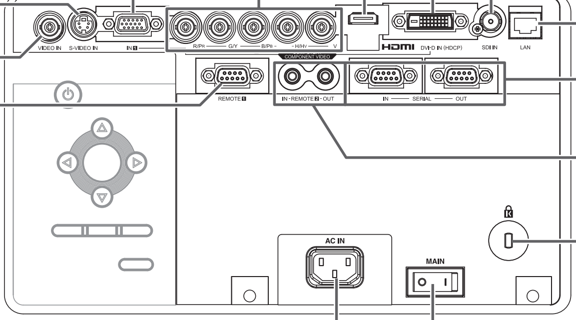
操作部

天吊りで使用するときは、付属の天吊り用操作部シールを貼り付けてください。
各ボタンの動きを妨げないように注意して貼り付けてください。



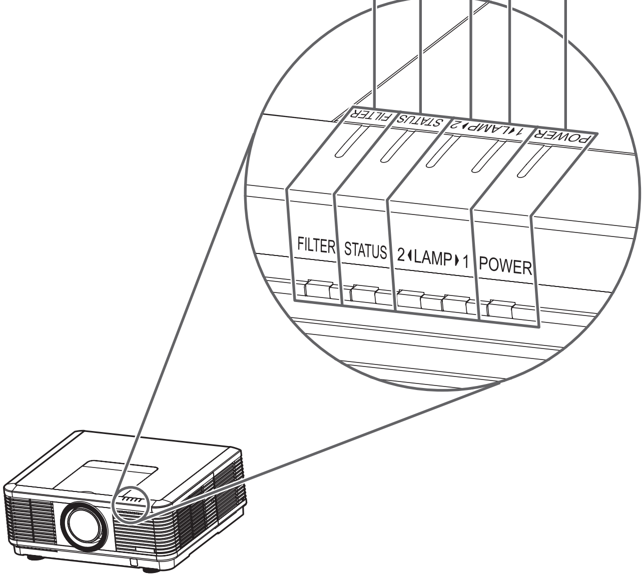
端子部

天吊りで使用するときは、付属の天吊り用端子部シールを貼り付けてください。

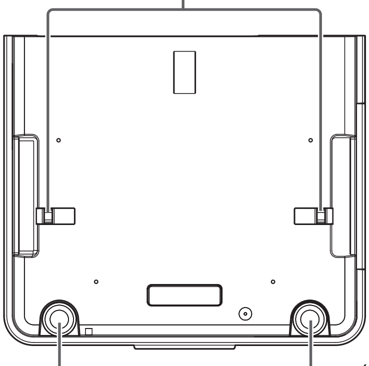


※1：コンピューターで本機を制御するときに使用します。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

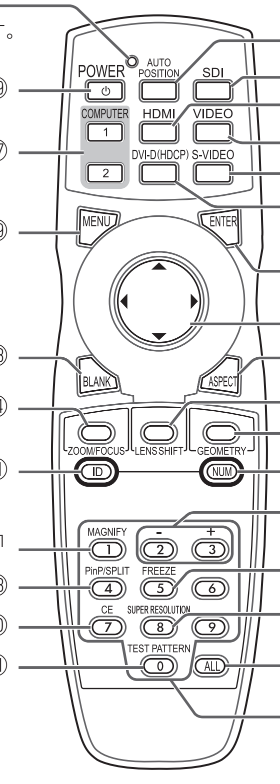
インジケーター部

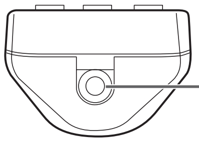


底面部



リモコンのなまえ（〇は参照ページ）





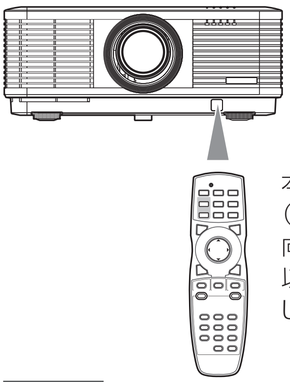
※1：MAGNIFY ボタンは、このプロジェクターでははたらきません。
※2：PinP/SPLIT ボタンは、このプロジェクターでは SPLIT としてはたらきます。（PinP ボタンとしては、はたらきません。）
※3：数字（0 ～ 9）ボタンを使用するときは、ID ボタンまたは NUM ボタンを押しながら数字（0 ～ 9）ボタンを押してください。

リモコンの使いかた

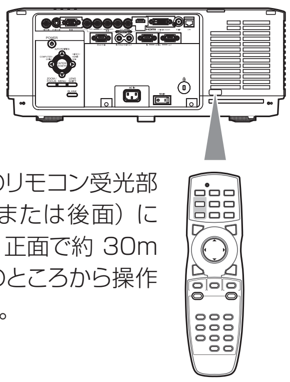
ワイヤレスリモコンとして使う

操作距離範囲

本体前面

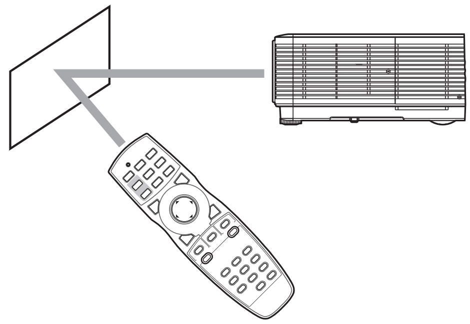


本体後面



本体のリモコン受光部（前面または後面）に向け、正面で約 30m 以内のところから操作します。

リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することはできますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作距離範囲に制限が出る場合があります。

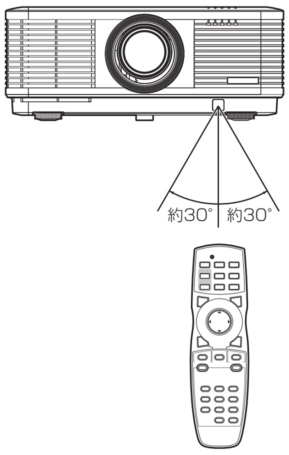


お知らせ

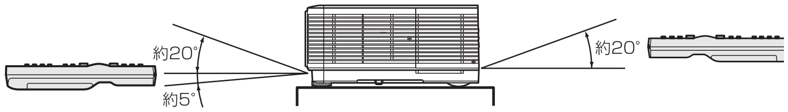
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は 2m 以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバーター方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけ過ぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。
- ターミナルカバーを取り付けると、後方からのリモコンが効きにくくなることがあります。

操作角度範囲

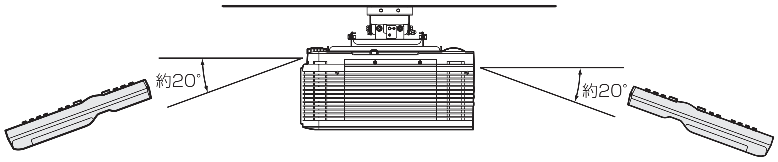
左右方向



上下方向（床置き時）

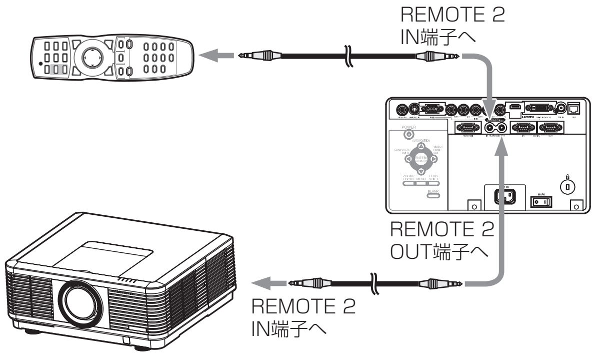


上下方向（天吊り時）



ワイヤードリモコンとして使う

本機に付属のリモコンは、リモコンケーブルを接続することにより、ワイヤードリモコンとしても使えますので、操作範囲からはずれていても確実に遠隔操作することができます。

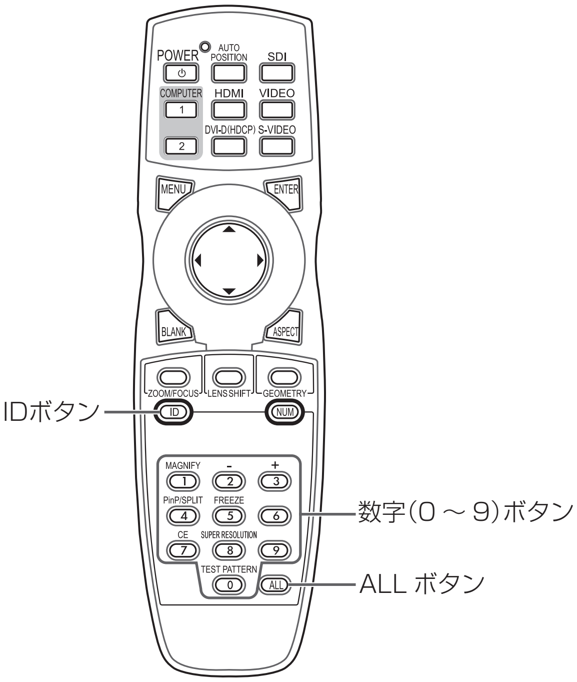


お知らせ

- 接続には、市販のφ 3.5 ステレオタイプのピン－ピンケーブルをご使用ください。ただし、ケーブルによっては正しくはたらかないことがあります。
- 本機の REMOTE2 OUT 端子ともう 1 台のプロジェクターの REMOTE2 IN 端子をピン－ピンケーブルで接続すると、2 台同時に操作することができます。
- リモコンケーブルが本機に接続されているときは、ワイヤレスリモコンとしては、はたらきません。
- 長期間ワイヤードリモコンとしてご使用の場合は、リモコンから乾電池を取り出してください。（取り出したあとは、7 ページの「乾電池の取り扱いについて」に従って取り扱ってください。）

リモコンに ID 番号を設定する

本機のリモコンに ID 番号（リモコン ID）を設定することで、1 つのリモコンで複数のプロジェクターの同時制御や個別制御を行うことができます。
リモコンを使用して複数のプロジェクターを制御するには、あらかじめ本機の ID 番号（プロジェクター ID）をリモコンに設定する必要があります。
制御できる ID 番号は「01」～「63」の 2 桁の番号または、「ALL」です。それ以外の番号は設定できません。
- 本機の ID 番号の設定は 53 ページをご覧ください。



リモコン単体で設定する

1 **リモコンの「ID」ボタンを押しながら「数字(0 ～ 9)」ボタンを押して ID 番号（2 桁）を設定する またはリモコンの「ID」ボタンを押しながら「ALL」ボタンを押す**

- リモコンの「ID」ボタンを押していない状態で「数字（0 ～ 9)」ボタンまたは「ALL」ボタンを押しても ID の設定はできません。
- リモコン ID はリモコン単体で設定しますが、リモコンをプロジェクターに向けて設定すると、設定状況を画面で確認することができます。

プロジェクターを使用して設定する

1 **リモコンをプロジェクターに向けて「リモコン単体で設定する」の操作をする**

画面右上に ID 設定ダイアログが表示されます。

プロジェクター ID	XX
リモコン ID （01 - 63/ALL）	YY → ZZ

XX：現在のプロジェクター ID を表示。（プロジェクター ID が「ALL」のときは「ALL」を表示）
YY：現在設定されているリモコン ID を表示。（リモコン ID が「ALL」のときは「ALL」を表示）
ZZ：設定変更するリモコン ID を表示。（リモコン ID が「ALL」のときは「ALL」を表示）

- リモコン ID を入力する前は「＊＊」と表示されます。「数字（0 ～ 9)」ボタンを押すごとに 2 桁の数字の上の位から入力されます。

リモコン ID の設定ができた場合

プロジェクター ID	XX
リモコン ID （01 - 63/ALL）	YY → ZZ 完了

設定したリモコン ID 番号の下に「完了」が表示されます。
- ID 設定ダイアログは約 5 秒間表示されたあと、自動的に消えます。
- ID 設定ダイアログ表示中に「ID」ボタン、「数字（0 ～ 9)」ボタン、「ALL」ボタン以外のボタンを押すとダイアログが消えます。

リモコン ID の設定ができなかった場合

プロジェクター ID	XX
リモコン ID （01 - 63/ALL）	YY → ZZ エラー

設定したリモコン ID 番号の下に「エラー」が表示されます。
- ID 設定ダイアログは約 5 秒間表示されたあと、自動的に消えます。
- ID 設定ダイアログ表示中に「ID」ボタン、「数字（0 ～ 9)」ボタン、「ALL」ボタン以外のボタンを押すとダイアログが消えます。

お知らせ
- ID 番号は「01」～「63」の 2 桁の番号で設定します。それ以外の番号は無効となります。
- プロジェクターの ID 番号を「01」～「63」に設定した場合は、リモコンの ID 番号をプロジェクター ID に一致させるか「ALL」に設定すると制御が行えます。
- プロジェクターの ID 番号を「ALL」に設定した場合は、リモコンの ID 番号にかかわらずリモコンで制御できます。
- プロジェクターの ID 番号がわからない場合は、リモコンの ID 番号を「ALL」に設定することで、ID 番号にかかわらずプロジェクターの制御が行えます。

設置する

設置する前に

設置する前に本機を使用する環境を確認してください。
環境条件が合っていないと、プロジェクターの故障や不具合の原因となります。

本機の設置環境

投写角度により使用可能温度が異なります。
床置き（投写角度 0°）および天吊り（投写角度 180°）使用時：5℃～ 40℃
その他の角度で使用時：5℃～ 35℃
高地モード（15、31 ページ参照）で使用時は、5℃～ 35℃となり、床置き、天吊り使用のみ可能です。

スクリーンの設置

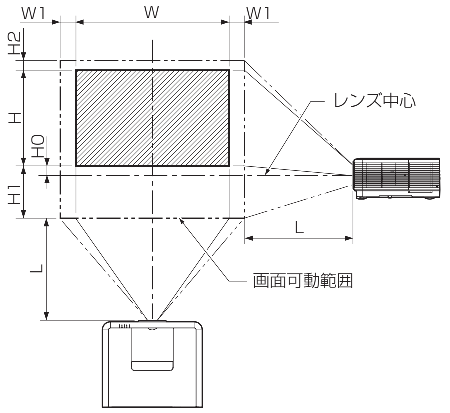
スクリーンはプロジェクターに対して垂直になるように設置してください。垂直に設置できない場合は、プロジェクターの投写角度を調整してください。（14、15 ページ参照）

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。
- スクリーンを直射日光や照明の光の当たる場所に設置しないでください。スクリーンに直接当たる光で画面が白っぽくなり、投写映像が見にくくなります。

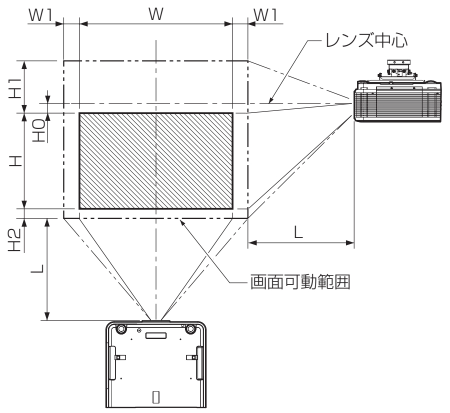
画面サイズと投写距離

下記の表を参考にスクリーンサイズと投写距離を決めてください。
（アスペクト比の設定については、22 ページをご覧ください。）

【床置き時】



【天吊り時】



アスペクト比の設定を「FULL」にした場合（1920×1200 画素表示）

画面サイズ（16：10）			投写距離 L		レンズシフト高さ			レンズシフト幅
(形)	幅 W(cm)	高さ H(cm)	最短(m)	最長(m)	基準 H0(cm)	移動量 H1(cm)	移動量 H2(cm)	移動量 W1(cm)
40	86	54	1.4	1.9	0	26	10	8
60	129	81	2.1	2.9	0	39	15	12
80	172	108	2.8	3.9	0	52	20	17
100	215	135	3.6	4.9	0	66	25	21
150	323	202	5.4	7.4	0	98	37	31
200	431	269	7.2	9.9	0	131	50	42
250	538	337	9.1	–	0	164	62	52
300	646	404	10.9	–	0	197	75	62

アスペクト比の設定を「16:9」にした場合（1920×1080 画素表示）

画面サイズ（16：9）			投写距離 L		レンズシフト高さ			レンズシフト幅
(形)	幅 W(cm)	高さ H(cm)	最短(m)	最長(m)	基準 H0(cm)	移動量 H1(cm)	移動量 H2(cm)	移動量 W1(cm)
40	89	50	1.4	2.0	3	27	10	9
60	133	75	2.2	3.0	4	40	15	13
80	177	100	2.9	4.0	6	54	20	17
100	221	125	3.7	5.0	7	67	26	21
150	332	187	5.6	7.6	11	101	38	32
200	443	249	7.4	10.1	14	135	51	43
250	553	311	9.3	–	18	168	64	53

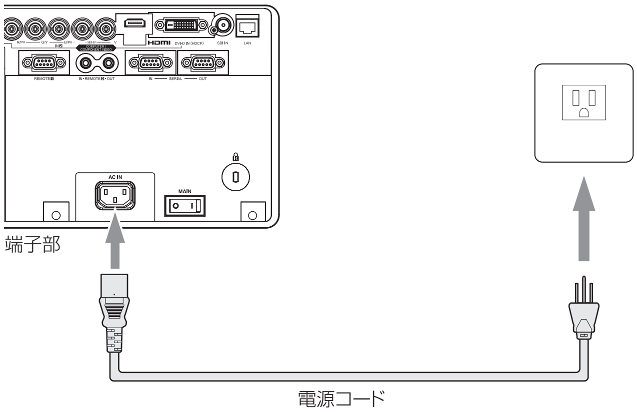
お知らせ

- 表の中の数値は、実際と数%誤差が生じることがあります。
- レンズシフト高さと幅は、工場出荷時の位置からの値を示しています。
- 設置する場所については、あらかじめ 4 ～ 7 ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。
- 天吊りにするなどの設置工事は、必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは 55 ページをご覧ください。

電源コードの接続

- 万一、本機が故障した場合においても安全性が確保できるように、漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。漏電ブレーカーを備えたコンセントがない場合は、販売店に工事をご依頼ください。

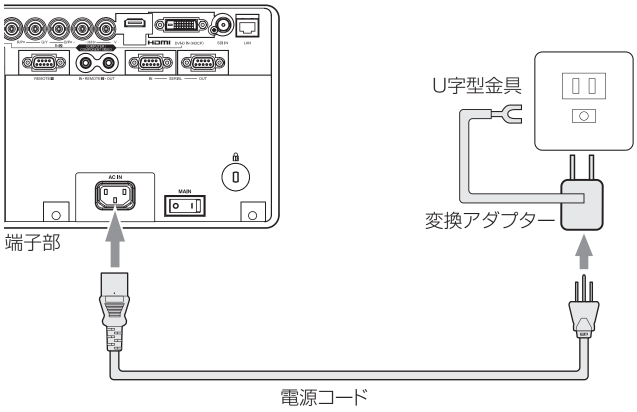
電源コンセントにアース端子の差込口が付いている場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込口が付いていない場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプターを取り付ける

3 変換アダプターの U 字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する

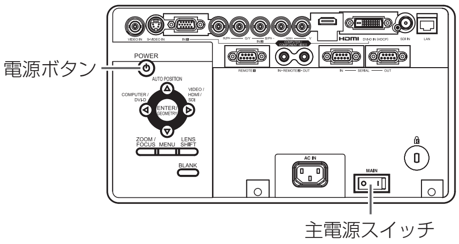
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から抜いたあとに行ってください。
- 変換アダプターのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。

4 変換アダプターを電源コンセントに差し込む

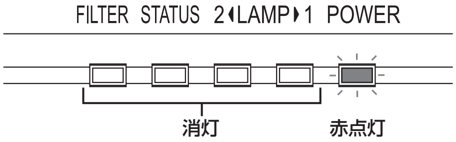
- 本機の電源は、必ずアース付き交流 100V のコンセントを使用してください。

設置の調整

電源を入れる

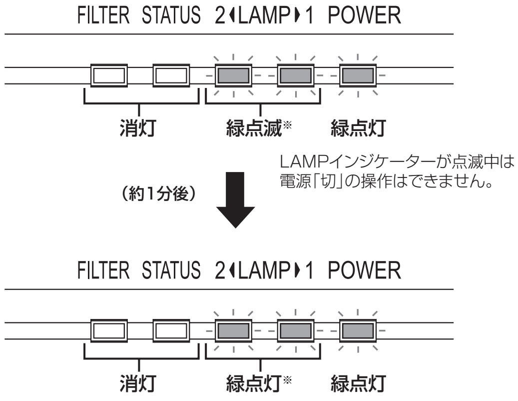


1 主電源スイッチを入れる



- POWER インジケーターが赤色に点灯します。
- 主電源スイッチを入れると、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタン（⏻）を押して、再度点灯させてください。

2 電源ボタン（⏻）を押す



※: 設置 1 メニューの「ランプ選択」の設定によって LAMP 1/LAMP 2 インジケーターのどちらかまたは両方が点灯または点滅します（66 ページ参照）。

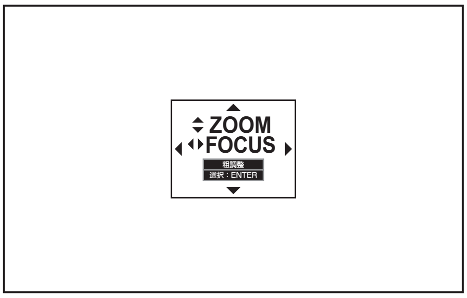
- ランプ点灯に 2 分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度電源ボタン（⏻）を押してください。
- 電源ボタン（⏻）を押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 電源を入れて 1 分後にランプ点灯が安定したあと、メニューで設定しているランプモードに切り換わります。その際、画面が乱れることがあります。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- レンズキャップ内側のアルミシートを剥がさないでください。

設置する（つづき）

投写した映像の位置を調整する

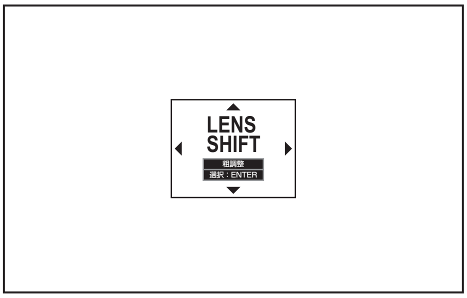
ピントを調整します。
その後、投写した映像がスクリーンからはみだすときは、設置位置を調整するか、レンズシフトでレンズ位置を調整してください。

1 ZOOM/FOCUS ボタンを押して画面にズーム／フォーカス表示を表示させる



2 ◀、▶ボタンを押してピントを調整する
- ズーム／フォーカス表示の表示中に ENTER ボタンを押すと、粗調整／微調整の切り換えができます。粗調整にすると◀、▶ボタンを押したときのピント調整の速度が速くなり、微調整にすると遅くなります。

3 LENS SHIFT ボタンを押す
- 画面中央にレンズシフト表示が表示されます。



4 ▲、▼、▶、◀ボタンを押してレンズ位置を調整する
- ▼ボタンを押すと映像が下に移動します。
- ▲ボタンを押すと映像が上に移動します。
- ▶ボタンを押すと映像が右に移動します。
- ◀ボタンを押すと映像が左に移動します。

お知らせ
- レンズシフト表示の表示中に ENTER ボタンを押すと、粗調整／微調整の切り換えができます。粗調整にすると▲、▼、▶、◀ボタンを押したときの移動量が大きくなり、微調整にすると移動量が小さくなります。
- 無信号時にズーム / フォーカスまたはレンズシフトを表示させると、画面全体にクロスハッチが表示されます。
- レンズシフト動作中、レンズ開口部に手などをはさまないよう、注意してください。
- レンズシフト動作中は画面がちらつくことがあります。

オートパワーオフの設定を変更する

本機は購入時に「オートパワーオフ」機能が設定されています。必要に応じて「オートパワーオフ」の設定を変更してください。（32 ページ参照）

オートパワーオフの設定を変更する場合
- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 設置 2 メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「オートパワーオフ」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して設定を変更する

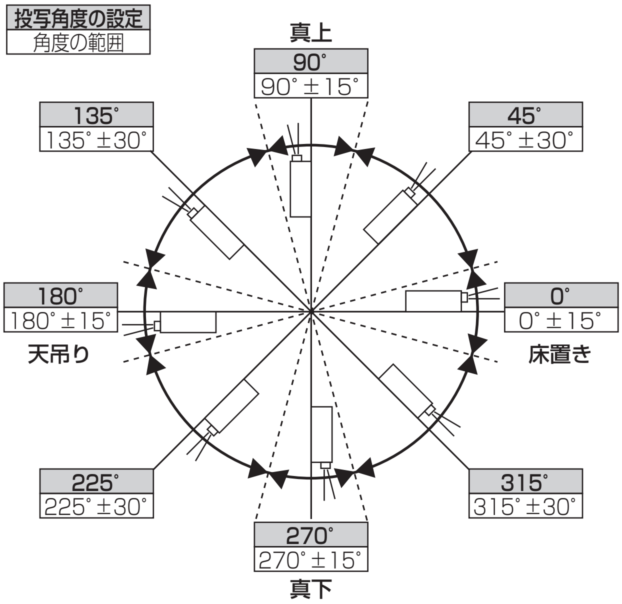
設置姿勢を設定する

本機は設置姿勢を選択することができます。設置姿勢に合わせて設置 1 メニューの「ファン制御」を設定してください。

お知らせ
- 設置姿勢と設定が合わないと、本体やランプの故障や不具合の原因となります。
- 「高地」モード（15、31 ページ）で使用するときは、設置可能な姿勢は床置き (0°)、天吊り (180°) のみです。

投写角度を設定する

- 下図に合わせて設置 1 メニューの「ファン制御」を設定してください。初期値は「0°」です。



- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 設置 1 メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ファン制御」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンを押して角度を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

お知らせ

- メニュー画面で設定した値と本機の角度が異なる場合、ファン制御設定ダイアログが表示されます。この場合は、リモコンの◀、▶ボタンを押して投写角度を選択し、ENTER ボタンを押して設定してください。

高地モードを設定する

- 使用する場所の高度に合わせて設置 1 メニューの「高地モード」を設定してください。初期値は「標準」です。
- 高度 0m ～ 2000m の場所では「標準」を選択します。
- 高度 2000m ～ 2700m の場所では「高地」を選択します。

お知らせ

- 高度 2000m 以上の場所で「標準」を選択すると、プロジェクターの故障や不具合の原因となります。
- 「高地」モードで使用するときは、設置可能な姿勢は床置き、天吊りのみです。

- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 設置 1 メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「高地モード」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンを押して「標準」または「高地」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

反転表示を設定する

- 設置した本機の向きに合わせて、設置 1 メニューの「反転表示」を設定してください。初期値は「OFF」です。
- 床置き / フロント投写のときは「OFF」を選択します。
- 天吊り / フロント投写のときは「上下左右」を選択します。
- 床置き / リア投写のときは「左右」を選択します。
- 天吊り / リア投写のときは「上下」を選択します。

- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 設置 1 メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「反転表示」を選ぶ

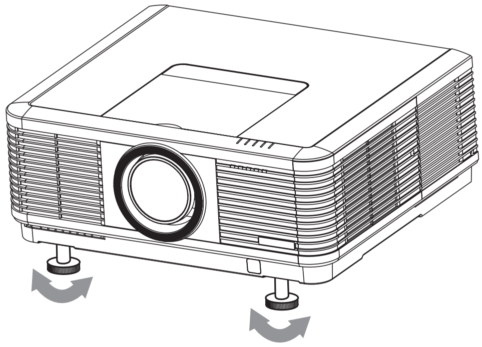
3 ◀、▶ボタンを押して「OFF」または「上下左右」、「左右」、「上下」を選ぶ

画面の傾きやひずみを調整する

スクリーンに角度がついていて画面が台形にひずんでいるときは、以下のようにして投写角度を調整してください。

1 本体を投写させたい角度まで持ち上げる

2 角度調整脚を左右に回して調整する



角度調整脚を伸ばした状態ではプロジェクターを運搬しないでください。伸ばした状態で運搬すると、調整脚が破損する恐れがあります。

スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。
スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。（14、61 ページ参照）

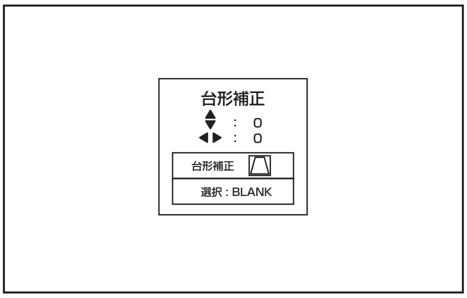
設置する（つづき）

画面がひずむときは

画面がひずむときは、台形補正、コーナー補正、曲面補正のいずれかを行って調整します。
画面が台形になるときは「台形補正」、画面の形状を微調整するときは、「コーナー補正」、曲面に投写した映像を調整するときは「曲面補正」を行います。
本体のENTER/GEOMETRYボタンまたはリモコンのGEOMETRYボタンを押すと､「台形補正」→「コーナー補正」→「曲面補正」→「通常画面」→「台形補正」･･･の順にメニューが切り換わります。

台形補正で調整する

スクリーンと本機が垂直になっていないと画面が台形になります。本機およびスクリーンを調整しても垂直にならないときは、本体のENTER/GEOMETRYボタンまたはリモコンのGEOMETRYボタンを押して「台形補正」を表示させてから、◀、▶、▲、▼ボタンを押して調整します。

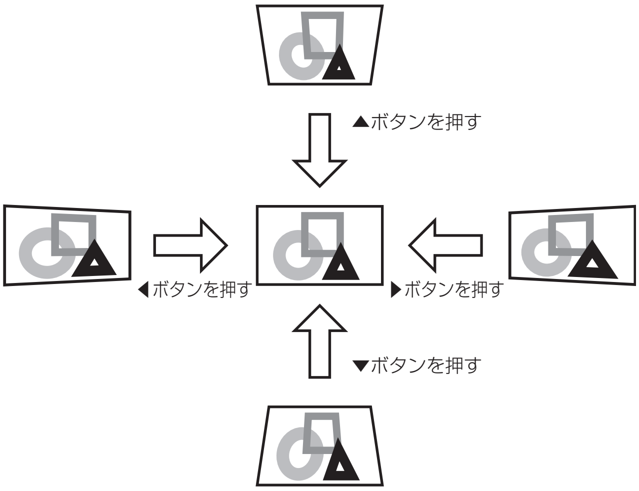


BLANKボタンを押すたびに表示が以下のとおり切り替わります。

「台形補正」→「リセット」→「台形補正」･･･

「台形補正」を表示中
画面中央を基準として、縦方向および横方向に調整します。

床置きで正面から映像を見たとき



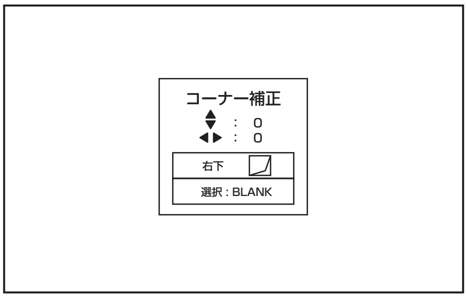
「リセット」を表示中に◀または▶ボタンを押すと、設定は初期化されます。

お知らせ

- 台形補正は、レンズ位置が工場出荷時と同じ位置のときに最適な補正が可能になります。台形補正を行うときは、あらかじめレンズシフトリセットを行ってください。（31ページ参照）
- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- 台形補正を行うと映像がひずむことがあります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、正しいアスペクト比にならない場合があります。軽度の場合はコーナー補正で調整することができます。
- 映像信号の種類と台形補正の調整値によっては、台形補正中に映像が乱れることがあります。その場合は、映像が乱れない範囲内で調整を行ってください。
- 台形補正と曲面補正を組み合わせて行うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正できる範囲が狭くなります。また、台形補正の強度を11以上に設定すると、曲面補正ができなくなります。
- オプションレンズ使用時に台形補正を行うと、正しく長方形にならない場合や正しいアスペクト比にならない場合があります。軽度の場合はコーナー補正で調整することができます。

コーナー補正で調整する

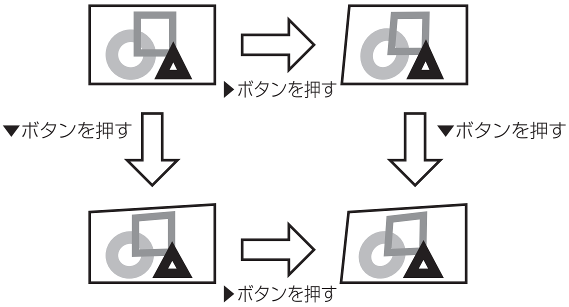
画面の形状を微調整する場合に使用します。映像をエッジブレンディング（33、43ページ参照）表示するときに、表示を調整する場合にも使用できます。本体のENTER/GEOMETRYボタンまたはリモコンのGEOMETRYボタンを押して「コーナー補正」を表示させてから、◀、▶、▲、▼ボタンを押して調整します。



BLANKボタンを押すたびに表示が以下のとおり切り替わります。

「右下」→「左下」→「右上」→「左上」→「リセット」→「右下」･･･

「右下」、「左下」、「右上」、「左上」を表示中
それぞれ選択した頂点の水平位置、垂直位置を調整します。
例：左上位置を調整する（左上）



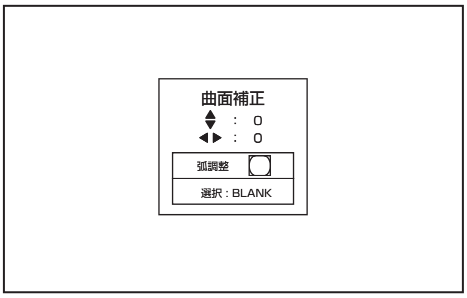
「リセット」を表示中に◀または▶ボタンを押すと、設定は初期化されます。

お知らせ

- コーナー補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- コーナー補正を行うと映像がひずむことがあります。
- 映像信号の種類とコーナー補正の調整値によっては、コーナー補正中に映像が乱れることがあります。その場合は、映像が乱れない範囲内で調整を行ってください。
- 画面の形状やアスペクト比の歪みが大きいとコーナー補正で修正しきれない場合があります。

曲面補正で調整する

曲面に投写した映像を調整するときは、本体の ENTER/GEOMETRY ボタンまたはリモコンの GEOMETRY ボタンを押して「曲面補正」を表示させてから、◀、▶、▲、▼ボタンを押して調整します。

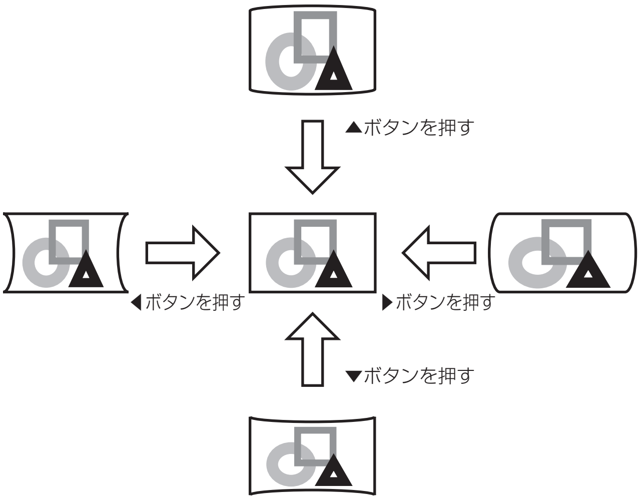


BLANK ボタンを押すたびに表示が以下のとおり切り替わります。

「弧調整」→「水平原点調整」→「垂直原点調整」→「リセット」→「弧調整」･･･

「弧調整」を表示中

画面中央を基準として、縦方向および横方向に弧の調整をします。

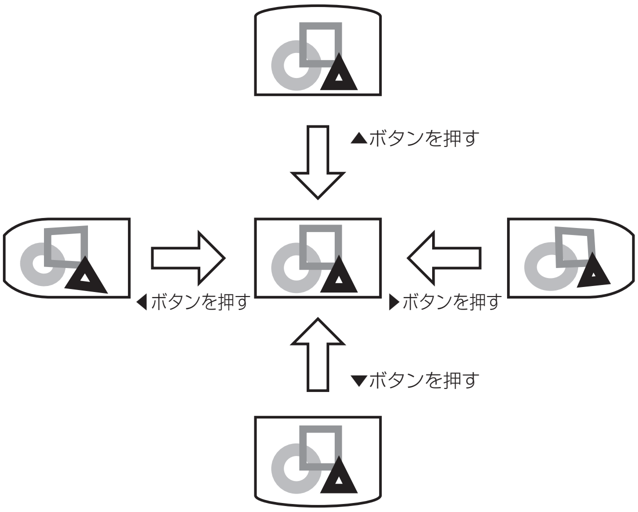


「水平原点調整」または「垂直原点調整」を表示中

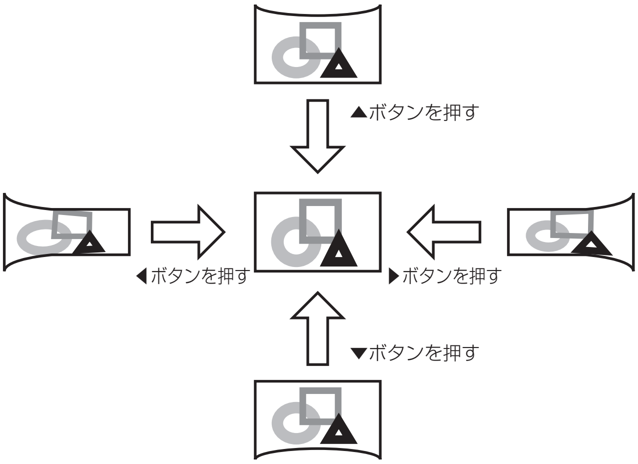
上下のどちらか一方、または左右のどちらか一方の曲面補正が過度にかかった場合に、水平弧または垂直弧に対する原点の水平位置、垂直位置を調整します。弧調整を行っていないと映像は変化しません。

水平弧に対する原点を調整する

- 水平弧の調整が「−（マイナス）」のとき（弧調整で▼方向に設定したとき）



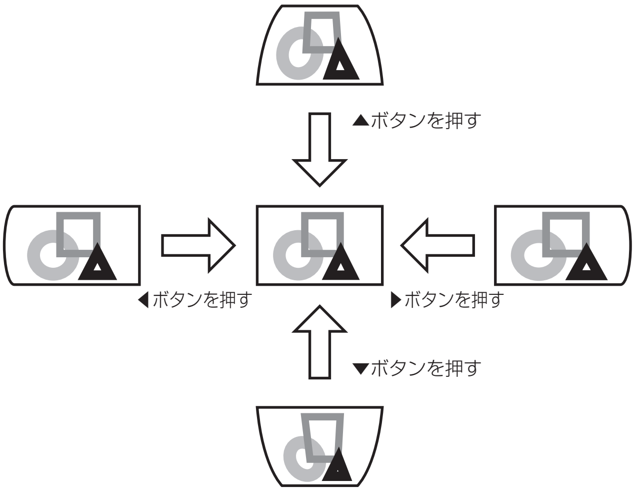
- 水平弧の調整が「＋（プラス）」のとき（弧調整で▲方向に設定したとき）



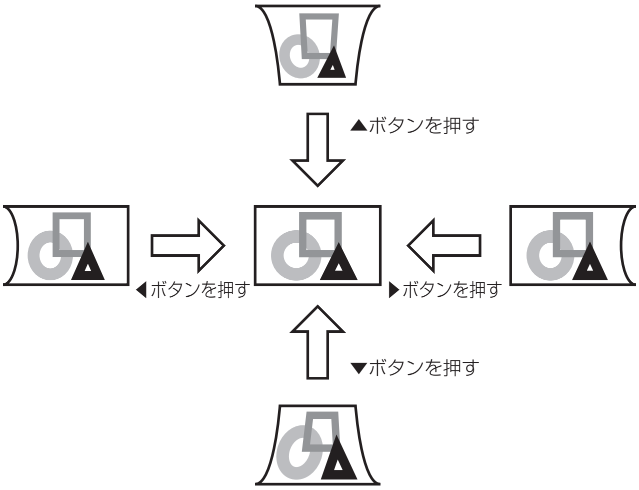
設置する（つづき）

垂直弧に対する原点を調整する

- 垂直弧の調整が「－（マイナス）」のとき（弧調整で◀方向に設定したとき）



- 垂直弧の調整が「＋（プラス）」のとき（弧調整で▶方向に設定したとき）



「リセット」を表示中に◀または▶ボタンを押すと、設定は初期化されます。

お知らせ

- 曲面補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- 曲面補正を行うと映像がひずむことがあります。
- 本体とスクリーンの設置条件や曲面補正の補正量によっては、正しく長方形にならない場合や、正しいアスペクト比にならない場合があります。軽度の場合はコーナー補正で調整することができます。
- 映像信号の種類と曲面補正の調整値によっては、曲面補正中に映像が乱れることがあります。その場合は、映像が乱れない範囲内で調整を行ってください。
- 台形補正と曲面補正を組み合わせて行うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正できる範囲が狭くなります。また、曲面補正の弧の強度を 31 以上に設定すると、台形補正ができなくなります。
- オプションレンズ使用時に曲面補正を行うと、正しく長方形にならない場合や正しいアスペクト比にならない場合があります。軽度の場合はコーナー補正で調整することができます。

本機の使用を終わるとき

1 電源ボタン（⏻）を押す

- 「電源オフ時は再度電源ボタンを押して LAMP インジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、電源ボタン（⏻）以外のボタンを押してください。または 10 秒後にメッセージは消えます。

2 電源ボタン（⏻）をもう一度押す

- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、LAMP インジケーターが点滅します。

3 LAMP インジケーターの緑点滅が消えるまで、約 2 分間そのまま待つ

- スタンバイ状態で約 2 分間待つのは、光源ランプを冷やすために、吸・排気ファンが回っているからです。
- プロジェクター周囲の温度が高くなると排気ファンの動作音が大きくなります。
- 冷却中はファンの動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

4 主電源スイッチを切る

- POWER インジケーターが消灯します。
- 吸・排気ファンの回転中またはランプの点灯中に主電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いたりした場合は、プロジェクターを冷却するため、10 分間電源を切ったままにしておいてください。ランプを再度点灯させる場合は、電源ボタン（⏻）を押してください。ランプがすぐに点灯しない場合は、数分たってから再度電源ボタン（⏻）を押してください。それでもランプが点灯しない場合は、ランプを交換してください。
- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 外部からのほこりを防ぐためにレンズキャップをしてください。
- ランプ点灯後 30 分以内に主電源スイッチを切ることを繰り返すと製品のクロック機能を誤動作させる場合があります。

ダイレクトパワーオフ

本機は、電源ボタンを押さずに、主電源スイッチを切る、または電源コードを抜いて電源を切ることができます。

- ランプ点灯後、LAMP インジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ランプ点灯後 30 分以内でのダイレクトパワーオフを繰り返すと、ランプにダメージを与える恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。（約 10 分間お待ちください。）すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニューの表示を消してください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。
- ネットワーク機能を用いて本機を制御中にダイレクトパワーオフを行うと、ProjectorView などのアプリケーションソフトに異常が発生する場合があります。動作時間、温度表示などのデータが固定した状態になる可能性があります。一旦ブラウザを閉じてから、再度ブラウザを起動してください。

コンピューターの映像を見る

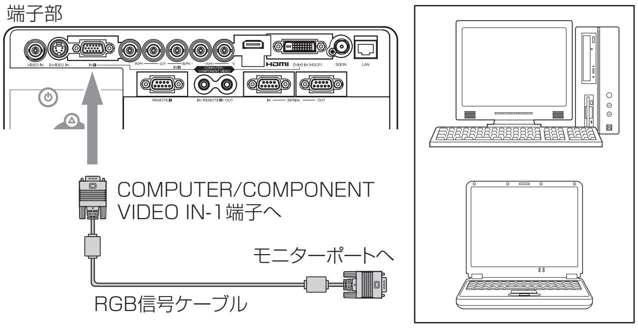
A. コンピューターと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびコンピューターの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプのコンピューターの場合、モニターに接続されている RGB 信号ケーブルをはずす

アナログ RGB（ミニ D-Sub15 ピン）端子付きコンピューターと接続する

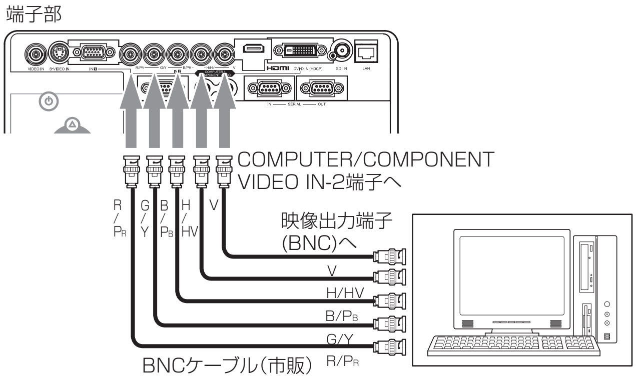


1. 付属の RGB 信号ケーブルを本機の COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1 端子に接続する
2. コンピューターのモニターポートに RGB 信号ケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- 接続するコンピューターの機種によっては、変換コネクターやアナログ RGB 出力アダプターなどが必要となる場合があります。
- 付属の RGB 信号ケーブル以外の長いケーブルを使用すると、映像が正常に映らないことがあります。
- 本機の COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1 端子は DDC1/2B に対応しています。この規格に対応したコンピューターと接続した場合、コンピューターが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC 対応のコンピューターと接続している場合、本機の電源プラグをコンセントに差し込み、主電源スイッチを入れてからコンピューターを起動してください。

5 線式アナログ RGB（BNC）端子付きコンピューターと接続する

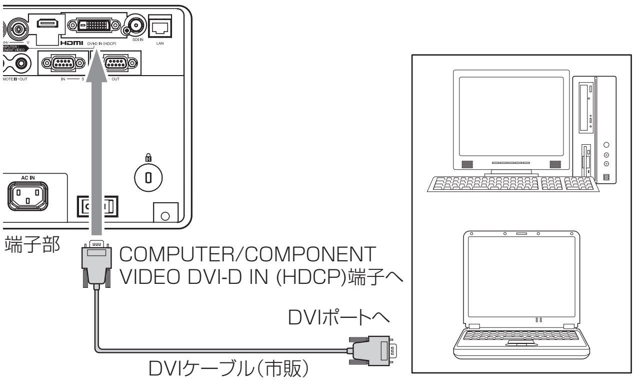


1. 市販の BNC ケーブル(5 本)を本機の COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-2 端子に接続する
2. コンピューターの映像出力端子（BNC）に BNC ケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- 接続するコンピューターの機種によっては、変換コネクターやアナログ RGB 出力アダプターなどが必要な場合があります。
- 長いケーブルを使用すると正常に映像が映らないことがあります。

DVI 端子付きコンピューターと接続する



1. 市販の DVI ケーブルを本機の COMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子に接続する
2. コンピューターの DVI ポートに DVI ケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

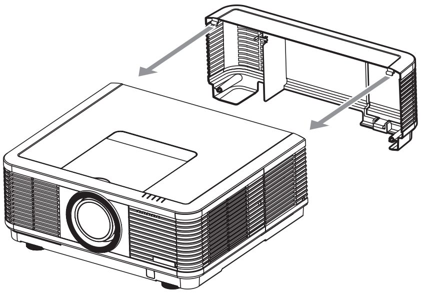
- 先にコンピューターを起動した場合、映像が表示されない場合があります。
- 本機の COMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子は DDC2B に対応しています。この規格に対応したコンピューターと接続した場合、コンピューターが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC 対応のコンピューターと接続している場合、本機の電源プラグをコンセントに差し込み、主電源スイッチを入れてからコンピューターを起動してください。

コンピューターの映像を見る（つづき）

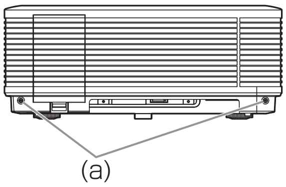
B. ターミナルカバーを取り付ける

本機には、ターミナルカバーが付属しています。必要な場合、以下のように取り付けてください。

1 ターミナルカバーの突起部（2カ所）をプロジェクターに差し込む

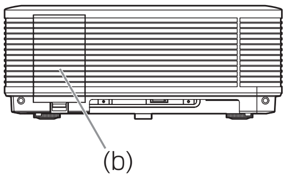


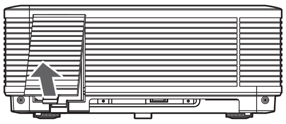
2 ターミナルカバーに取り付けられているネジ2本（a）をプラスドライバーでしっかりと締める

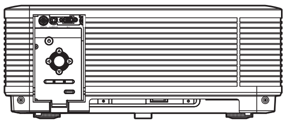


ターミナルカバーのドアを取り外すと操作部のボタンを押すことができます。

3 ターミナルカバーのドア（b）を取り外す







お知らせ

- ターミナルカバーを持って移動させないでください。
- ターミナルカバーを取り付けると、後方からのリモコンが効きにくくなることがあります。

C. 投写する

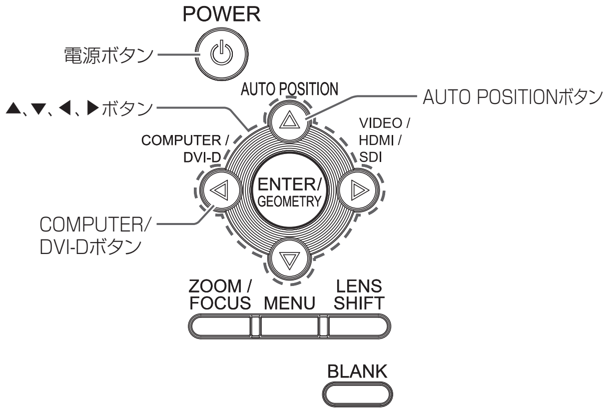
準備

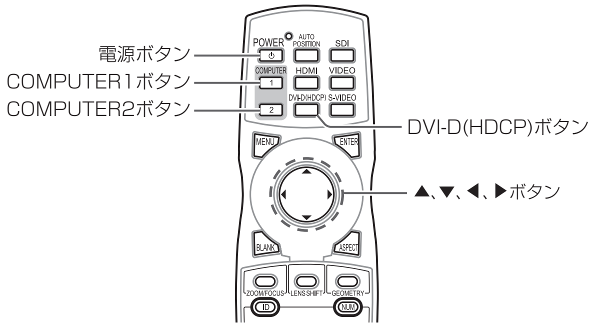
1 レンズキャップをはずす

2 本機の電源を入れる（13ページ）

3 コンピューターの電源を入れる

4 ピントを調整する（14ページ）





入力を切り換える

5 【COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1（または -2）端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの COMPUTER1（または 2）ボタンまたは本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押して、画面に「COMPUTER1（または 2)」を表示させる

【COMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの DVI-D(HDCP) ボタンまたは本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押して、画面に「DVI」を表示させる

- 本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押すごとに、表示が「COMPUTER1」→「COMPUTER2」→「DVI-D」→「COMPUTER1」と切り換わります。
- ノートタイプのコンピューターの場合、コンピューター側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは下記をご覧ください。
- 「COMPUTER1（または 2)」入力時に画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。（ファイン調整）
- メニュー画面表示中は、入力切換できません。

お知らせ

- 必要に応じて、14 ～ 18 ページの調整を行ってください。
- 長時間 16：9 表示で使用したあと 4：3 表示で使用すると、画面の上下にマスク部分の痕跡が残る場合があります。このような場合は、テクニカルサポートセンターにご相談ください。

本機の使用を終わるとき

- 「本機の使用を終わるとき」をご覧ください。（18 ページ）

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピューターと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピューターの信号を外部に出力させる設定を行ってください。設定のしかたは、コンピューターによって異なりますので、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- 外部出力させる操作の例
  「Fn」キー＋「 F1」～「F12」キーのいずれか（機種によって異なります）を押す。

AUTO POSITION ボタンによる調整

コンピューターの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1 **できるだけ明るい、テキスト文書など文字を多く含む画面にする**

2 **スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する**

3 **AUTO POSITION ボタンを押す**

入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。

- 数回、AUTO POSITION ボタンを押してもまだずれる場合は、「コンピューター映像の調整」（41、42 ページ）を参照して調整してください。

解像度の設定について

コンピューターとプロジェクターの解像度が合っていない場合、映像がにじむことがありますので、双方の解像度を合わせてください（64 ページ参照）。なお、コンピューターの出力解像度の変更方法については、コンピューターメーカーにお問い合わせください。

コンピューターの映像を見る（つづき）

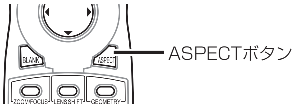
D. アスペクト比（画角）の設定について

本機は、入力された映像信号に対してアスペクト比（画面の縦横比）を変更することができます。ご使用になるスクリーンやお好みに合わせて設定を変更してください。

リモコンを使って設定する

1 ASPECT ボタンを押す

- 画面の右上にアスペクト比切り換え用の表示が出ます。



2 ASPECT ボタンを押してお好みのアスペクト比に切り換える

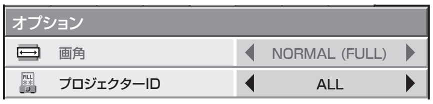
- アスペクト比の設定は、「NORMAL（FULL）」、「NORMAL（16：9）」、「NORMAL（4：3）」、「16：9」、「REAL」、「FULL」の中から選択できます。
- 各設定での映像表示は下表のようになります。

本体操作部を使って設定する

1 オプションメニューを表示させる

- メニューの操作方法については、29ページをご覧ください。

2 ▲、▼ボタンを押して「画角」を選ぶ



3 ◀、▶ボタンを押してお好みの画角（アスペクト比）を選択する

4 MENU ボタンを押してメニューを消す

設定 / 入力信号例	NORMAL（FULL）	NORMAL（16：9）	NORMAL（4：3）	16：9	REAL	FULL
	入力信号のアスペクト比を保持しながら、パネルの縦サイズ（1200 画素）または横サイズ（1920 画素）をフルに使用して表示します。	16：9 スクリーンを使用する場合にこの設定を選びます。	4：3 スクリーンを使用する場合にこの設定を選びます。	入力信号の種類にかかわらず、映像を 16：9 のアスペクト比（1920×1080 画素）で表示します。スクイーズ（左右に圧縮）記録された DVD の映像などを 16：9 に引き伸ばして表示したいときに選びます。	入力信号本来の画素サイズで表示します。（画素サイズがパネルサイズより大きい場合は、映像の中央部のみ表示します。）	入力信号の種類にかかわらず、パネルのフルサイズ（1920×1200 画素）で表示します。
UXGA 信号 1600×1200（4：3）	4：3 1600×1200	4：3 1440×1080	4：3 1600×1200	16：9 1920×1080	4：3 1600×1200	16：10 1920×1200
WUXGA 信号 1920×1200（16：10）	16：10 1920×1200	16：10 1728×1080	16：10 1600×1000	16：9 1920×1080	16：10 1920×1200	16：10 1920×1200
1080p信号 1920×1080（16：9）	16：9 1920×1080	16：9 1920×1080	16：9 1600×900	16：9 1920×1080	16：9 1920×1080	16：10 1920×1200

お知らせ

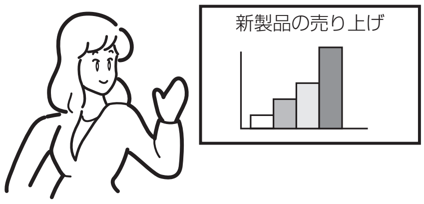
- オプションメニューの「画角」では、「16：9 ↵」の設定を選んだ状態で ENTER ボタンを押すと、「動作モード」の設定が表示され、入力信号によって映像を 16：9 で表示させるかどうかも設定することができます。
  - ・「全信号」　　　：入力信号の種類にかかわらず、常に 16：9 で表示します。
  - ・「ビデオ信号のみ」：ビデオ機器からの信号を入力している場合のみ、16：9 で表示します。

- 4：3 スクリーンを使用し、設定を「NORMAL（4：3）」にして表示している場合、設定を「16：9」、「REAL」、「FULL」に変えると映像がスクリーンからはみ出します。
- 長時間 4：3 画面で使用したあと FULL 表示で使用した場合など、画面の周囲にマスク部分の痕跡が残る場合があります。このような場合はテクニカルサポートセンターにご相談ください。
- 設定を「NORMAL（16：9）」、「NORMAL（4：3）」にした場合、無信号になると画面全体がブルーの表示となり、スクリーンからはみ出します。この場合は、設置 2 メニューのバックカラーの設定を「BLACK」にしてください。

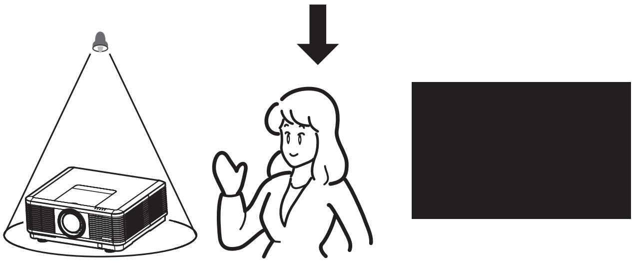
プレゼンテーションを演出する

映像を一時的に消す（BLANK）

スピーチやプレゼンテーション映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像を消すことができます。



「新製品の売り上げは、このグラフのとおりです。」



「これが、その新製品です。」

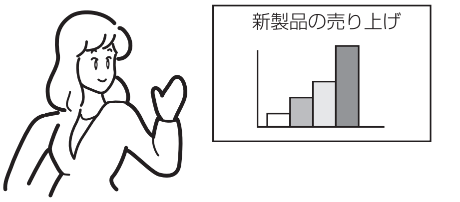
操作のしかた

1 リモコンの BLANK ボタンを押す

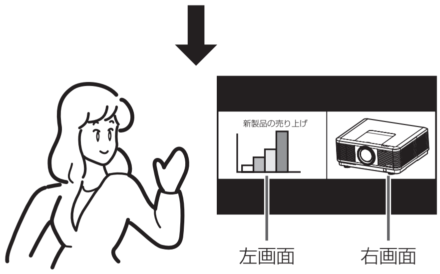
- 映像が真っ暗になります。
- もう一度 BLANK ボタンを押すと、通常画面に戻ります。
- 本体内部でメカニカルシャッターの動作音がします。

コンピューター映像とビデオ映像を同時に見る（2 画面表示）

画面を左右 2 分割し、左の画面にコンピューター映像、右の画面にビデオ映像を表示させることができます。



売り上げは、このように順調に伸びています。



その成功の秘訣をビデオ映像で紹介します。

表示のしかた

1 リモコンの SPLIT ボタンを押す

- 2 画面表示になり、左画面と右画面に次の映像が表示されます。
  - ・左画面：「COMPUTER1」、「COMPUTER2」、「DVI」、「HDMI」、「SDI」のうち、最後に選んだ入力の映像
  - ・右画面：「VIDEO」、「S-VIDEO」のうち、最後に選んだ入力の映像
- もう一度 SPLIT ボタンを押すと、通常画面に戻ります。
- MENU ボタンを押すか、入力切換を行った場合も、通常画面に戻ります。
- 2 画面表示中は、左画面で選んでいる入力の通常画面時の画質調整が全画面に反映されます。
- 無信号時は、ブルーの画面が表示されます。
- 左画面にインターレース信号を入力すると映像が上下に細かく震えることがありますが、故障ではありません。
- 60Hz と 50Hz のビデオ信号を同時に表示した場合、動画が不自然になることがあります。その場合は、左画面の信号設定メニューの詳細設定の垂直同期を OFF にしてください（36 ページ参照）。
- 設置 2 メニューのバックカラーを IMAGE に設定している場合、無信号時には 2 画面表示にはできません。

左画面・右画面の入力を切り換えたいときは

- 左画面の入力を切り換えたいときは、リモコンの◀ボタンを押します。
- 右画面の入力を切り換えたいときは、リモコンの▶ボタンを押します。

プレゼンテーションを演出する（つづき）

起動時などの画面を変更する

任意の画像を取り込んで起動画面（スプラッシュスクリーン）に設定することができます。また､取り込んだ画像は､メニュー設定により、無信号時のバックカラーの代わりに表示させることもできます。

- 取り込むことができるのは､「COMPUTER1」､「COMPUTER2」､「DVI」､「HDMI」､「SDI」入力の画像です。

設定のしかた

- メニューの設定方法については、29 ページをご覧ください。

1 **コンピューターの映像を表示させる**
(コンピューターの映像の表示のしかたについては 19 〜 22 ページをご覧ください。)

2 **登録する映像を表示させる**

3 **設置 2 メニューを表示させる**

4 **▲、▼ボタンを押して、「イメージキャプチャー」を選ぶ**

5 **ENTER ボタンを押す**
- 設定メニューが表示されます。

背景の色を設定する
(サイズを× 1 または× 2 に設定するときのみ選びます。)

6 **▲、▼ボタンを押して、「バックカラー」を選ぶ**

7 **◀、▶ボタンを押して、背景にしたい色を設定する**
(GRAY, RED, GREEN, BLUE, BLACK, WHITE, RED50%, GREEN50%, BLUE50%)

画像の大きさを設定する

8 **▲、▼ボタンを押して、「サイズ」を選ぶ**

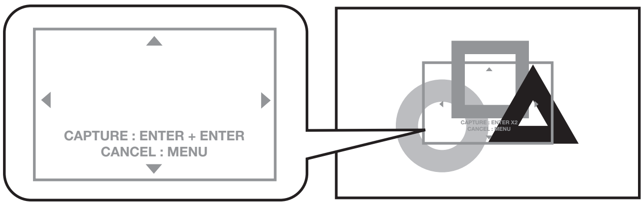
9 **◀、▶ボタンを押して、設定する (× 1、× 2、FULL)**

x1　x2　FULL

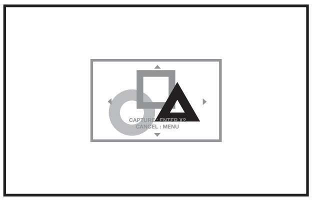
画像を取り込む

10 **▲、▼ボタンを押して、「キャプチャー」を選ぶ**

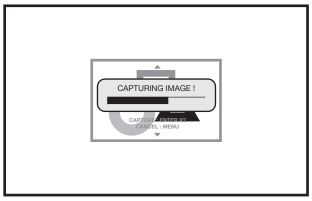
11 **ENTER ボタンを押す**
- 赤枠が表示されます。(赤枠の大きさは、640×400 画素です。)
- 赤枠の最外形までの映像が取り込まれます。
- 自動的に REAL 表示されます。



12 **取り込む画像が赤枠内に入るように、コンピューター側で画像の大きさを調整する**
- ▲、▼、◀、▶ボタンを押すと、赤枠が移動します。
- 表示画面の外周へは赤枠を移動できません。
- MENU ボタンを押すとキャンセルされます。



13 **ENTER ボタンを 2 回押す**
- 取り込みを開始します。



- 取り込みが完了すると、取り込んだ画像が約 1 秒間表示されます。

お知らせ

- 絵柄の細かい画像は取り込めない場合があります。その場合は、画像を変更してください。
- 入力信号によっては画像を取り込めない場合があります。対応信号については 64 ページをご覧ください。
- 起動画面は元に戻せません。(オプションメニューの RESET ALL の操作をしても工場出荷時の画面には戻りません。) 起動画面を変更したいときは、別の画像を取り込んでください。
- 次の起動時より、取り込んだ画像が表示されます。表示されないときは、設置 2 メニューのスプラッシュスクリーンの設定が「OFF」になっていないか､確認してください。(32 ページ参照)
- 取り込んだ画像を無信号時に表示させたいときは、設置 2 メニューのバックカラーの設定を「IMAGE」にしてください。(32 ページ参照)
- 無信号時は、取り込み画像の表示に少し時間がかかります。

ビデオ機器の映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

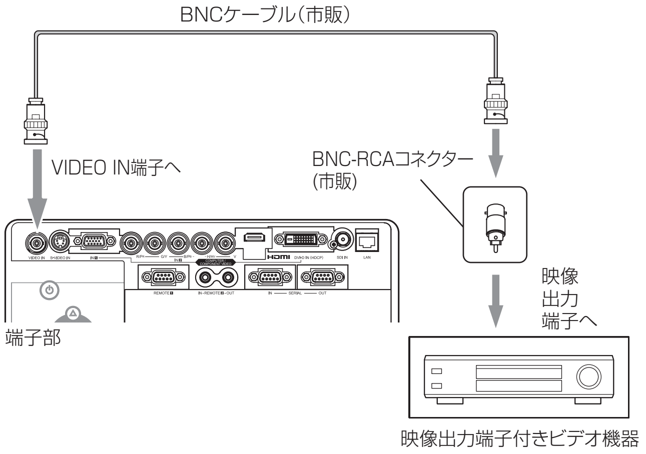
- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する

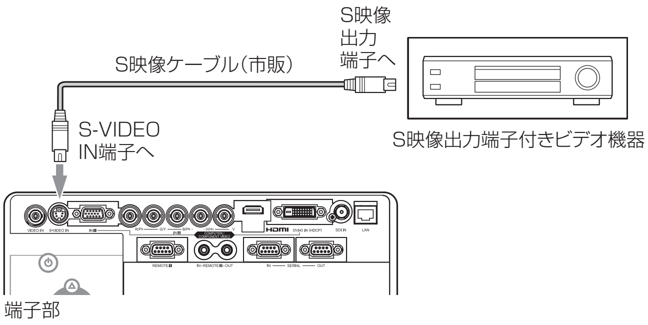
映像出力端子付きビデオ機器と接続する

- 接続は BNC ケーブルを使用ください。ビデオ機器との接続には BNC-RCA コネクターが必要となります。



1. 市販の BNC ケーブルを本機の VIDEO IN 端子に接続する
2. ビデオ機器の映像出力端子に映像ケーブルのもう一方を接続する

S 映像出力端子付きビデオ機器と接続する

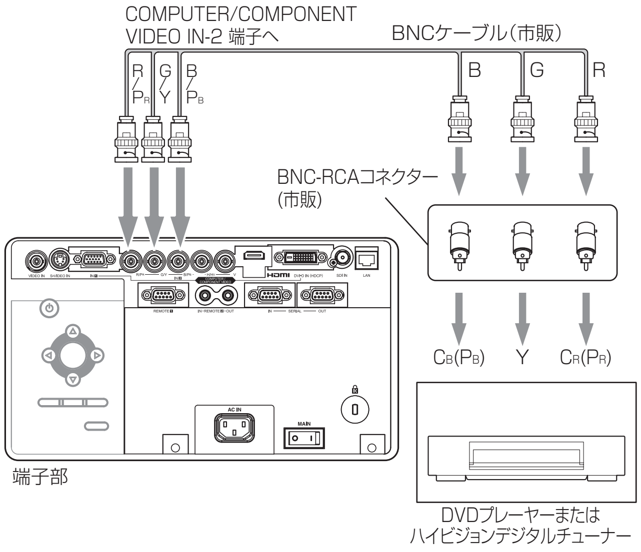


1. 市販の S 映像ケーブルを本機の S-VIDEO IN 端子に接続する
2. ビデオ機器の S 映像出力端子に S 映像ケーブルのもう一方を接続する

DVD プレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVD プレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-2 端子に接続します。

- 接続は BNC ケーブル（3 本）を使用ください。DVD プレーヤーとの接続には BNC-RCA コネクターが必要となります。



お知らせ

- DVD プレーヤーおよびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R、G、B 出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定を「RGB」にしてください。（36 ページ参照）

ビデオ機器の映像を見る（つづき）

HDMI 出力端子または DVI-D 出力端子付き映像機器との接続

本機は、HDMI 出力端子または DVI-D 出力端子付きの映像機器と接続することにより､高画質な映像が投写できます。また、HDCP に対応していますので、DVD プレーヤーなどから出力される暗号化されたデジタル画像を受信することができます。

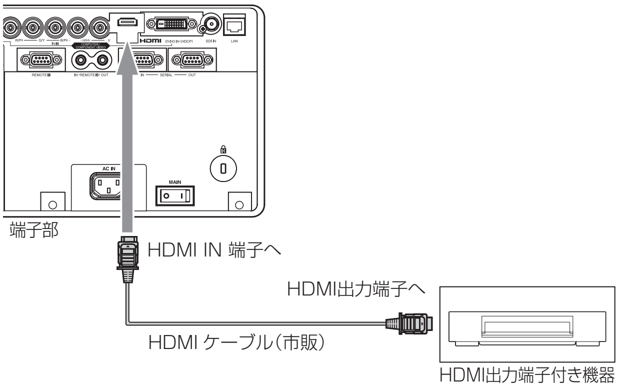
- HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）とは、Intel 社によってコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号化形式の 1 つです。
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とは、DVI をベースに発展した、コンピューター、ディスプレイ、家電機器対応のデジタル信号入出力インターフェース規格です。

お知らせ

- 本機は HDMI 出力端子および DVI-D 出力端子付きの映像機器と接続することができますが、一部の機器では映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 映像が出ないなど正常に動作しない場合、映像機器の取扱説明書の接続方法を確認してください。
- 長いケーブルを使用すると映像が正常に映らないことがあります。

接続例（HDMI 出力端子付き映像機器の場合）ー

接続は、市販の HDMI ロゴの付いている HDMI ケーブルをご使用ください。

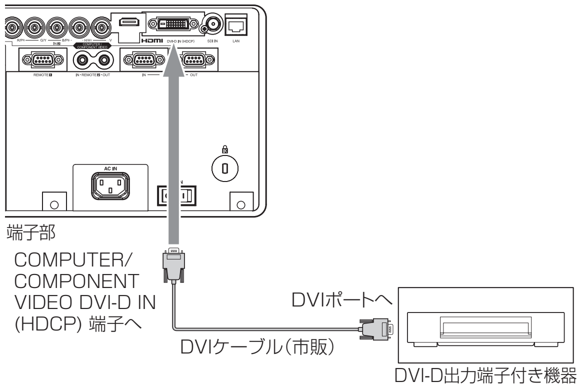


お知らせ

- HDMI 入力時は、分周比、ファインおよび上部曲がり補正の調整はできません。

接続例（DVI-D 出力端子付き映像機器の場合）ー

接続は、市販の DVI ケーブルをご使用ください。



お知らせ

- コネクター部の大きさ、形状によっては正しく接続できないことがあります。
- DVI 入力時は、分周比、ファインおよび上部曲がり補正の調整はできません。

デジタル機器との接続について

本機とデジタル機器（DVD プレーヤーなど）を HDMI IN 端子または COMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子で接続した場合、機器によっては映像の黒レベルが沈み、黒つぶれすることがあります。これは、デジタル映像伝送の規格が 2 種類あり､黒レベルの設定がそれぞれ異なるためです。デジタル機器によっては異なる規格の信号を出力するものがあります。

- デジタル機器には、デジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されているものがあります。その場合は、下記のように切り換えてください。
  エクスパンドまたはエンハンスド　→　ノーマル
  詳細はデジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
- デジタル機器にデジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されていない場合は、画質メニューのアドバンスド メニューの入力レベルの設定を「エンハンスド」にするか、映像に合わせて調整してご覧ください。

B. ターミナルカバーを取り付ける

「コンピューターの映像を見る」の場合と同じです。20 ページをご覧ください。

C. 投写する

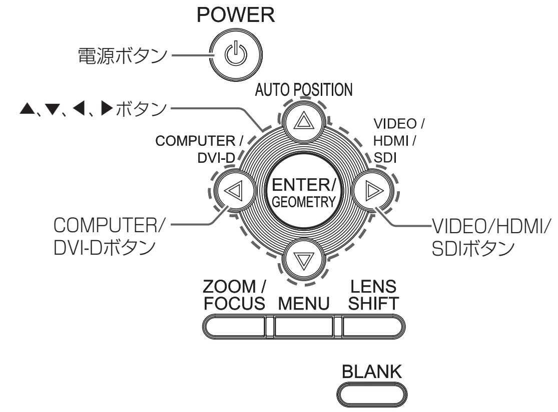
準備

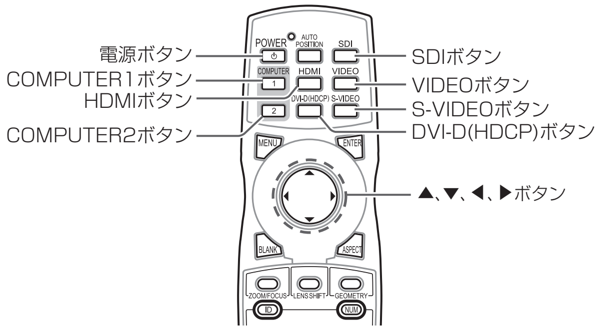
1 レンズキャップをはずす

2 本機の電源を入れる（13 ページ）

3 ビデオ機器の電源を入れる

4 ピントを調整する（14 ページ）





入力を切り換える

5 【VIDEO IN 端子（または S-VIDEO IN 端子）に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの VIDEO（または S-VIDEO）ボタンまたは本体の VIDEO/HDMI/SDI ボタンを押して、画面に「VIDEO（または S-VIDEO)」を表示させる

【HDMI IN 端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの HDMI ボタンまたは本体の VIDEO/HDMI/SDI ボタンを押して、画面に「HDMI」を表示させる

【SDI IN 端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの SDI ボタンまたは本体の VIDEO/HDMI/SDI ボタンを押して、画面に「SDI」を表示させる

【COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1（または -2）端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの COMPUTER1（または 2）ボタンまたは本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押して、画面に「COMPUTER1（または 2)」を 表示させる

【COMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D IN（HDCP）端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの DVI-D(HDCP) ボタンまたは本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押して、画面に「DVI」を表示させる

- 本体の VIDEO/HDMI/SDI ボタンを押すごとに、表示が「VIDEO」→「S-VIDEO」→「HDMI」→「SDI」→「VIDEO」と切り換わります。
- 本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押すごとに、表示が「COMPUTER1」→「COMPUTER2」→「DVI-D」→「COMPUTER1」と切り換わります。
- メニュー画面表示中は、入力切換できません。

お知らせ

- 必要に応じて、14 ～ 18 ページの調整を行ってください。

本機の使用を終わるとき

- 「本機の使用を終わるとき」をご覧ください。（18 ページ）

静止画について

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、映像を一時的に停止させることができます。もう一度押すと通常画面に戻ります。

- 静止画中に FREEZE ボタン以外のボタンを押しても通常画面に戻ります（一部、戻らないボタンもあります）。
- 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。

メニューを使って設定する

本機では、画面上にメニューを表示させてさまざまな設定を行います。

次の 8 つのメニューが表示されます。

画質メニュー （30 ページ）

画質	
カラーエンハンサー	AUTO
SUPER RESOLUTION	OFF
コントラスト	0
ブライト	0
NCM	COMPUTER
色温度	標準
色の濃さ	0
色合い	0
シャープネス	0
アドバンスド メニュー	ENTER

設置 1 メニュー （31 ページ）

設置1	
ランプモード	標準
ランプ選択	デュアル
ランプリレー	1H/24H
スタンバイモード	低
反転表示	OFF
高地モード	標準
ファン制御	0°
テストパターン	CROSS HATCH
レンズロック	ENTER

設置 2 メニュー （32 ページ）

設置2	
オートパワーオン	OFF
オートパワーオフ	5分
イメージ キャプチャー	設定
スプラッシュスクリーン	ON
バックカラー	BLUE
DVIロングケーブル	AUTO
REMOTE 1 モード	ENTER
フィルターメニュー	ENTER

マルチ画面メニュー （33 ページ）

マルチ画面	
エッジブレンディング	OFF
設定	エッジ調整
カラーマッチング	OFF
手動設定	設定
測定	測定データ

オプションメニュー （34 ページ）

オプション	
画角	NORMAL (FULL)
プロジェクターID	ALL
グループID	A
パスワードロック	映像表示
メニュー位置	1.
シネマモード	AUTO
言語選択	日本語
アドバンスド メニュー	ENTER
RESET ALL	OK

信号設定メニュー （36 ページ）

信号設定	
メモリー選択	AUTO
解像度（メモリー記録 ）	1024 x 768
水平位置	0
垂直位置	0
ファイン	0
分周比	0
COMPUTER入力	AUTO
オーバースキャン	100%
上部曲がり補正	ON
詳細設定	ENTER

ネットワークメニュー （37 ページ）

ネットワーク	
プロジェクター名	
ネットワークパスワード	ENTER
IP設定	ENTER
ネットワーク認証	OFF
コントロールシステム	標準
ネットワークリセット	OK

情報メニュー （38 ページ）

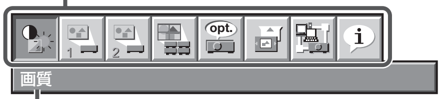
情報	
ランプ 1 時間（低モード換算）	**** H
ランプ 2 時間（低モード換算）	**** H
次回ランプリレー	*D **H
フィルター時間	***** H / **** TIMES
シリアルナンバー	********
入力端子	COMPUTER1
解像度	1024 x 768
垂直周波数	60.00 Hz
水平周波数	48.36 kHz
同期信号	5WIRE

メニューの設定のしかた

1 MENU ボタンを押す

● メニュー選択バーが表示されます。

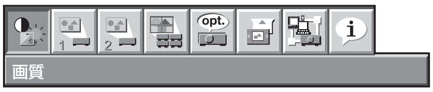
選択できるメニューがイラストで表示されています。（選択中のメニューのイラストが青色の背景で表示されています。）



選択中のメニューの名前が表示されています。

2 ◀、▶ボタンを押して希望のメニューを選ぶ

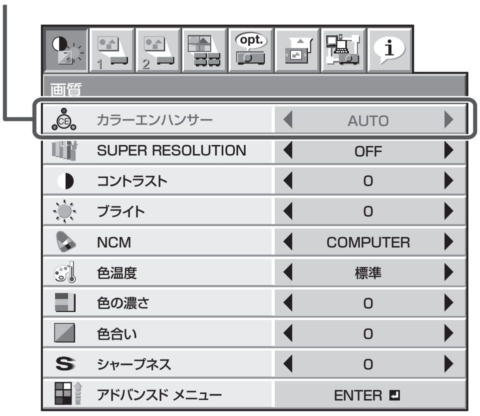
● ◀、▶ボタンを押すごとに、「画質」⇔「設置 1」⇔「設置 2」⇔「マルチ画面」⇔「オプション」⇔「信号設定」⇔「ネットワーク」⇔「情報」⇔「画質」と切り換わります。



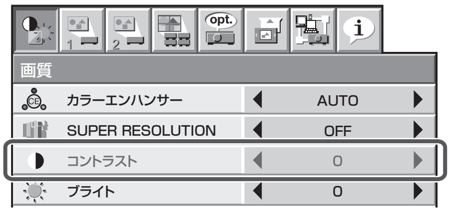
3 ENTER ボタン（または▼ボタン）を押す

● 選んだメニューが表示されます。

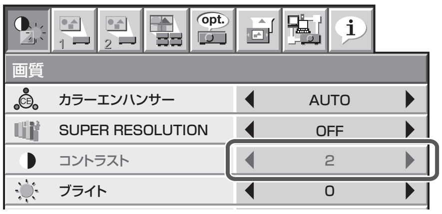
選択中の項目は、赤色の文字で表示されています。



4 ▲、▼ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ



5 ◀、▶ボタンを押して希望の設定に変更する



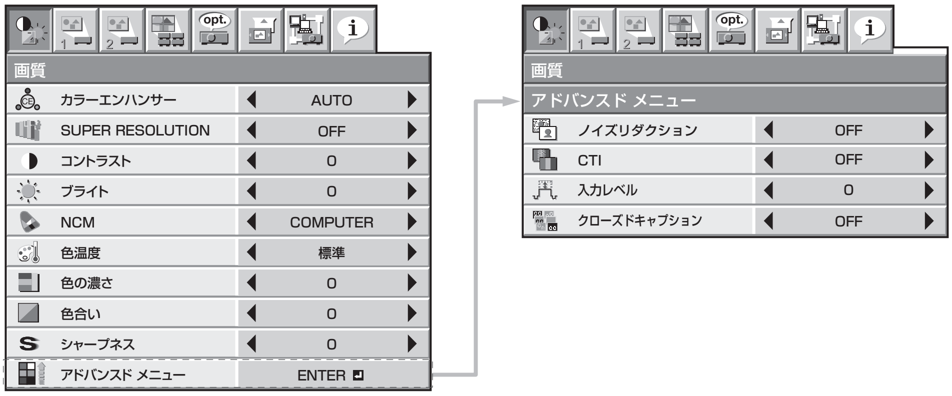
6 設定が終わったら、MENU ボタンを数回押してメニューを消す

お知らせ

● 設定名の後に「⏎」マークが付いている場合は、ENTER ボタンを押すと、設定した内容が実行されたり、新たな設定画面に移行したりします。
● ボタンを押してもメニューが切り換わらなくなることがあります。その場合は本機が誤動作している可能性があります。一度電源プラグをコンセントから抜き、10 分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
● メニュー画面、画面表示など、本書と製品で異なることがあります。

メニューを使って設定する（つづき）

■ 画質メニュー

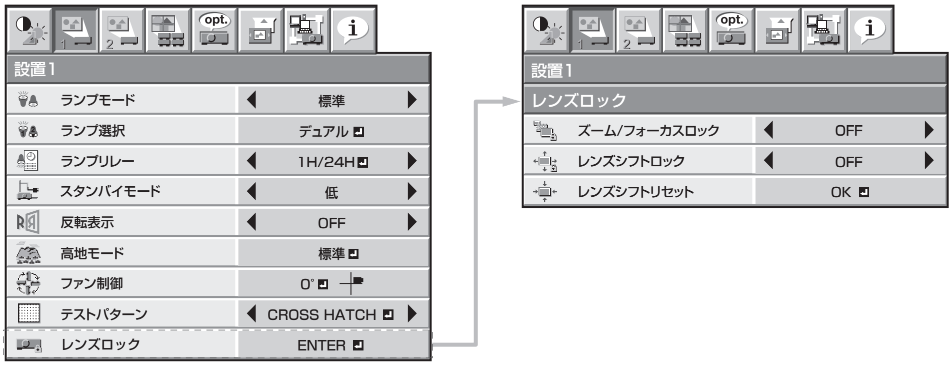


設定項目	設定	はたらき
カラーエンハンサー	AUTO	入力信号に適した設定になります。（通常はこれを選びます。）
	プレゼンテーション	明るくメリハリのある映像になります。
	標準	自然な映像になります。
	シアター	映画向けにしっとりした映像に設定されます。
	sRGB	色再現性を重視した画像になります。
	USER ↵	ガンマカーブ、BrilliantColor ™を設定できます。（40 ページ参照）
	マルチ画面 ↵	マルチ画面設定時のガンマカーブ、BrilliantColor ™を設定できます。（40 ページ参照）
SUPER RESOLUTION	ON ↵、OFF	画像の繊細感を強調します。（40 ページ参照）
コントラスト	－ 30 ～ ＋ 30	映像のコントラストを調整します。（39 ページ参照）
ブライト	－ 30 ～ ＋ 30	映像の明るさを調整します。（39 ページ参照）
NCM	COMPUTER、VIDEO	あらかじめ設定された映像の色ごとの色合いを選択します。
	USER ↵	映像の特定の色のみを強調したいときや、特定の色の色合いのみがずれている場合に調整します。（40 ページ参照）
	OFF	NCM がはたらきません。
色温度	標準、低、高	あらかじめ設定された色温度の中から選択します。
	USER ↵	独自の色温度に調整します。（39 ページ参照）
色の濃さ	－ 10 ～ ＋ 10	映像の色の濃さを調整します。（39 ページ参照）
色合い	－ 10 ～ ＋ 10	映像の色合いを調整します。（39 ページ参照）
シャープネス	－ 5 ～ ＋ 5	映像の鮮鋭度を調整します。（39 ページ参照）
アドバンスド メニュー	ENTER ↵	以下の設定を行うためのアドバンスド メニューを表示します。
ノイズリダクション	ON、OFF	ノイズが多い映像信号を入力した場合に、映像のノイズやざらつきを少なくすることができます。
CTI	ON、OFF	色境界部分の色にじみを改善します。
入力レベル	－ 5 ～＋ 5	【アナログ信号入力時】 接続する機器によっては、映像信号が大きいもの（白つぶれする）や小さいもの（暗くなる）があります。このメニューでアナログ映像信号の大きさを調整することができます。
	AUTO、エンハンスド、ノーマル	【デジタル信号入力時】 AUTO　：自動に最適な設定が選ばれます。（HDMI 信号入力時のみ選べます。） エンハンスド：黒つぶれが発生するときに選びます。 ノーマル　：黒浮きが発生するときに選びます。 （26 ページ参照）
クローズドキャプション	OFF	キャプション（字幕情報）を表示しないときに選択します。
	CC1、CC2	キャプション（字幕情報）を表示するときに選択します。

お知らせ

- マルチ画面メニューのエッジブレンディングを「ON」に設定している、またはカラーマッチングの設定を「手動設定」または「測定」に設定しているとき、カラーエンハンサーの「マルチ画面」のみが設定できます。この場合、「マルチ画面」以外は設定できません。
- カラーエンハンサーの「マルチ画面」はエッジブレンディングを「ON」に設定している、またはカラーマッチングの設定を「手動設定」または「測定」に設定しているときのみ設定できます。
- カラーエンハンサーの設定を「sRGB」にしているときは、色温度、色の濃さ、色合い、NCM の調整はできません。
- カラーエンハンサーの設定を切り換える際、映像が乱れることがあります。
- SUPER RESOLUTION を「ON」に設定したときの効果は、入力画像の種類や解像度により異なります。
- COMPUTER1、COMPUTER2、DVI、HDMI または SDI 入力が選ばれているとき、色の濃さ、色合いの調整はできません。
- TV50（PAL、SECAM）信号入力時は色合いの調整はできません。
- デジタル信号入力時、接続機器からの信号が YC_BC_R/YP_BP_R で出力されている場合、入力レベルは選択できません。
- キャプションは、画面にメニュー、入力切り換えの情報が表示されている間は表示されません。
- クローズドキャプションは、主に北米の TV 放送に使用されている NTSC 信号に多重された文字情報を表示する機能です。

■ 設置 1 メニュー



設定項目	設定	はたらき
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
ランプ選択	デュアル ↵	ランプ 1 とランプ 2 を点灯します。
	シングル ↵	電源を入れたときにランプ点灯時間が短いランプを自動選択して使用できます。
	ランプ 1 ↵	ランプ 1 を点灯します。（故障や寿命の時はランプ 2 を自動的に点灯します。）
	ランプ 2 ↵	ランプ 2 を点灯します。（故障や寿命の時はランプ 1 を自動的に点灯します。）
ランプリレー	デュアル： OFF	ランプリレーがはたらきません。
	1H/24H ↵、2H/1W ↵	ランプリレーの周期を設定します。（48 ページ参照）
	シングル： OFF	ランプリレーがはたらきません。
	24H ↵、1 WEEK ↵	ランプリレーの周期を設定します。（49 ページ参照）
スタンバイモード	標準	電源スタンバイ中に LAN、REMOTE 1 IN 端子および SERIAL OUT 端子経由で本機の制御を行う場合は、この設定を選びます。
	低	電源スタンバイ中に LAN、REMOTE 1 IN 端子および SERIAL OUT 端子経由で本機の制御を行わない場合は、この設定を選びます。LAN、REMOTE 1 IN 端子および SERIAL OUT 端子の機能が停止し、電源スタンバイ時の消費電力が低減されます。
反転表示	OFF	床置きで正面から映像を見るときに選びます。通常はこれを選びます。
	左右	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下左右	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。
高地モード	標準 ↵	通常はこれを選びます。
	高地 ↵	海抜 2000m を超えて 2700m まではこれを選びます。（15 ページ参照）
ファン制御	0° ↵、45° ↵、90° ↵、135° ↵、180° ↵、225° ↵、270° ↵、315° ↵	投写する角度を選択することにより、ファン制御を切り換えます。（14 ページ参照）
テストパターン	CROSS HATCH ↵	クロスハッチのテストパターンを表示します。
	WHITE ↵	最大輝度の映像を表示します。
	BLACK ↵	最小輝度の映像を表示します。
	H. COLOR BARS ↵	水平のカラーバーを表示します。
	V. COLOR BARS ↵	垂直のカラーバーを表示します。
レンズロック	ENTER ↵	以下の設定を行うためのレンズロックメニューを表示します。
ズーム / フォーカスロック	ON、OFF	ズームとフォーカスをロックするかどうかを切り換えます。
レンズシフトロック	ON、OFF	レンズシフトをロックするかどうかを切り換えます。
レンズシフトリセット	OK ↵	レンズ位置を工場出荷時の位置に戻します。

お知らせ

- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約 1 分で「低」モードに切り換わります。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。
- 本機を長時間連続使用するときは、「ランプリレー」を設定してください。
- テストパターン表示中、リモコンの TEST PATTERN 以外のボタンを押すと、テストパターンは解除されます。
- 設置 1 メニューバーの右端にアイコン が表示されているときは、ランプ切り換え動作中です。アイコン表示中はランプ選択、ランプリレーは設定できません。
- ランプ選択を切り換えて新しくランプが点灯した後、約 1 分間は電源を切ることはできません。

メニューを使って設定する（つづき）

■ 設置 2 メニュー

設定項目	設定	はたらき
オートパワーオン	OFF	通常はこれを選びます。
	ON	電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります。天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF	オートパワーオフがはたらきません。
	5分、10分、15分、30分、60 分	映像信号が未入力で無操作のとき、設定した時間になると自動的に電源が切れます。電源が切れる 5 分前に、ダイアログが表示されます。
イメージ キャプチャー	設定 ↵	スプラッシュスクリーン（起動画面）を変更するときに選択します。（24 ページ参照）
スプラッシュスクリーン	ON	電源を入れたとき、スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示します。
	OFF	スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示しません。
バックカラー	BLUE、BLACK	無信号時の背景の色を選択します。
	IMAGE	無信号時の背景にスプラッシュスクリーン（起動画面）を表示します。
DVI ロングケーブル	AUTO	通常はこれを選びます。
	手動設定 ↵	長い DVI ケーブルを使用したときの伝送信号補正の量を調整します。
REMOTE 1 モード	ENTER ↵	REMOTE 1 IN 端子に接続した制御盤などで本機を制御するときに設定します。（54 ページ参照）
PIN 1	GND	変更できません。（固定）
PIN 2	POWER、なし	「POWER」または「なし」に設定します。
PIN 3	COMPUTER 1	「COMPUTER 1」、「COMPUTER 2」、「VIDEO」、「S-VIDEO」、「DVI」、「HDMI」、「SDI」、「なし」のうち、いずれかに設定することができます。重複して設定することはできますが、重複した設定は無効となり、その設定はアスタリスクで囲まれて表示されます。（例：＊ COMPUTER 1 ＊）
PIN 4	COMPUTER 2	
PIN 5	VIDEO	
PIN 6	S-VIDEO	
PIN 7	DVI	
PIN 8	BLANK、なし	「BLANK」または「なし」に設定します。
PIN 9	有効、無効	変更できません。（固定）
リセット	OK ↵	出荷時の設定に戻します。
フィルターメニュー	ENTER ↵	以下の設定を行うためのフィルターメニューを表示します。
清掃周期	24H ↵、1 WEEK ↵、OFF	次回のフィルター清掃までの時間とフィルター清掃の間隔を設定します。（56 ページ参照）
手動清掃	OK ↵	すぐにフィルター清掃を行うときに選択します。

お知らせ

- オプションメニューのパスワードロックのスプラッシュスクリーンを設定すると、イメージ キャプチャーとスプラッシュスクリーンははたらきません。
- バックカラーで「IMAGE」を選択し、長時間スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示すると画面に痕跡が残ることがあります。このような場合は、テクニカルサポートセンターにご相談ください。
- バックカラーを IMAGE に設定した場合は、レンズ調整を頻繁に行わないでください。
- 設置 1 メニューでスタンバイモードを「低」に設定すると、REMOTE 1 モードは選択できません。

■ マルチ画面メニュー

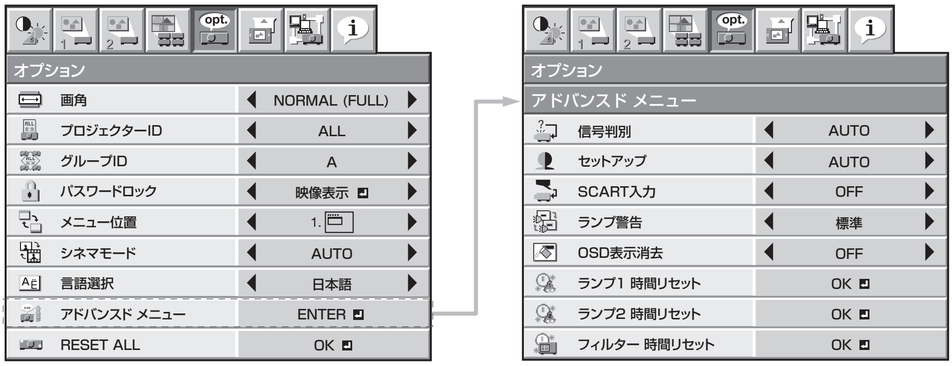
設定項目	設定	はたらき
エッジブレンディング	OFF	プロジェクター 1 台のみで使用する場合に選びます。
	ON	複数のプロジェクターを利用したマルチ画面で使用するときは、こちらを選びます。映像のつなぎ目を目立ちにくくする下記「設定」の設定が有効になります。
設定	エッジ調整 ↵	マルチ画面で使用するときの画面のつなぎ目を目立ちにくくするための調整をします。どのエッジを重ね合わせるか、また、重ね合わせる範囲を設定するときに選択します。
	黒レベル ↵	マルチ画面で使用するとき、映像を重ね合わせた部分の黒レベルが明るくなるので、重ね合わせていない部分の黒レベルの明るさを調整します。（43 ページ参照）
	輝度ムラ補正 ↵	エッジブレンディングを行いやすくするために、プロジェクター単体の画面の輝度ムラを補正します。（43 ページ参照）
	リセット ↵	「設定」の「エッジ調整 ↵」、「黒レベル ↵」、「輝度ムラ補正 ↵」の設定を工場出荷時の設定に戻します。
カラーマッチング	OFF	プロジェクター 1 台のみで使用する場合に選びます。
	手動設定	プロジェクター間の色のばらつきを補正するために、画面を見ながら色を調整するときに選びます。
	測定	プロジェクター間の色のばらつきを補正するために、計測器を使用して色を調整するときに選びます。
手動設定	設定 ↵	テスト信号が表示されます。それぞれの信号において隣のプロジェクターの色味に合うように調整します。（44 ページ参照）
	リセット ↵	「手動設定」の「設定 ↵」を工場出荷時の設定に戻します。（44 ページ参照）
測定	測定データ ↵	テスト信号が表示されます。それぞれの信号に対して計測器（色彩色度計）を用いて輝度および色度を計測しその値を設定します。（44 ページ参照）
	ターゲットデータ ↵	それぞれの色に対する目標色度値を設定します。（44 ページ参照）
	リセット ↵	「測定」の「測定データ ↵」と「ターゲットデータ ↵」を工場出荷時の設定に戻します。

お知らせ

- エッジブレンディングを「ON」に設定している、またはカラーマッチングの設定を「手動設定」または「測定」に設定しているとき、画質メニューのカラーエンハンサーの「マルチ画面」のみが設定できます。この場合、「マルチ画面」以外は設定できません。
- エッジブレンディング機能を使用する場合、指向性のないスクリーンを使用して下さい。指向性のあるスクリーンを使用した場合、見る角度により、映像を重ねあわせた部分が不連続にみえます。
- 「測定」の「ターゲットデータ」を選択して入力する目標色度値は、あくまで目安の値となります。隣のプロジェクターと合わない場合は、画面を見ながらの調整が必要になります。

メニューを使って設定する（つづき）

■ オプションメニュー



設定項目	設定	はたらき
画角	NORMAL（FULL）	入力信号のアスペクト比を保持しながら、パネルの縦サイズ（1200 画素）または横サイズ（1920 画素）をフルに使用して映像を表示します。
	NORMAL（16：9）	16：9 スクリーンを使用する場合、この設定を選びます。
	NORMAL（4：3）	4：3 スクリーンを使用する場合、この設定を選びます。
	16：9 ↵	入力信号の種類にかかわらず、映像を 16：9 のアスペクト比（1920×1080 画素）で表示します。スクイーズ（左右に圧縮）記録された DVD の映像などを 16：9 に引き伸ばして表示したいときに選びます。ENTER ボタンを押すと、この設定を有効にする入力信号の設定が行えます。（22 ページ参照）
	REAL	入力信号本来の画素サイズで表示します。
	FULL	入力信号の種類にかかわらず、投写映像がフルサイズ（1920×1200 画素）で表示されます。
プロジェクター ID	ALL	すべての ID 番号で本機を制御するときはこれを選びます。（53 ページ参照）
	01 ～ 63	ID 番号（2 桁）を設定します。（53 ページ参照）
グループ ID	A ～ Z	SERIAL 端子による監視と制御する複数のプロジェクターをグループで制御するための ID を設定します。（53 ページ参照）
パスワードロック	映像表示 ↵、キー操作 ↵、スプラッシュスクリーン ↵	パスワードロック機能のモード切り換え、パスワードロック機能の設定、解除に使います。（50 ページ参照）
メニュー位置	画面左上、画面右下、画面中央	メニューの表示位置を切り換えます。
シネマモード	AUTO	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。通常は AUTO に設定します。 画面にちらつきが出たり、コマ落ちなどの不自然な動作をしたり、斜め線のガタツキが大きい場合は、フィルムまたはビデオモードのいずれか適する設定に切り換えてください。
	フィルム	強制的にフィルムモードに設定します。
	ビデオ	フィルムモード処理は行いません。
言語選択	日本語、English、Español、Deutsch、Français、Italiano、中文、한국어、РУССКИЙ、PORTUGUÊS、SVENSKA、POLSKI、Nederlands、Norsk(Bokmål)、Türkçe、ภาษาไทย、Bahasa Indonesia、Bahasa Melayu、Tiếng Việt	メニューなどの画面表示に使われる言語を選びます。

設定項目	設定	はたらき
アドバンスド メニュー	ENTER ↵	以下の設定を行うためのアドバンスド メニューを表示します。
信号判別	AUTO、NTSC、PAL、SECAM、4.43NTSC、PAL-M、PAL-N、PAL-60	ビデオ信号のカラー方式を選択します。通常は AUTO に設定します。AUTO に設定していて正常に色が付かないときは、入力信号に合わせたカラー方式に設定します。
セットアップ	AUTO	自動的にセットアップ設定を切り換えます。
	OFF	国内盤の LD や DVD の映像を見るときに選択します。
	3.75%、7.5%	米国盤の LD や DVD の映像を見るときに選択します。
SCART 入力	OFF、ON	欧州などで使用されている SCART 端子付きの機器と接続するときは、ON を選択します。COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1 端子からの入力時のみ有効です。通常は OFF を選択します。
ランプ警告	標準	ランプモードを「低」に設定した場合のランプ使用時間が 3000 時間を超えた場合に警告ダイアログを表示します。
	短期間	ランプモードを「低」に設定した場合のランプ使用時間が 3800 時間を超えた場合に警告ダイアログを表示します。
OSD 表示消去	OFF	通常はこちらを選びます。
	ON	無信号ダイアログ、入力ダイアログ、SCART 警告ダイアログ、オートパワーオフダイアログ、ランプ警告ダイアログ、温度異常ダイアログを表示しません。
ランプ1 時間リセット	OK ↵	ランプ1 の動作時間を 0 に戻します。
ランプ2 時間リセット	OK ↵	ランプ2 の動作時間を 0 に戻します。
フィルター 時間リセット	OK ↵	フィルターの動作時間と清掃回数を 0 に戻します。
RESET ALL	OK ↵	メニューの設定を工場出荷時の値に戻します。（言語選択、パスワードロック、イメージキャプチャーの画像、ネットワークメニューの設定を除く）

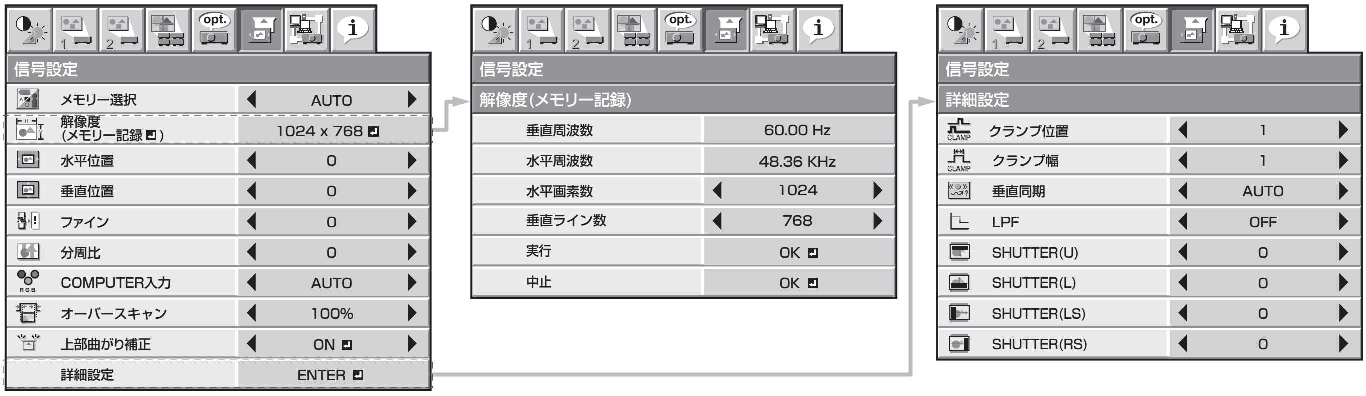
お知らせ

- SCART 入力の設定を「ON」にしているとき、通常のコンピューター信号は映りません。
- SCART 端子付きの機器の中には、このプロジェクターと互換性がないものがあります。
- RESET ALL には、少し時間がかかることがあります。
- ランプ選択を切り換えた後およびランプリレー動作後、約 2 分間は RESET ALL はできません。

メニューを使って設定する（つづき）

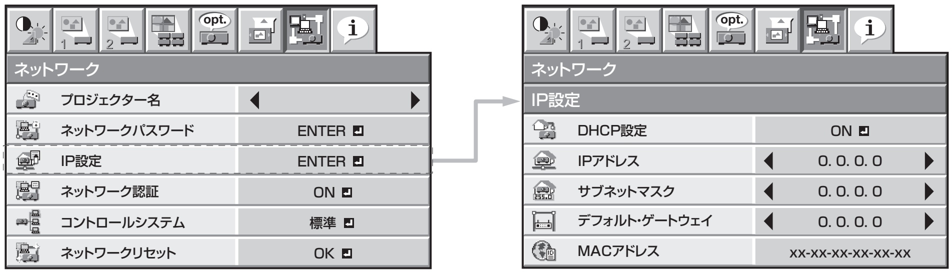
■ 信号設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整できません。（設定方法の詳細は 41、42 ページをご覧ください。）



設定項目	設定	はたらき
メモリー選択	AUTO、 メモリー 1 ↵、 メモリー 2 ↵	記録された解像度（メモリー記録）の設定を選択します。設定が記録されていないときは選べません。通常は、コンピューターからの信号に合わせて自動的に適切な信号形式を設定する AUTO が選択されます。 ENTER ボタンを押すと記録された設定内容を消去できます。
解像度（メモリー記録 ↵）		現在の解像度を表示します。ENTER ボタンを押すと解像度（メモリー記録）メニューを表示し、その設定内容を変更することができます。変更した設定内容はメモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
垂直周波数	ー	現在投写中の映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	ー	現在投写中の映像信号の水平周波数が表示されます。
水平画素数	640 ～ 1920	現在投写中の映像信号の水平画素数が表示されます。設定内容を変更し、実行を選んで ENTER ボタンを押すと、指定した解像度で映像を自動調整します。調整した結果は、メモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
垂直ライン数	350 ～ 1200	現在投写中の映像信号の垂直ライン数が表示されます。設定内容を変更し、実行を選んで ENTER ボタンを押すと、指定した解像度で映像を自動調整します。調整した結果は、メモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
実行	OK ↵	ENTER ボタンを押すと自動調整が始まります。調整終了後に、メッセージが表示され、メモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
中止	OK ↵	現在の解像度の設定変更を中止して、信号設定メニューに戻ります。
水平位置	0 ～ 999	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0 ～ 999	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0 ～ 31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0 ～ 9999	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER 入力	AUTO	自動的に最適な値に設定します。通常はこれを選びます。
	RGB	R、G、B 出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらを選びます。
	YC_BC_R/YP_BP_R	Y、C_B、C_R コンポーネントビデオ出力端子を持つ DVD プレーヤーまたは Y、P_B、P_R コンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVD プレーヤーなどから 480p（525p）信号を入力するときは、こちらを選びます。
オーバースキャン	100 ～ 90%	投写映像の表示領域を調整します。
上部曲がり補正	OFF	上部曲がりに対する調整を行いません。
	ON ↵	画面に上部曲がりが行ったときに調整します。
詳細設定	ENTER ↵	以下の調整をするための詳細設定メニューを表示します。
クランプ位置	1 ～ 255	投写画面が白くつぶれたり、黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1 ～ 63	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
垂直同期	AUTO	通常はこちらを選びます。
	OFF	映像の動きが不自然なときに選びます。
LPF	ON、OFF	プログレッシブフィルター（42 ページ）をはたらかせるかどうかを選択します。通常は OFF を選択します。
SHUTTER(U)	0 ～ 38	画面の上にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(L)	0 ～ 38	画面の下にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0 ～ 63	画面の左にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0 ～ 63	画面の右にノイズが出る場合に調整します。

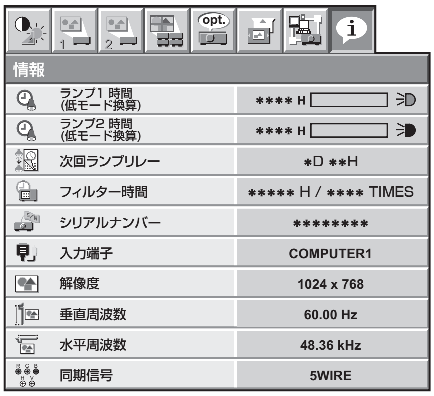
■ ネットワークメニュー



設定項目	設定	はたらき
プロジェクター名	*****...	プロジェクター名が表示されます。プロジェクター名を設定していない場合は空欄で表示されます。
	設定 ↵	プロジェクターを識別するための名前を設定します。英数字または記号で 15 文字以内で入力してください。（45 ページ参照）
ネットワークパスワード	ENTER ↵	Web 制御、PJLink 認証用のパスワードを設定します。（45 ページ参照）
IP 設定	ENTER ↵	IP 設定を行います。（46 ページ参照）
DHCP 設定	ON ↵、OFF ↵	DHCP サーバーによる自動 IP 取得を行うかどうかを選択します。
IP アドレス	***.***.***.***	IP アドレスが表示されます。ただし、工場出荷時は IP アドレスが設定されていませんので表示されません。
	設定 ↵	IP アドレスを設定します。DHCP 設定が ON のときは変更できません。
サブネットマスク	***.***.***.***	サブネットマスクが表示されます。ただし、工場出荷時はサブネットマスクが設定されていませんので表示されません。
	設定 ↵	サブネットマスクを設定します。DHCP 設定が ON のときは変更できません。
デフォルト・ゲートウェイ	***.***.***.***	デフォルト・ゲートウェイが表示されます。ただし、工場出荷時はデフォルト・ゲートウェイが設定されていませんので表示されません。
	設定 ↵	デフォルト･ゲートウェイを設定します。DHCP 設定が ON のときは変更できません。
MAC アドレス	xx-xx-xx-xx-xx-xx	MAC アドレスが表示されます。
ネットワーク認証	ON ↵、OFF ↵	ネットワーク認証を行うかどうかを選択します。通常は ON に設定します。（47 ページ参照）
コントロールシステム	標準 ↵	ProjectorView Global+、ProjectorView を使用する場合に選びます。（47、51 ページ参照）
	AMX ↵	AMX 社のコントローラーを使用する場合に選びます。（47、51 ページ参照）
	CRESTRON ↵	CRESTRON 社のコントローラおよびソフトウエアを使用する場合に選びます。（47、51 ページ参照）
ネットワークリセット	OK ↵	ネットワーク設定を初期化します。（47 ページ参照）

メニューを使って設定する（つづき）

■ 情報メニュー



設定項目	内容
ランプ1 時間（低モード換算）	ランプ1 のランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が 10 時間以内の場合、0 Hが表示されます。10 時間を超えると、1 時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が 3000 時間を超えた場合、バーは黄色になります。3800 時間を超えた場合、赤色になります。 ● バー右横のアイコンはランプの状態を表します。 黄色：点灯　赤：寿命または点灯失敗等のエラー　黒色：消灯
ランプ2 時間（低モード換算）	ランプ2 のランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が 10 時間以内の場合、0 Hが表示されます。10 時間を超えると、1 時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が 3000 時間を超えた場合、バーは黄色になります。3800 時間を超えた場合、赤色になります。 ● バー右横のアイコンはランプの状態を表します。 黄色：点灯　赤：寿命または点灯失敗等のエラー　黒色：消灯
次回ランプリレー	次回のランプリレーの時間が表示されます。
フィルター時間	フィルター使用時間と清掃回数が表示されます。
シリアルナンバー	本機のシリアルナンバーが表示されます。
入力端子	現在投写中の入力端子名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。

お知らせ

● 次回ランプリレーは、設置 1 メニューのランプリレーを「OFF」に、またランプ選択を「ランプ 1」または「ランプ 2」に設定しているときは表示されません。

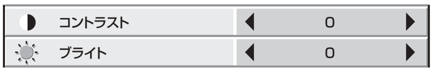
映像を調整する

映像の明るさを調整する（コントラスト、ブライト）

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。
● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「コントラスト」または「ブライト」を選ぶ



3 ◀、▶ボタンを押して調整する

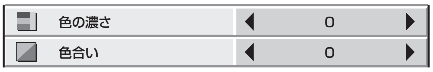
コントラスト.........▶ボタンを押すごとに、映像が明るくなり、メリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くなり、しっとりとします。
ブライト.................▶ボタンを押すごとに、映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くなります。

色を調整する（色の濃さ、色合い）

メニューを使って映像の色に関する調整をします。
● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「色の濃さ」または「色合い」を選ぶ



3 ◀、▶ボタンを押して調整する

色の濃さ.................▶ボタンを押すごとに、色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに、色が薄くなります。
色合い.....................▶ボタンを押すごとに、肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに、肌色が紫がかります。

お知らせ

●「色合い」は、ビデオ入力時のみ表示されます。
●「色合い」は、NTSC、4.43NTSC 時のみはたらきます。

映像をくっきりさせたり、ソフトにしたりする（シャープネス）

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。
● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

白の色合いを調整する（色温度の詳細設定）

メニューを使って色温度（白の色合い）の調整をします。
● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

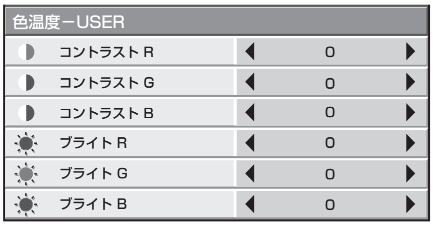
1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「USER ↵」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● 色温度の詳細メニューが表示されます。



5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

7 操作 5 、6 を繰り返して設定する

8 MENU ボタンを 3 回押す

色温度について

白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト青とコントラスト赤の数値を変化させることにより、設定します。

● 色温度を高くするには
　コントラスト B（青）の数値を大きく、コントラスト R（赤）の数値を小さく設定します。
● 色温度を低くするには
　コントラスト B（青）の数値を小さく、コントラスト R（赤）の数値を大きく設定します。

独自の明るさと色合いを設定する（カラーエンハンサーの詳細設定）

メニューを使って独自の明るさと色合いのバランスを設定します。
● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「カラーエンハンサー」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「USER ↵」または「マルチ画面 ↵」を選ぶ

お知らせ

●「マルチ画面」はマルチ画面メニューのエッジブレンディングを「ON」に設定している、またはカラーマッチングの設定を「手動設定」または「測定」に設定しているときのみ設定できます。

映像を調整する（つづき）

4 ENTER ボタンを押す

● カラーエンハンサーの詳細メニューが表示されます。

「USER」を選択したとき

カラーエンハンサー－USER	
ガンマモード	◀ ダイナミック ▶
BrilliantColor™	◀ 10 ▶

「マルチ画面」を選択したとき

カラーエンハンサー－マルチ画面	
ガンマモード	◀ 2.0 ▶
BrilliantColor™	◀ 0 ▶

5 ▲、▼ボタンを押して設定する項目を選ぶ

ガンマモード

最適なガンマに設定します。

「USER」を選択したとき

- ダイナミック .....コンピューター映像に適した設定になります。
- ナチュラル ....ビデオ映像に適した設定になります。
- ディテール ....映画、音楽ライブを見るときなど比較的輝度を抑えたいときに選びます。

「マルチ画面」を選択したとき

- 1.8/2.0/2.2 ...ガンマの特性を 1.8 乗、2.0 乗、2.2 乗から選択します。

BrilliantColor™

BrilliantColor™は米国テキサスインスツルメンツ社のBrilliantColor™テクノロジーを使用しており、優れた色彩を提供しながらさらに高輝度の画像を実現します。◀ボタンを押して値を小さくすると効果が弱くなり、▶ボタンを押して値を大きくすると効果が強くなります。（0 に設定すると、BrilliantColor™ははたらきません。）

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

お知らせ

● カラーエンハンサーは、リモコンの CE ボタンを押しても調整できます。

1 リモコンの CE ボタンを押す

● カラーエンハンサー調整用の画面が右上に表示されます。

2 表示したまま◀、▶ボタンを押して「USER ⏎」または「マルチ画面 ⏎」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 ▲、▼ボタンを押して、ガンマモードまたは BrilliantColor™の項目を選ぶ

5 選択後、◀、▶ボタンを押して設定する

映像の繊細感を調整する (SUPER RESOLUTION)

メニューを使って映像の繊細感の調整をします。

● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「SUPER RESOLUTION」を選ぶ

SUPER RESOLUTION	◀ OFF ▶

3 ◀、▶ボタンを押して「ON ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● SUPER RESOLUTION のレベルメニューが表示されます。

SUPER RESOLUTION	
レベル	◀ 1 ▶

5 ◀、▶ボタンを押して調整する

お知らせ

● SUPER RESOLUTION を設定するとメニュー画面の色がにじむ場合がありますが、異常ではありません。

● SUPER RESOLUTION は、リモコンの SUPER RESOLUTION ボタンを押しても調整できます。

1 リモコンの SUPER RESOLUTION ボタンを押す

● SUPER RESOLUTION 調整用の画面が右上に表示されます。

2 表示したまま◀、▶ボタンを押して「ON ⏎」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンを押して調整する

色ごとの色合いを調整する (NCM)

メニューを使って色ごとの色合いの調整をします。

● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「NCM」を選ぶ

NCM	◀ COMPUTER ▶

3 ◀、▶ボタンを押して「USER ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● NCM の詳細メニューが表示されます。

NCM－USER	
RED	◀ 0 ▶
YELLOW	◀ 0 ▶
GREEN	◀ 0 ▶
CYAN	◀ 0 ▶
BLUE	◀ 0 ▶
MAGENTA	◀ 0 ▶
SATURATION	◀ 0 ▶
RGB-TINT	◀ 0 ▶

5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

● 全体の色の彩度を設定したいときは、「SATURATION」を選びます。

● 全体の色を同時に設定したいときは、「RGB-TINT」を選びます。

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

7 操作 5 、6 を繰り返して設定する

お知らせ

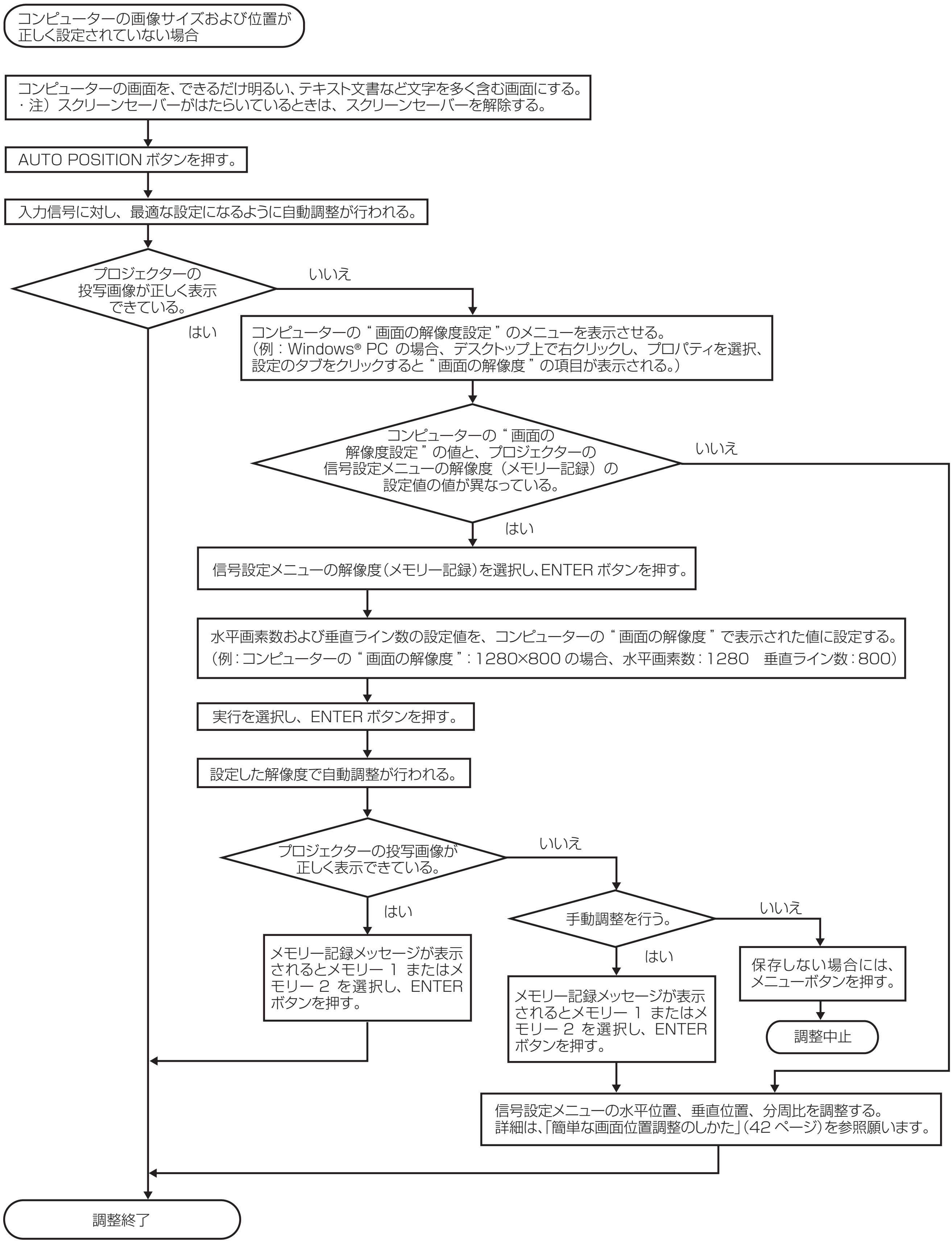
● 入力信号が VIDEO または COMPUTER のとき、NCM 調整の設定項目はあらかじめ決められた値に自動的に設定されます。この設定は手動で変更することができます。

● NCM 調整を取り消すためには、手順 2 で OFF を選択してください。

● NCM 調整を行うと、メニュー画面の色が変化しますが異常ではありません。

コンピューター映像の調整

本機は、コンピューターからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピューターの種類や表示画像によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは以下の図の流れに従い、調整してください。



映像を調整する（つづき）

メニュー画面を使ったコンピューター映像の調整のしかた

次のような症状のときは、以下のように調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**
  信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**
  信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼやける**
  信号設定メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**
  信号設定メニューの分周比を調整します。
- **画面が白く（または黒く）つぶれる**
  信号設定メニューの詳細設定メニューの中のクランプ位置またはクランプ幅を調整します。
- **画面の左右にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューの SHUTTER（LS）または SHUTTER（RS）を調整します。
- **画面の上下にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューの SHUTTER（U）または SHUTTER（L）を調整します。
- **画面に上部曲がりが起こる**
  信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「ON↵」にして ENTER ボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。
- **映像の動きが不自然**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューの垂直同期を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。
  ※ 信号設定メニューの中の詳細設定メニューの設定は、通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた（AUTO POSITION ボタンで調整できない場合）

水平位置の調整

1. 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる
2. 操作 1 を繰り返し、水平位置の調整を行う

垂直位置の調整

3. 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる

LPF（プログレッシブフィルター）について

ご使用になる DVD プレーヤーによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPF を ON にすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。ただし、映像の鮮鋭度は弱くなります。

マルチ画面の映像の調整

本機は複数台を利用して、並べて投写（マルチ画面）することができます。
マルチ画面にしたときにそれぞれの映像のつなぎ目を目立ちにくくさせたり、明るさや色合いの違いの調整ができます。

お知らせ

- 設置条件によっては、排気風の影響で映像にゆらぎが生じる場合があります。その時はゆらぎが生じない程度にプロジェクターの間隔を空けてください。(およそ 70cm 以上)

つなぎ目を目立ちにくくする

メニューを使って複数台で投写した映像のつなぎ目を目立ちにくくする設定をします。
- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 マルチ画面メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「エッジブレンディング」を選ぶ

エッジブレンディング	◀	OFF ▶

3 ◀、▶ボタンを押して「ON」を選ぶ

4 ▲、▼ボタンを押して「設定」を選ぶ

設定	◀	エッジ調整 ↵ ▶

5 ◀、▶ボタンを押して「エッジ調整 ↵」を選ぶ

6 ENTER ボタンを押す

- エッジ調整の詳細メニューが表示されます。

設定－エッジ調整		
エッジ選択	◀	上 ▶
ブレンディング	◀	OFF ▶
幅	◀	128 ▶
マーカー	◀	OFF ▶

7 ▲、▼ボタンを押して設定する項目を選ぶ

エッジ選択
調整をするつなぎ目を「上」、「下」、「左」、「右」から選びます。

ブレンディング
ON を選ぶと「エッジ選択」で選んだつなぎ目を目立ちにくくします。

幅
「エッジ選択」で選んだつなぎ目の重なる幅を設定します。
「上」「下」選択時：4 ～ 524
「左」「右」選択時：4 ～ 944

マーカー
「ON」を選ぶとつなぎ目の重なる位置を決めやすくするためのマーカーを表示します。

8 ◀、▶ボタンを押して設定する

9 操作 7 、8 を繰り返して設定する

10 MENU ボタンを 1 回押す

11 ◀、▶ボタンを押して「黒レベル ↵」を選ぶ

設定	◀	黒レベル ↵ ▶

12 ENTER ボタンを押す

- 黒レベルの詳細メニューが表示されます。

設定－黒レベル		
連動	◀	ON ▶
RED	◀	0 ▶
GREEN	◀	0 ▶
BLUE	◀	0 ▶

13 ▲、▼ボタンを押して設定する項目を選ぶ

- 重なった範囲以外の黒レベルを調整します。
- 「連動」を「ON」にすると「RED」、「GREEN」、「BLUE」の色を同時に調整できます。
「OFF」にすると「RED」、「GREEN」、「BLUE」の色を個別に調整できます。

14 ◀、▶ボタンを押して設定する

15 操作 13 、14 を繰り返して設定する

16 MENU ボタンを 1 回押す

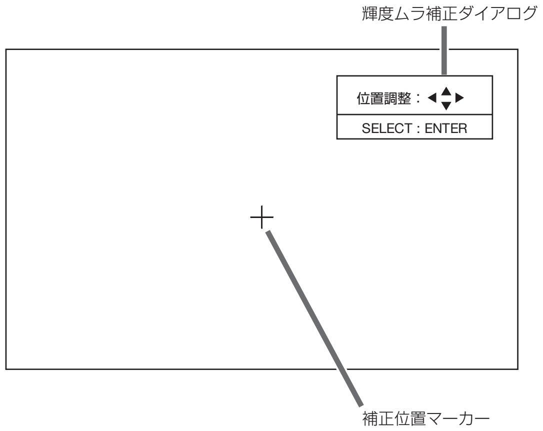
17 ◀、▶ボタンを押して「輝度ムラ補正↵」を選ぶ

- 「エッジブレンディング」を「ON」に設定しているときに映像の明るさを均一にします。

設定	◀	輝度ムラ補正 ↵ ▶

18 ENTER ボタンを押す

- 輝度ムラ補正ダイアログと補正位置マーカーが表示されます。



- ENTER ボタンを押すごとに輝度ムラ補正ダイアログの表示が「位置調整」→「レベル」→「位置調整」と切り換わります。

位置調整

位置調整：◀▲▼▶
SELECT : ENTER

▲、▼、◀、▶ボタンを押すと補正位置マーカーが移動します。

レベル

レベル：◀ 100 ▶
SELECT : ENTER

◀、▶ボタンを押して補正量を調整します。

19 輝度ムラ補正ダイアログ表示を消去する

▲、▼、◀、▶または ENTER ボタン以外のボタンを押す、または操作後 10 秒経過すると表示が消えます。

映像を調整する（つづき）

色のばらつきを調整する

メニューを使って複数台で投写した映像の色のばらつきを調整します。

● メニュー設定のしかたは29ページをご覧ください。

画面を見ながら調整する場合

1 マルチ画面メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「カラーマッチング」を選ぶ

カラーマッチング	◀ OFF ▶	

3 ◀、▶ボタンを押して「手動設定」を選ぶ

4 ▲、▼ボタンを押して「手動設定」を選ぶ

手動設定	◀ 設定 ▶

5 ◀、▶ボタンを押して「設定」を選ぶ

6 ENTER ボタンを押す

● 手動設定の詳細メニューが表示されます。

手動設定－設定	
カラー	RED
ゲイン	0
飽和度	0
色相	0
WHITE R	- - -
WHITE G	- - -
WHITE B	- - -
自動テストパターン	ON

7 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

● 「カラー」で調整する色を選びます。

● 「自動テストパターン」で「ON」を選ぶと色ごとのテストパターンが表示されます。

8 ◀、▶ボタンを押して設定する

9 操作 7 、8 を繰り返して設定する

色彩色度計を使用して調整する場合

1 マルチ画面メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「カラーマッチング」を選ぶ

カラーマッチング	◀ OFF ▶

3 ◀、▶ボタンを押して「測定」を選ぶ

測定した輝度と色度座標を設定する：

4 ▲、▼ボタンを押して「測定」を選ぶ

測定	◀ 測定データ ▶

5 ◀、▶ボタンを押して「測定データ」を選ぶ

6 ENTER ボタンを押す

● 測定データの詳細メニューが表示されます。

測定－測定データ	
カラー	RED
Y（相対値）	*****
x	*.***
y	*.***

7 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

● 「カラー」で調整する色を選びます。

8 ◀、▶ボタンを押して設定する

● リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（0～9）」ボタンを押して入力することもできます。

9 操作 7 、8 を繰り返して設定する

お知らせ

● 設定値によっては色合いがおかしくなる場合があります。適切な範囲で設定してください。

輝度と色度座標の目標値を設定する：

4 ▲、▼ボタンを押して「測定」を選ぶ

測定	◀ 測定データ ▶

5 ◀、▶ボタンを押して「ターゲットデータ」を選ぶ

6 ENTER ボタンを押す

● ターゲットデータの詳細メニューが表示されます。

測定－ターゲットデータ	
カラー	RED
ゲイン	*.***
x	*.***
y	*.***
自動テストパターン	ON

7 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

● 「カラー」で調整する色を選びます。

● 「自動テストパターン」で「ON」を選ぶと色ごとのテストパターンが表示されます。

8 ◀、▶ボタンを押して設定する

● リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（0～9）」ボタンを押して入力することもできます。

9 操作 7 、8 を繰り返して設定する

お知らせ

● 設定値によっては色合いがおかしくなる場合があります。適切な範囲で設定してください。

設定をリセットする

● 設定した「設定」、「手動設定」、「測定」の項目それぞれを工場出荷時の設定に戻すことができます。

1 マルチ画面メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「設定」、「手動設定」または「測定」を選ぶ

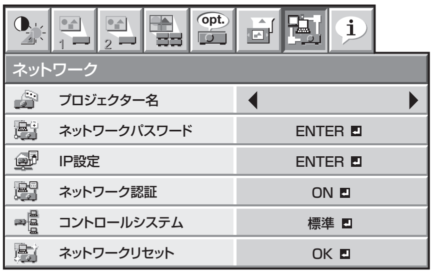
設定	◀ リセット ▶

3 ◀、▶ボタンを押して「リセット」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

ネットワークの初期設定

メニューを使って本体のネットワーク設定を行います。



プロジェクター名を設定する

● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

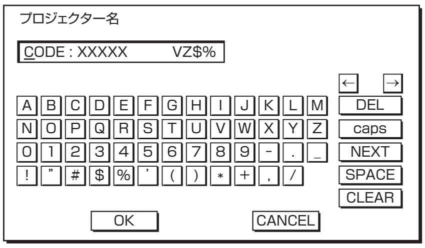
1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「プロジェクター名」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定 ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● プロジェクター名入力画面が表示されます。



5 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する文字または記号を選び、ENTER ボタンを押す

● プロジェクター名はアルファベット（大・小）、数字、記号で最大 15 文字まで設定できます。

←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー.........................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
DEL キー.................入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
caps/CAPS キー.....アルファベットの大文字（caps）と小文字 (CAPS) を切り替える
NEXT/PREV キー ...キーパッド 4 行目の記号を切り替える
SPACE キー ....入力カーソル位置に空白を挿入する
CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

● 数字のみ、リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字 (0 ～ 9)」ボタンを押して入力することもできます。

6 「OK」を選び、入力した名前を設定して終了する または「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

●「OK」または「CANCEL」を選ぶとネットワークメニューへ戻ります。

● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワークパスワードを変更する

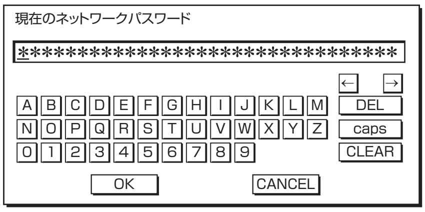
● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワークパスワード」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● 現在のネットワークパスワード入力画面が表示されます。



4 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する文字または記号を選び、ENTER ボタンを押す

● パスワードはアルファベット (大・小)、数字で最大 32 文字まで設定できます。

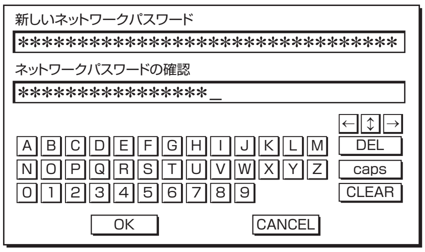
←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー......................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
DEL キー ....入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
caps/CAPS キー ....アルファベットの大文字（caps）と小文字 (CAPS) を切り替える
CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

● 数字のみ、リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字 (0 ～ 9)」ボタンを押して入力することもできます。

● 工場出荷設定ではパスワードは「admin」になっています。

5 「OK」を選び、入力したパスワードが正しければ続けて新パスワード入力画面が表示される

● パスワードを間違えた場合、エラーダイアログが表示され再び現在のネットワークパスワード入力画面が表示されます。



6 新パスワードと確認用パスワードを入力する

● パスワードはアルファベット (大・小)、数字で最大 32 文字まで設定できます。

←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー.........................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
↕ キー......................入力カーソル位置が「新しいネットワークパスワード」または「ネットワークパスワードの確認」へ移動する
DEL キー.................入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
caps/CAPS キー.....アルファベットの大文字（caps）と小文字 (CAPS) を切り替える
CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

● 数字のみ、リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字 (0 ～ 9)」ボタンを押して入力することもできます。

7 新パスワードと確認用パスワードが一致したらネットワークパスワードを変更して終了する

●「OK」を選び入力内容が一致した場合、設定変更中ダイアログが表示されます。表示が消えた後、ネットワークメニューに戻ります。

●「CANCEL」を選ぶと内容を変更せずにネットワークメニューに戻ります。

● 入力内容が一致していない場合、エラーダイアログが表示され、再度新パスワード入力画面が表示されます。

● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワークの初期設定（つづき）

IP を設定する

● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IP 設定」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● IP 設定の詳細メニューが表示されます。

DHCP の設定・解除をする

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「DHCP 設定」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● 設定確認のダイアログが表示されます。

4 ◀、▶ボタンを押して「ON ⏎」または「OFF ⏎」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

● 「OK」を選ぶと設定変更中ダイアログが表示されます。表示が消えた後、ネットワークメニューに戻ります。
● 設定を変更しない場合は、MENU ボタンを押してダイアログを解除してください。
● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。
● DHCP 設定を ON にした場合、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルト・ゲートウェイ」の設定はできません。設定する場合は DHCP 設定を OFF にし、以下の手順で IP 設定を行ってください。

IP アドレスを設定する

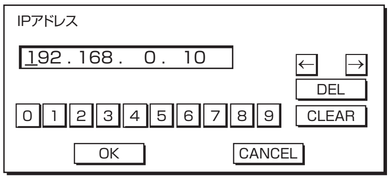
1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IP アドレス」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定 ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● IP アドレス入力画面が表示されます。



5 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する数字を選び、ENTER ボタンを押す

● 数値は 0 ～ 255 の範囲で入力してください。
ただし、最終オクテットのみ 1 ～ 254 の範囲内で入力してください。

←キー.................入力カーソル位置が左へ移動する
→キー.................入力カーソル位置が右へ移動する
DEL キー............入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
CLEAR キー......入力した文字を全て消去する

● 数字のみ、リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（0 ～ 9）」ボタンを押して入力することもできます。

6 「OK」を選び、入力した IP アドレスを設定して終了するまたは「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

● 入力内容が正しい場合、設定変更中ダイアログが表示されます。表示が消えた後、ネットワークメニューに戻ります。入力内容が正しくない場合、エラーダイアログが表示されネットワークメニューに戻ります。
● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

サブネットマスクを設定する

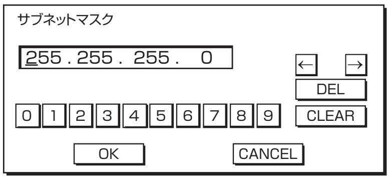
1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「サブネットマスク」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定 ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● サブネットマスク入力画面が表示されます。



5 サブネットマスクを入力する

● 入力方法については「IP アドレスを設定する」を参照してください。

6 「OK」を選び、入力したサブネットマスクを設定して終了するまたは「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

● 入力内容が正しい場合、設定変更中ダイアログが表示されます。表示が消えた後、ネットワークメニューに戻ります。入力内容が正しくない場合、エラーダイアログが表示されネットワークメニューに戻ります。
● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

デフォルト・ゲートウェイを設定する

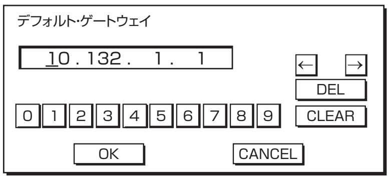
1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「デフォルト･ゲートウェイ」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定 ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● デフォルト・ゲートウェイ入力メニューが表示されます。



5 デフォルト・ゲートウェイを入力する

- 入力方法については「IP アドレスを設定する」を参照してください。

6「OK」を選び、入力したデフォルト・ゲートウェイを設定して終了するまたは「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

- 入力内容が正しい場合、設定変更中ダイアログが表示されます。表示が消えた後、ネットワークメニューに戻ります。入力内容が正しくない場合、エラーダイアログが表示されネットワークメニューに戻ります。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク認証の設定・解除をする

ネットワーク通信で、ネットワークパスワードを使用した認証を行うかどうかを設定します。

- 詳しくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。
- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワーク認証」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- 設定確認のダイアログが表示されます。

4 ◀、▶ボタンを押して「ON」または「OFF」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

- 設定を変更しない場合は、MENU ボタンを押してダイアログを解除してください。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

コントロールシステムの設定をする

コントロールシステムを設定します。

- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「コントロールシステム」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンを押して「標準」、「AMX」または「CRESTRON」を選ぶ

標準
ProjectorView Global+ または ProjectorView を使用する場合に選びます。(51 ページ参照)

AMX
AMX 社のコントローラーを使用する場合に選びます。(51 ページ参照)

CRESTRON
Crestron 社のコントローラおよびソフトウエアを使用する場合に選びます。(51 ページ参照)

お知らせ

- PJLink® はコントロールシステムの設定にかかわらず動作します。

5 ENTER ボタンを押す

ネットワーク設定を初期化する

- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワークリセット」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- 設定確認のダイアログが表示されます。

4 もう一度 ENTER ボタンを押すと、ネットワーク設定が初期化される

- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク機能を使うには

- コンピュータとプロジェクターを LAN 接続する際は、両方の IP アドレスを同じネットワークグループになるように設定してください。
  異なるネットワークグループで接続する場合ルーターをご使用ください。ルーターの設定についてはネットワーク管理者へお問い合わせください。
- IP 設定は正しく行ってください。正しく設定していないと、通信ができない場合があります。詳しくは、ネットワーク管理者へご相談ください。
- プロジェクターのスタンバイモードの設定によっては、LAN 機能が利用できないことがあります。スタンバイモードについては、31 ページを参照してください。

用語説明

詳細については市販の書籍などをご覧ください。

用語	説明
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略で、ネットワークに接続する機器に IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
IP アドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
サブネットマスク	IP アドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数字のことです。
デフォルト・ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク(サブネット)を越えて通信するためのサーバー(ルーター)のことです。
MAC アドレス	Media Access Control アドレスの略です。 MAC アドレスはネットワークアダプタごとの固有の ID 番号です。すべてのネットワークアダプタは 1 つずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダプタ間の送受信が行われます。

ランプリレーについて

ランプリレー機能を用いることにより、映像を連続して投写することができます。ランプリレー機能は自動的にランプを休ませたり、切り換えたりする機能です。設置 1 メニューのランプ選択を「デュアル」または「シングル」に設定するとランプリレーを行うことができます。

ランプリレーの周期を設定する

「ランプ選択」が「デュアル」の場合 ――

どちらか 1 灯のランプを自動的に休ませることができます。

● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 **設置 1 メニューを表示させる**

2 **▲、▼ボタンを押して「ランプ選択」を選ぶ**

3 **ENTER ボタンを押す**

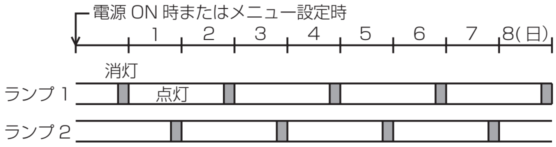
4 **◀、▶ボタンを押して「デュアル ↵」を選ぶ**

5 **ENTER ボタンを押す**

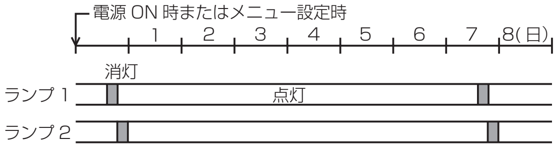
6 **▲、▼ボタンを押して「ランプリレー」を選ぶ**

7 **◀、▶ボタンを押して「1H/24H ↵」または「2H/1W ↵」を選ぶ**

1H/24H ↵....1 日のうちのいつランプを動作させるかを決めて使用するときに選びます。
連続運転中、24 時間のうち 1 時間は「ランプ 1」または「ランプ 2」を自動消灯します。
設定後は、設定した時間ごとに交互にランプを 1 時間ずつ消灯します。



2H/1W ↵......連続運転中、1 週間のうち 2 時間は「ランプ 1」または「ランプ 2」を自動消灯します。
設定後は、設定した期間ごとに交互にランプを 1 時間ずつ消灯します。

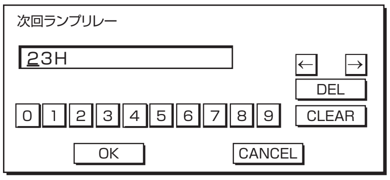


8 **ENTER ボタンを押す**

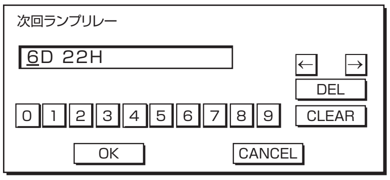
● 「1H/24H ↵」または「2H/1W ↵」を選ぶと初回のランプ消灯開始時間入力画面が表示されます。

● 本機の電源を切ると設定値はクリアされ、左下図の「電源 ON 時またはメニュー設定時」の時点から動作を開始します。

1H/24H ↵



2H/1W ↵



9 **方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する数字を選び、ENTER ボタンを押す**

● 最大設定周期
「1H/24H ↵」...23H（23 時間）
「2H/1W ↵」.....6D 22H（6 日と 22 時間）

←キー.................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー.................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
DEL キー............入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
CLEAR キー......入力した文字を全て消去する

● リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（0 ～ 9）」ボタンを押して入力することもできます。

● 入力された値が以下の条件に当てはまると画面中央にエラーダイアログ画面が表示されます。
- ・ DEL または CLEAR により値が消去され、空欄になっている場合
- ・ 設定した時間が範囲外である場合
  1H/24H ↵.......24H 以上
  2H/1W ↵..........6D 23H 以上
- ・ 各項目が設定範囲外の値である場合
  D...... 7 以上（「2H/1W ↵」のみ）
  H...... 24 以上

10 **「OK」を選び、入力した周期を設定して終了するまたは「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する**

● 「OK」または「CANCEL」を選ぶとランプリレーメニューへ戻ります。

● 設定内容は情報メニューの「次回ランプリレー」に反映されます。

お知らせ

● 連続使用を続けた場合、時計機能の誤差により動作時刻がずれてくることがあります。

● 電源を入れた直後、ランプ選択動作中、ランプリレー動作中は、ランプ選択、ランプリレーの変更ができません。

● 連続点灯して使用する場合、1 週間に 1 時間の消灯を行わないとランプの劣化を早めることがあります。

● 本機を長時間連続使用するときは、「ランプリレー」を設定してください。

● ランプの切り換え時には、明るさや色あいが変化します。

「ランプ選択」が「シングル」の場合 ——

ランプを自動的に交互に使用することができます。

● メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 設置 1 メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ランプ選択」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

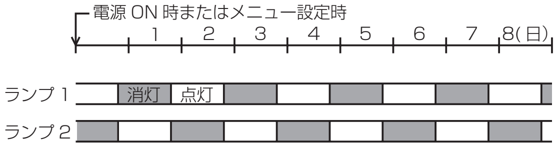
4 ◀、▶ボタンを押して「シングル ↵」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

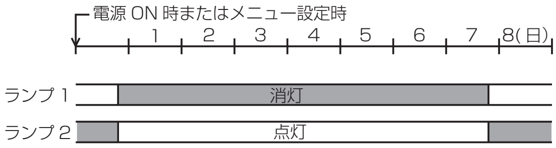
6 ▲、▼ボタンを押して「ランプリレー」を選ぶ

7 ◀、▶ボタンを押して「24H ↵」または「1 WEEK ↵」を選ぶ

24H ↵......... 1 日ごとに点灯するランプを切り換える。



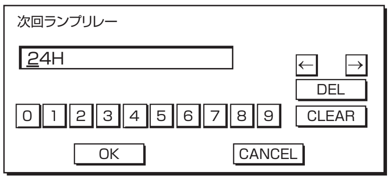
1 WEEK ↵... 1 週間ごとに点灯するランプを切り換える。



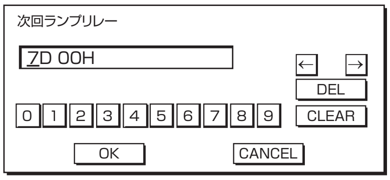
8 ENTER ボタンを押す

● 「24H ↵」または「1 WEEK ↵」を選ぶと初回のランプ点灯切り換え開始時間入力画面が表示されます。

24H ↵



1 WEEK ↵



9 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する数字を選び、ENTER ボタンを押す

● 最大設定周期

「24H ↵」...........24H（24 時間）

「1 WEEK ↵」....7D 00H（7 日 00 時間）

←キー.................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する

→キー.................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する

DEL キー............入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する

CLEAR キー......入力した文字を全て消去する

● リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（0 ～ 9）」ボタンを押して入力することもできます。

● 入力された値が以下の条件に当てはまると画面中央にエラーダイアログ画面が表示されます。

・ DEL または CLEAR により値が消去され、空欄になっている場合

・ 設定した時間が範囲外である場合

24H ↵...............25H 以上

1 WEEK ↵........7D 01H 以上

・ 各項目が設定範囲外の値である場合

D...... 8 以上（「1 WEEK ↵」のみ）

H...... 25 以上

10 「OK」を選び、入力した周期を設定して終了するまたは「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

● 「OK」または「CANCEL」を選ぶとランプリレーメニューへ戻ります。

● 設定内容は情報メニューの「次回ランプリレー」に反映されます。

お知らせ

● 連続使用を続けた場合、時計機能の誤差により動作時刻がずれてくることがあります。

● 電源を入れた直後、ランプ選択動作中、ランプリレー動作中は、ランプ選択、ランプリレーの変更ができません。

● 連続点灯して使用する場合、1 週間に 1 時間の消灯を行わないとランプの劣化を早めることがあります。

● 本機を長時間連続使用するときは、「ランプリレー」を設定してください。

● ランプの切り換え時には、明るさや色あいが変化します。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子様による誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。パスワードロック機能には、次の３つのモードがあります。

映像表示

電源を入れたとき、起動画面（スプラッシュスクリーン）が表示されたままになります。パスワードを入力することにより、通常の画面に切り換わります。

キー操作

本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります（リモコンのボタン操作はできます）。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

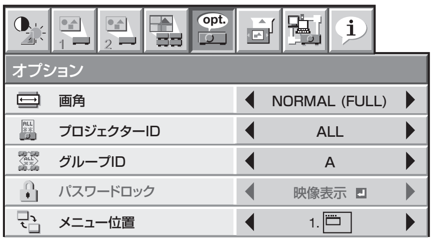
スプラッシュスクリーン

設置２メニューのスプラッシュスクリーンおよびイメージキャプチャーの設定ができなくなります。このときスプラッシュスクリーンは自動的に「ON」に設定されます。

パスワードロックの設定のしかた

1 オプションメニューを表示させる

2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

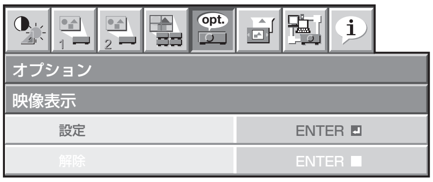


3 ◀または▶ボタンを押してモード（「映像表示」、「キー操作」または「スプラッシュスクリーン」）を切り換える

- すでにパスワードが設定されているときは、モードは切り換わりません。そのときは、ENTER ボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

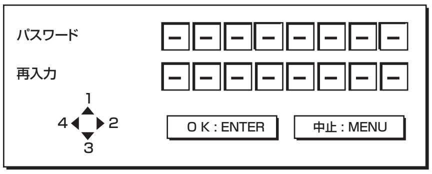
4 ENTER ボタンを押す

- パスワードロック画面（設定用）が表示されます。



5 ENTER ボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



6 ▲、▶、▼または◀ボタンを押して４～８桁のパスワードを入力する

（▲ =1、▶ =2、▼ =3、◀ =4）

- リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（1 ～ 4）」ボタンを押して入力することもできます。

7 ENTER ボタンを押す

8 同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する

9 ENTER ボタンを押す

- 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENU ボタンを押します。

パスワードロックの解除のしかた

1 オプションメニューを表示させる

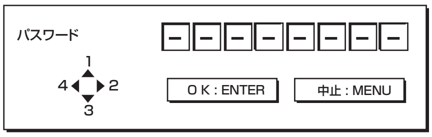
2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ENTER ボタンを押す

- パスワードロック画面（解除用）が表示されます。

4 ENTER ボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



5 ▲、▶、▼または◀ボタンを押して４～８桁のパスワードを入力する

（▲ =1、▶ =2、▼ =3、◀ =4）

- リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（1 ～ 4）」ボタンを押して入力することもできます。

6 ENTER ボタンを押す

- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENU ボタンを押します。

パスワードを忘れたときは

本体操作部の MENU ボタンと ENTER ボタンを同時に押して、パスワードを解除してください。

コンピューターによる監視と制御

本機はコンピュータによるプロジェクターの監視および制御をLAN 回線経由で行うことができます。

主な機能

- ProjectorView Global+
  プロジェクター一括制御・状態監視アプリケーション
  - 単体／複数のプロジェクターの一括操作
  - 曜日ごとの電源 ON/OFF スケジュール機能
  - プロジェクターの各種状態の取得と盗難検知
  - プロジェクターの IP アドレス設定
  - Web ブラウザーによる状態制御／監視ツール ProjectorView の起動
- ProjectorView
  Web ブラウザーによりプロジェクターの監視と制御を行う
- AMX Device Discovery
  AMX 社のコントローラーシステムによりプロジェクターの監視・制御を行う
- Crestron RoomView Connected ™
  Crestron 社のコントローラーシステムおよびソフトウエアによりプロジェクターの監視・制御を行う
- PJLink®
  プロジェクター制御用の標準プロトコルで、異なるメーカー間、機種間であっても同一のアプリケーションを用いてプロジェクターの監視・制御を行う

ProjectorView Global+ について

- 詳しくは、CD-ROM 内の「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」をご覧ください。

AMX Device Discovery について

- AMX 社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX 社が提唱する技術です。使用するにはネットワークメニューのコントロールシステムを設定する必要があります。(37、47 ページ参照)
  詳細に関しては、AMX 社の WEB サイトを参照してください。
  URL http://www.amx.com/

Crestron RoomView Connected ™ について

- Crestron 社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、Crestron 社が提唱する技術です。使用するにはネットワークメニューのコントロールシステムを設定する必要があります。(37、47 ページ参照)
  詳細に関しては、Crestron 社の WEB サイトを参照してください。
  URL http://www.crestron.com
  URL http://www.crestron.com/getroomview/

お知らせ

- ネットワークメニューのコントロールシステムで「CRESTRON」を選択すると、Crestron 用の Web 制御になります。この時 Adobe Flash Player をインストールしておく必要があります。Adobe Systems Incorporated の Web サイトから Adobe Flash Player をダウンロードしてください。
- ネットワークメニューのコントロールシステムで「CRESTRON」を選択すると、製品添付ソフトウエア ProjectorView Global + による制御ができなくなります。

PJLink® について

- PJLink® 機能を使用するには、別途、PJLink® アプリケーションソフトが必要です。
- この機能を使用するには、ネットワーク認証 ON/OFF 設定を適当な値にセットします。(47 ページ参照)
- PJLink の仕様に関しては、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の Web サイトを参照してください。
  URL　http://pjlink.jbmia.or.jp/
- 本プロジェクターは、JBMIA PJLink クラス 1 の規格に適合しています。PJLink クラス 1 で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink 標準仕様バージョン 1.0 で適合を確認しています。

お知らせ

- PJLink® 対応コマンドについては次ページの表をご覧ください。
- 以下の状態の時などで制御動作／監視データがうまく動作／取得できないことがあります。
  - ・ スタンバイ時
  - ・ ZOOM/FOCUS 調整中
  - ・ LENS SHIFT 調整中
  - ・ 入力切り換え中
  - ・ AUTO POSITION 実行中
  - ・ BLANK 中
  - ・ コマンドの処理中
  - ・ 電源を入れた後、スプラッシュスクリーンが解除されるまでの間
- ZOOM/FUCUS 調整中、LENS SHIFT 調整中、BLANK 中などのとき、コマンドの返答に 5 秒ほどかかる場合があります。
- 1 台のプロジェクターに対して、1 台のコントローラーで制御／監視を行ってください。
- 実際の PJLink® による制御／監視の方法については、お使いになる PJLink® アプリケーションの使用説明書を参照してください。
- 本機能を用いてプロジェクターの監視を行う場合、状態問い合わせを連続で実施するときは、プロジェクターの返信を待ってから次の問い合わせを実施してください。

接続

接続について詳しくは、CD-ROM 内の「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」をご覧くださ い。

プロジェクターの設置 1 メニューの「スタンバイモード」の設定が「低」になっていると、LAN 接続が無効になります。LAN 接続を有効にするには、「スタンバイモード」の設定を「標準」にしてください。

はじめにネットワークの初期設定を行ってください。
初期設定は本体メニュー（45 ～ 47 ページ参照）または ProjectorView Global+ で行うことができます。
ProjectorView Global+ について詳しくは、CD-ROM 内の「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」をご覧くださ い。

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM には、アプリケーションソフト「Projector View Global+」、「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」および Acrobat® Reader™が収録されています。

LAN 制御 UTILITY 取扱説明書をご覧になるには ——

以下の手順に従ってご覧ください。

1. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる
2. CD-ROM“PROJECTOR”を開く
3. “Manual.pdf”のアイコンをダブルクリックする

お知らせ

- LAN 制御 UTILITY 取扱説明書をご覧になるためには、コンピューターに Adobe® Reader® または Acrobat® Reader™がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、以下の手順に従ってインストールしてください。

Acrobat® Reader™をインストールするには ——

1. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる
2. CD-ROM“PROJECTOR”を開く
3. “ACROBAT_READER”フォルダーを開く
4. インストール用ソフトのアイコンをダブルクリックする
5. 画面の指示に従ってインストールする

PJLink® 対応コマンド

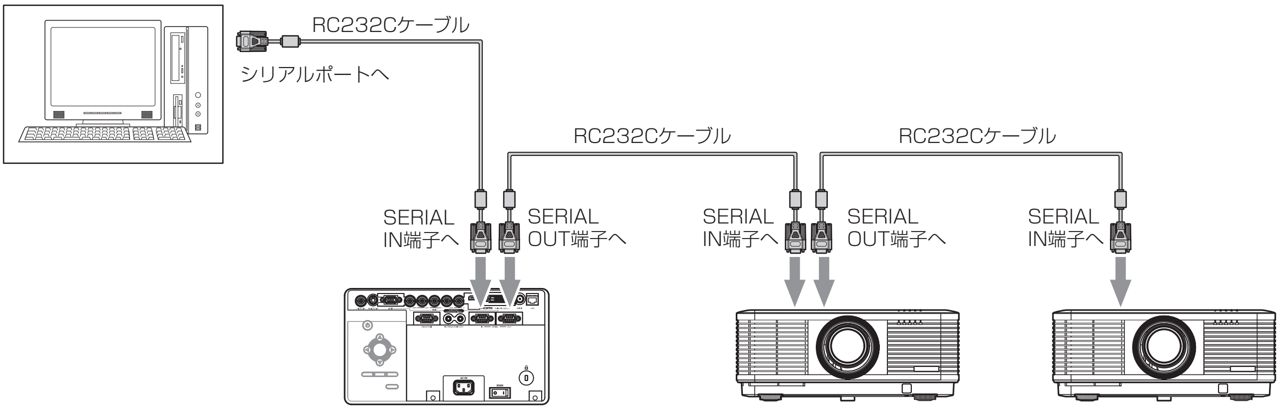
PJLink® プロトコルで本機で制御する際のコマンドは下表のとおりです。

コマンド	制御内容	備考 （パラメーター）
POWR	電源制御	0 ＝スタンバイ 1 ＝電源「入」
POWR?	電源状態問合せ	0 ＝スタンバイ 1 ＝電源「入」 2 ＝クーリング中 3 ＝ウォームアップ中
INPT	入力切り替え	11 ＝ COMPUTER1 12 ＝ COMPUTER2 21 ＝ VIDEO 22 ＝ S-VIDEO 31 ＝ HDMI 32 ＝ DVI 33 ＝ SDI
INPT?	入力切り替え問合せ	
AVMT	ミュート制御	30 ＝映像のミュート解除 31 ＝映像のミュート
AVMT?	ミュート状態問合せ	
ERST?	エラー状態問合せ	1 バイト目：ファンエラーを意味し、0 または 2 2 バイト目：ランプエラーを意味し、0 〜 2 のいずれか 3 バイト目：温度エラーを意味し、0 または 2 4 バイト目：カバーオープンエラーを意味し、0 または 2 5 バイト目：0 固定 6 バイト目：その他のエラーを意味し、0 または 2 0 〜 2 の各意味は以下のとおり 0 ＝エラーを検知していない　1 ＝警告　2 ＝エラー
LAMP?	ランプ状態問合せ	1 つ目の数字 (1 〜 5 桁)：ランプ 1 積算時間（ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ 1 の使用時間が表示されます。） 2 つ目の数字：0 ＝ランプ 1 消灯　1 ＝ランプ 1 点灯 3 つ目の数字 (1 〜 5 桁)：ランプ 2 積算時間（ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ 2 の使用時間が表示されます。） 4 つ目の数字：0 ＝ランプ 2 消灯　1 ＝ランプ 2 点灯
INST?	入力切り替え一覧問合せ	下記の値を応答します “11 12 21 22 31 32 33”
NAME?	プロジェクター名問合せ	ネットワークメニューまたは ProjectorView Setup ウィンドウのプロジェクター名で設定した名称を応答します
INF1?	メーカー名問合せ	“MITSUBISHI”と応答します
INF2?	機種名問合せ	“LVP-UD8400”と応答します
INFO?	その他情報問合せ	その他情報はありません。応答のパラメータは無しです
CLSS?	クラス情報問合せ	“1”と応答します

- 本プロジェクターは JBMIA PJLink® クラス 1 の規格に適合しています。PJLink® クラス 1 で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink® 標準仕様バージョン 1.0 で適合を確認しています。

SERIAL 端子による監視と制御

本機では SERIAL 端子を使用して複数のプロジェクターを一括または個別に監視と制御を行うことができます。
- 詳しくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

接続

- プロジェクターおよびコンピューターの電源が切れていることを確認する

1. **RS-232C ケーブルをコンピューターに接続する本機の SERIAL IN 端子に接続する**
2. **コンピューターのシリアルポートに RS-232C ケーブルのもう一方を接続する**
3. **RS-232C ケーブルをコンピューターに接続した本機の SERIAL OUT 端子に接続する**
4. **2 台目の本機の SERIAL 2 IN 端子に RS-232C ケーブルのもう一方を接続する**

- 2 台目以降は SERIAL OUT 端子と SERIAL IN 端子に RS-232C ケーブルを順につないでください。

お知らせ
- シリアル分配器を使用するシステムでは、本機を上記の接続で使用しないでください。

一括または個別に監視と制御を行う場合は、複数のプロジェクターに「プロジェクター ID」または、「グループ ID」を設定する必要があります。

プロジェクター ID を設定する

複数のプロジェクターを個別に監視と制御を行うことができます。
プロジェクター ID は「01」〜「63」の 2 桁の番号または、「ALL」です。それ以外の番号は設定できません。
- 本機の工場出荷時のプロジェクター ID は、「ALL」に設定されています。
- 複数のプロジェクターに同じプロジェクター ID を設定することで複数のプロジェクターを一括して監視と制御を行うことができます。

- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1. **オプションメニューを表示させる**
2. **▲、▼ボタンを押して「プロジェクター ID」を選ぶ**

3. **◀、▶ボタンを押してプロジェクター ID を設定する**

お知らせ
- 個別に監視と制御を行いたい場合は、異なる「プロジェクター ID」を設定してください。
- 「ALL」に設定するとすべてのプロジェクター ID で本機の監視と制御が行えます。

グループ ID を設定する

複数のプロジェクターをまとめてグループとして、グループごとに一括して監視と制御を行うことができます。
グループ ID は「A」〜「Z」です。最大 26 グループ作成することができます。
- 本機の工場出荷時のグループ ID は、「A」に設定されています。

- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

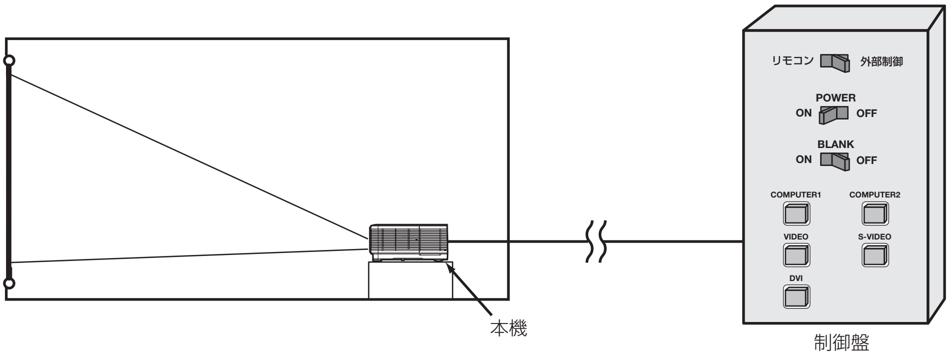
1. **オプションメニューを表示させる**
2. **▲、▼ボタンを押して「グループ ID」を選ぶ**

3. **◀、▶ボタンを押してグループ ID を設定する**

お知らせ
- グループごとに監視と制御を行いたい場合は、異なる「グループ ID」を設定してください。
- 詳しくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

制御盤などによる制御

本機をリモコンの信号が届かない場所に設置した場合などに、REMOTE1 IN 端子に制御盤などを接続して本機の制御を行うことができます。



制御できる機能

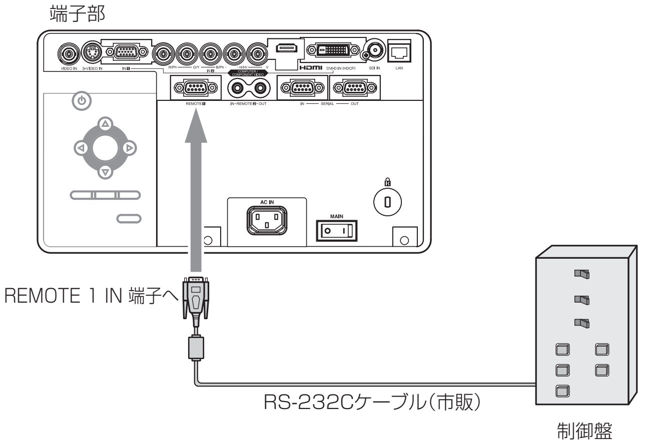
- 「リモコン」と「外部制御」の切換
- 入力信号の切換
- 電源の「入」「切」
- BLANK の「入」「切」

お知らせ

- 制御盤などで制御する場合は設置 1 メニューの「スタンバイモード」を「標準」に設定してください。「低」に設定した場合は制御できません。

接続

- プロジェクターおよび制御盤の電源が切れていることを確認する



1 **RS-232C ケーブルを本機の REMOTE 1 IN 端子に接続する**

2 **制御盤に RS-232C ケーブルのもう一方を接続する**

PIN 配置（初期値）

REMOTE 1 IN 端子（D-sub 9 ピン）

PIN No.	信号	オープン（H）	ショート（L）
1	GND	–	GND
2	POWER	OFF	ON
3	入力	–	COMPUTER 1
4	入力	–	COMPUTER 2
5	入力	–	VIDEO
6	入力	–	S-VIDEO
7	入力	–	DVI
8	BLANK	OFF	ON
9	有効 / 無効	有効（リモコン制御）	無効（外部接点制御）

- 設置 2 メニューの「REMOTE 1 モード」で「PIN 2」から「PIN 8」の機能を変更できます。32 ページをご覧ください。

お知らせ

- PIN 配置を初期値に戻す場合は、設置 2 メニューの「REMOTE 1 モード」で「リセット」を選びます。

接点制御

PIN No. 1 と PIN No. 9 をショートさせると制御盤などで制御できるようになります。

- PIN No. 1 と PIN No. 9 をショートさせると以下の機能が使用できません。
  - リモコンと本体操作部の「POWER」、「BLANK」
  - 上記機能に相当する RS-232C コマンドやネットワーク機能
  - 設置 2 メニューの「REMOTE 1 モード」、「オートパワーオン」、「オートパワーオフ」
  - 設置 1 メニューの「スタンバイモード」

入力切替制御

PIN No. 3 から PIN No. 7 のいずれかをショートさせると制御盤などで入力切替ができます。

- PIN No. 3 から PIN No. 7 のいずれかをショートさせると以下の機能が使用できません。
  - リモコンと本体操作部の「POWER」、「BLANK」、「COMPUTER 1」、「COMPUTER 2」、「VIDEO」、「S-VIDEO」、「DVI」、「HDMI」、「SDI」
  - 上記機能に相当する RS-232C コマンドやネットワーク機能

POWER 制御

PIN No. 2 をショート／オープンさせると制御盤などで電源の「入」／「切」ができます。

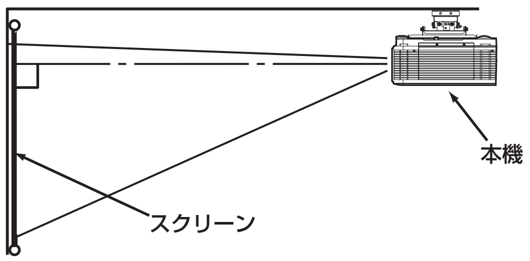
BLANK 制御

PIN No. 8 をショート／オープンさせると制御盤などで BLANK の「入」／「切」ができます。

設置工事を依頼するときは

天吊りして正面から映像を見る場合

天吊りにする場合は、別売の専用天吊り金具（63 ページ参照）を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

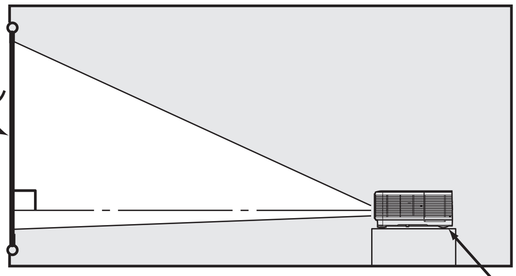


お知らせ

- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置 1 メニューの反転表示の設定を「上下左右」にしてください。くわしくは 15、31 ページをご覧ください。
- ブレーカーなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずブレーカーなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くには設置しないでください。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

設置工事は、必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



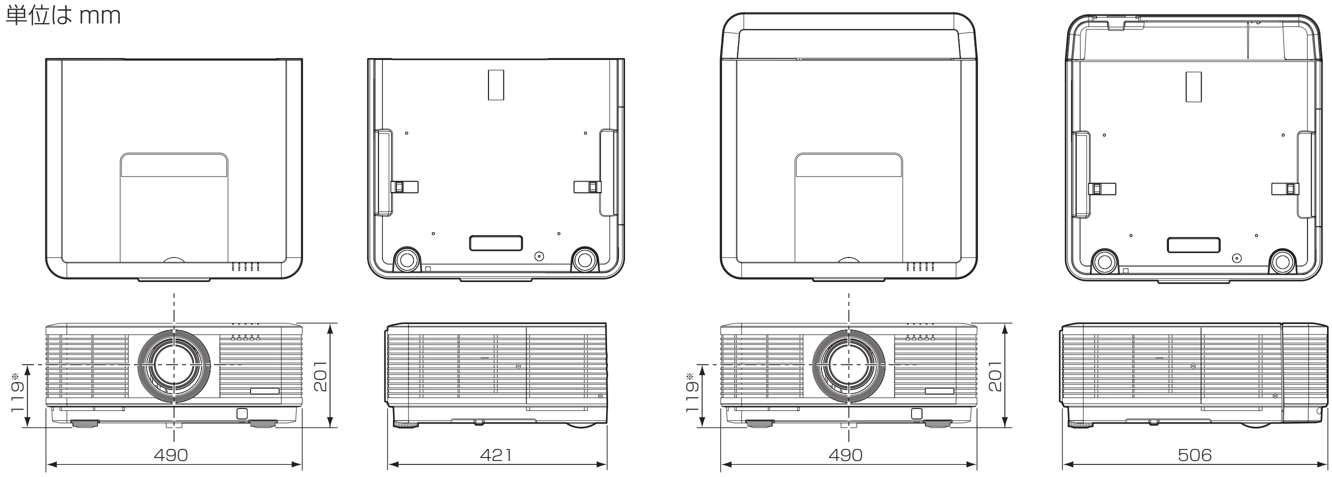
お知らせ

- 裏側から映像を見る場合、設置 1 メニューの反転表示の設定を「左右」にしてください。くわしくは 15、31 ページをご覧ください。

寸法図（参考）

単位は mm

ターミナルカバー装着時



※：レンズ中心位置の寸法は、出荷時の値です。

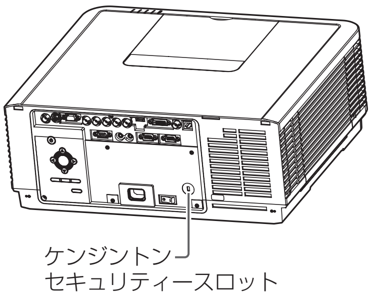
こんな機能もあります

ケンジントンセキュリティースロットについて

ケンジントンセキュリティースロットは、Kensington 社セキュリティーケーブルに対応しています。セキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルについては、日本総輸入代理店 七陽商事株式会社までお問い合わせください。連絡先は、以下の通りです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部
103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨウビル
TEL：03-3663-7740
FAX：03-3669-2367

注）連絡先等は、変更になる可能性があります。ご了承ください。



自動クリーニングフィルターについて

本機には、自動クリーニングフィルターを装着しています。面倒なフィルターの清掃を自動で行います。

- 本機の電源が「入」のとき、設定した時間が経過した後にフィルター清掃を行います。
- 前回の自動クリーニングフィルター動作からの動作積算時間が設定した時間を超えた場合、電源ボタンを押して電源を切った後に清掃を自動で行います。

お知らせ

- 動作積算時間が設定した時間を超えて、電源を入れてから 24 時間連続運転すると、本機が動作中に自動クリーニングフィルターが動作します。

清掃周期を設定する

メニューを使って自動クリーニングフィルターの清掃周期を設定します。

- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

1 設置 2 メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「フィルターメニュー」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 ▲、▼ボタンを押して「清掃周期」を選ぶ

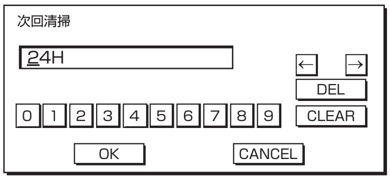
5 ◀、▶ボタンを押して「24H ↵」、「1 WEEK ↵」または「OFF」を選ぶ

24H ↵.........約 24 時間ごとにフィルター清掃を行います。
1 WEEK ↵.約 168 時間ごとにフィルターの清掃を行います。

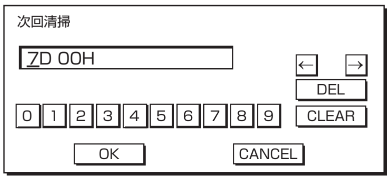
6 ENTER ボタンを押す

- 「24H ↵」または「1 WEEK ↵」を選ぶと次回の清掃までの時間入力画面が表示されます。

「24H ↵」



「1 WEEK ↵」



7 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する数字を選び、ENTER ボタンを押す

- 最大設定周期
  「24H ↵」...........24H（約 24 時間）
  「1 WEEK ↵」....7D 00H（約 168 時間）

  ←キー.................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
  →キー.................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
  DEL キー............入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
  CLEAR キー......入力した文字を全て消去する

- リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（0 ～ 9）」ボタンを押して入力することもできます。
- 入力された値が以下の条件に当てはまると画面中央にエラーダイアログ画面が 3 秒間表示されます。
  - ・DEL または CLEAR により値が消去され、空欄になっている場合
  - ・設定した時間が範囲外である場合
    24H ↵...............25H 以上
    1 WEEK ↵........7D 01H 以上
  - ・各項目が設定範囲外の値である場合
    D..........................8 以上（「1 WEEK ↵」のみ）
    H..........................25 以上

8 「OK」を選び、入力した周期を設定して終了するまたは「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

- 「OK」または「CANCEL」を選ぶと清掃周期メニューへ戻ります。

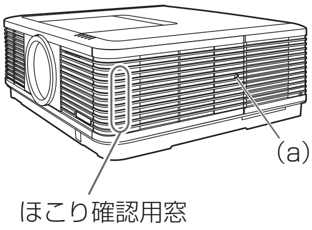
自動クリーニングフィルターのお手入れのしかた

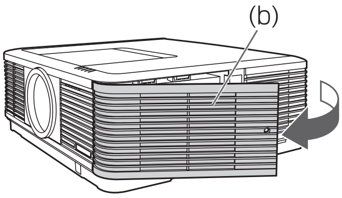
フィルターカバーのほこり確認用窓から溜まったほこりの量を確認し、ほこりが溜まっていれば下記の手順でお手入れをしてください。

お手入れをする前には必ずプロジェクターの主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントより抜いてください。

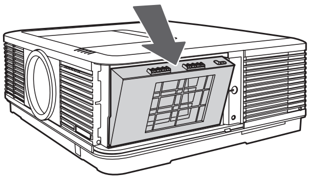
- 自動クリ－ニングフィルタ－のダストボックスがほこりで一杯になるとクリーニング性能が低下します。このような状態で使用するとフィルタ－にほこりがたまりプロジェクタ－本体内部の温度が異常に高くなり、内部部品を傷めたり、パネルの寿命に影響を与えるなどして故障の原因になることがあります。
- 本体内部の温度が異常に高くなると、内部部品保護のため電源が切れて光源ランプが消灯したスタンバイ状態になることがあります。

1 フィルターカバー止めネジ 1 本（a）をプラスドライバーでゆるめ、フィルターカバー（b）を本体から取り外す



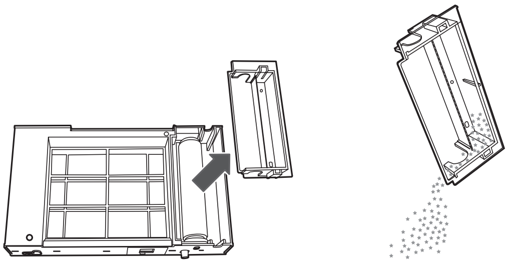


2 自動クリーニングフィルターを取り外す

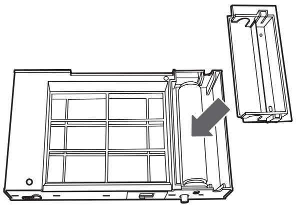


3 自動クリーニングフィルターのダストボックスを取り外し、たまったほこりを捨てる

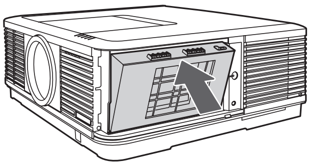
- 自動クリーニングフィルターおよび本体に付着しているゴミやほこりは掃除機などで吸い取ってください。



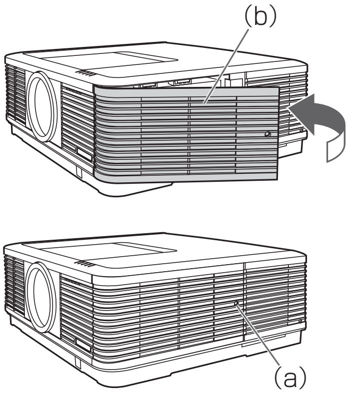
4 ダストボックスを自動クリーニングフィルターに取り付ける



5 自動クリーニングフィルターを取り付ける



6 フィルターカバー（b）を本体に差し込み、フィルターカバー止めネジ 1 本（a）をプラスドライバーでしっかりと締める



お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶液（ベンジンやシンナーなど）やスプレーを使用しないでください。ランプ点灯の際、可燃成分に引火し、火災や故障の原因となることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品（ブローワーブラシなど）でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

ターミナルカバーをきれいにする

ターミナルカバー内は異物やほこりがたまりやすいので、そうじはこまめに行ってください。

光源ランプを交換する

本機には、DMD の映像を投写するために光源ランプが 2 灯内蔵されています。
本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。光源ランプは、必ず別売りの LVP-UD8400 専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店またはテクニカルサポートセンター・ご相談窓口にご依頼ください。

LVP-UD8400 用光源ランプ
形名：VLT-XD8000LP

⚠警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。主電源スイッチを切らずに交換を行うと、感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと、感電や火災の原因となります。入ったものが取れないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取り出した光源ランプは決して振ったり、目の上より高い位置に持って行ったりしないでください。ガラス片が飛び散ったり、落下したりして目に入るなどのけがの恐れがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので、光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約 2 分間お待ちください。そして主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上たって充分に冷えてから交換を始めてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、光源ランプの取っ手を持って行ってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをおすすめします。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

⚠注意

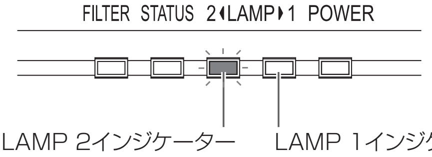
本機は光源ランプの使用時間が 3000 時間※1 を超えると LAMP インジケーターが点滅し、パワーオンするたびに画面上に 1 分間メッセージが表示されます。3800 時間※1 を超えると以後 20 時間※1 おきに画面上に 1 分間ランプ交換メッセージ（ランプ交換）が表示されます。また、光源ランプの使用時間が 4000 時間※1※2 を超えると自動的に電源が切れます。

- 光源ランプは、交換以外の目的では取り出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプの破裂や不点灯に至るまでの時間は、高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも速やかに新しい光源ランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプボックス部の中や外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります（白いガス）。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりした場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例もしくは規則に従って廃棄してください。
- 光源ランプは専用の VLT-XD8000LP をご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。

※1：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※2：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は 2000 時間）。

ランプ交換をする前に

1 LAMP 1 または LAMP 2 のどちらのインジケーターが点灯または点滅しているか確認する

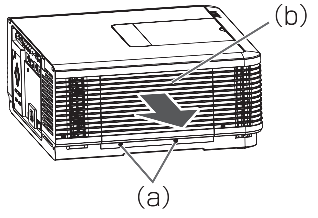


- ランプ交換が必要なときのインジケーター表示については 66 ページをご覧ください。
- 点灯／点滅している方のランプを以下の手順で交換してください。
- 両方のインジケーターが点灯／点滅している場合は、2 個同時に交換してください。

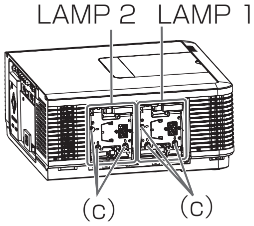
床置き時のランプ交換のしかた

1 主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

2 ランプカバー止めネジ 2 本（a）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバー（b）を本体から取り外す



3 交換するランプボックスの固定ネジ 3 本（c）をプラスドライバーでゆるめる

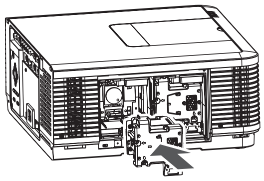


4 取っ手を引き上げる

5 取っ手を持って、ランプを本体から抜き出す

- ランプボックスを本体から抜き出す際は、ゆっくりと行ってください。光源ランプが破裂している場合は、急に抜き出すとガラス片が飛び散る恐れがあります。
- 取り出した光源ランプに水などをかけたり、お子さまの手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

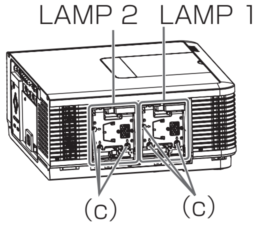
6 新しいランプの取っ手を持って、本体の穴の形状にランプ形状の方向を合わせて、ランプを奥に当たるまで差し込む



7 取っ手を収納部に押し込む

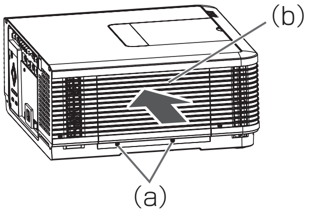
- 取っ手が確実にロックされていることを確認してください。

8 交換したランプボックスの固定ネジ３本（c）をプラスドライバーでしっかりと締める



- ネジはしっかりと確実に締めてください。

9 ランプカバー（b）を本体に差し込み、ランプカバー止めネジ２本(a)をプラスドライバーでしっかりと締める



- ランプカバーがはずれていると、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

必ず交換した方のランプ使用時間をリセットしてください。

メニューを使ってランプ使用時間のリセットをします。

- メニュー設定のしかたは 29 ページをご覧ください。

10 電源プラグをコンセントに差し込み、主電源スイッチを入れる

11 電源ボタン（⏻）を押す

12 オプションメニューを表示させる

13 ▲、▼ボタンを押して「アドバンスド メニュー」を選ぶ

アドバンスド メニュー	ENTER

14 ENTER ボタンを押す

15 ▲、▼ボタンを押して LAMP 1 を交換した場合は「ランプ１ 時間リセット」、LAMP 2 を交換した場合は「ランプ２時間リセット」を選ぶ

ランプ1 時間リセット	OK
ランプ2 時間リセット	OK

16 ENTER ボタンを押す

- 確認のダイアログが表示されます。

ランプ 1 時間リセット ?
OK : ENTER　中止 : MENU

17 ENTER ボタンを押してリセットする

- リセットしない場合は MENU ボタンを押してください、
- 正しくリセットされた場合、交換した方の LAMP インジケーターが赤色に２回点滅します。点滅したことを確認してください。
- ２灯のランプ使用時間が共に 4000 時間※を超えていた場合、電源を「入」にしたあと３分間のみ本機を操作することができます。この間に操作 12～17 を実行してランプ使用時間のリセットを行ってください。
- ランプを交換していないときは使用時間をリセットしないでください。

※：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は2000 時間）。

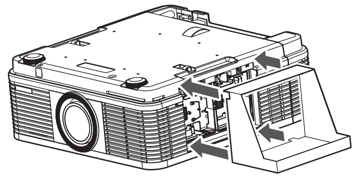
天吊り時のランプ交換のしかた

天吊りしているプロジェクターからランプを取り外すときは、ガラスの破片等から身を守るため、プロジェクターに付属のランプ交換用トレーをお使いください。

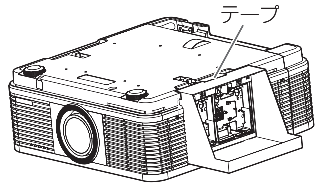
- ランプ交換用トレーの組み立てかたについては、トレーに付属の説明書をお読みください。

1 「床置き時のランプ交換のしかた」の操作 1 ～ 4 を実行する

2 ランプ交換用トレーをプロジェクターに取り付ける



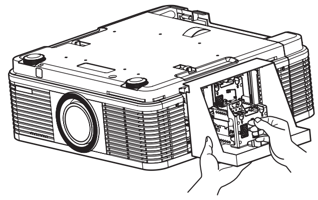
3 ランプ交換用トレーを、トレーに付属のテープを使ってプロジェクターに固定する



4 プロジェクターを固定しながら、交換するランプボックスの取っ手を持ってを引き出す

- ランプボックスを取り出す際にガラスの破片等がこぼれないように、ランプ交換用トレーを固定してください。
- ランプの落下の恐れがあるので、ランプをランプ交換用トレーの上に直接載せないでください。

5 ランプ交換用トレーと一緒にランプを取り出す



6 「床置き時のランプ交換のしかた」の操作 6 ～ 17 を実行する

お知らせ

- その他の設置角度のときは、「床置き時のランプ交換のしかた」を参考にしてランプ交換してください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

<table>
<tr><th>現象</th><th>確認／処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>
● インジケーターの点灯のしかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>LAMP 1</th><th>LAMP 2</th><th>STATUS</th><th>FILTER</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>消灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>• 電源コードを本機に接続する。
• 電源プラグをコンセントに接続する。
• 主電源スイッチを入れる。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">赤点灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>• 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 主電源スイッチを切る。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 主電源スイッチを入れる。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>消灯</td><td>オレンジ点滅</td><td>消灯</td><td>• 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
• 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。
• フィルターが汚れていないか確認する。
→フィルターの手入れをする（56 ページ参照）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">緑点滅※</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>• LAMP インジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
• ファンの動作中に主電源スイッチを切ると、次に主電源スイッチを入れたとき、約 2 分間点灯できなくなる場合があります。
• 光源ランプを消灯した後、約 2 分間は再点灯できません。
• 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">赤点灯※</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>• 点灯しているインジケーターの光源ランプを交換する。（光源ランプの交換時間に達しています。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">赤 / 緑点滅</td><td rowspan="2">消灯</td><td rowspan="2">消灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>• ランプカバー、フィルターカバー、カラーホイール交換用カバーを取り付ける。</td></tr>
<tr><td colspan="2">点灯※
または
点滅※</td><td>• 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td></tr>
</table>
※：片方または両方のインジケーターが表示されている状態。
</td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>
● BLANK ボタンを押して BLANK を解除する。
● ランプ点灯に 2 分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
● 主電源スイッチを入れたとき、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。
● オプションメニューの SCART 入力の設定を「OFF」にする。（35 ページ参照）
● 吸気口が汚れていないか確認する。
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器を合わせてご使用ください。
● レンズキャップをはずす。
</td></tr>
<tr><td>電源が切れる</td><td>
● 吸気口、排気口がふさがれているときに切れることがあります。
（このとき、STATUS インジケーターはオレンジ点滅しています。）
→吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。
1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ（STATUS インジケーターが消灯するまで待つ）。
2. 主電源スイッチを切る。
3. 10 分以上待つ。
4. 主電源スイッチを入れる。
5. 電源ボタンを押す。
● LAMP インジケーターが赤点灯しているときは、ランプ交換の表示です。インジケーターが点灯している方の光源ランプを交換してください。
● オートパワーオフが設定されていませんか。
● ランプが劣化した場合、点灯後しばらくしてから消灯することがあります。
</td></tr>
<tr><td>パスワード入力画面が表示される</td><td>
● オプションメニューのパスワードロック機能で「映像表示」が設定されています。
→パスワードを入力する、またはプロジェクターの管理者に問い合わせる。
</td></tr>
</table>

映像が映らない（つづき）

現象	確認／処置
「入力信号がありません」が表示される	● 接続した機器の電源を入れる。または、接続した機器が故障していないか確認する。 ● 外部機器の信号が出力されているか確認する。（特にノートタイプのコンピューターの場合） ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 ● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。 ● RGB 接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることを確認してください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器を合わせて使用してください。

映像がおかしい

現象	確認／処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITION ボタンを押す。 ● コンピューターの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する。（36 ページ参照） ● 排気が投写レンズの方向へ向かうような風が吹いていないか確認する。
映像がひずむ	● 本機と投写面が垂直になるように調整する。（12 ページ参照）
映像が暗い	● 画質メニューのブライトの調整をする。（39 ページ参照） ● ランプを交換する（58、59 ページ参照）。
映像がぼやける	● フォーカスを合わせる。（14 ページ参照） ● レンズをきれいに拭く。 ● リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● 画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする。（39 ページ参照） ● 本機と投写面が垂直になるように調整する。（12 ページ参照）
映像に光る点が見える 映像に黒い点が見える	● DLP® プロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 （一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99% 以上は有効な画素数です。）
映像に細かい縞模様が見える	● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。
映像が乱れる	● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。 ● 入力信号によっては、台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。
色合いがおかしい	● 信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定が正しく設定されているか確認する。（36 ページ参照） ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
色合いが異なる	● 本機を 2 台以上投写し、比較した場合、色合いが異なることがありますが、故障ではありません。 ● テレビやパソコンのモニターなどと比較した場合、色再現範囲の違いなどにより色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
コンピューターの動画部分だけが表示できない	● コンピューターの問題です。コンピューターメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	● コンピューターの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる。（64 ページ参照） コンピューターの出力解像度の変更については、コンピューターメーカーにお問い合わせください。 ● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。 ● SUPER RESOLUTION を ON に設定していると、映像がにじむことがあります。OFF に設定してください。（30、40 ページ参照）
映像の周囲にノイズが見える	● DVD 等の映像によっては、記録されている映像の周囲にノイズがある場合があります。その場合は、信号設定メニューのオーバースキャンの設定値を下げてください。（36 ページ参照）
WXGA 信号の映像が正常に表示されない	● 41 ページの「コンピューター映像の調整」を行ってください。

故障かなと思ったら（つづき）

その他

現象	確認／処置
排気口から温風が出る	● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じられることがありますが、故障ではありません。
メニュー設定ができない	● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →一度主電源スイッチを切り、10 分以上たってからもう一度主電源スイッチを入れる。
画面上に「温度異常！！」が表示（点滅）される	● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。
⃠マークが表示される	● 動作しない操作を行ったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない、効きにくい	● 乾電池が消耗していないか確認する。（2 ページ参照） ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する。（10 ページ参照） ● リモコンの操作範囲から外れていませんか。（10 ページ参照） ● リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号が合っているか確認する。（11、53 ページ参照） ● REMOTE1 IN 端子に制御盤などを接続して本機を制御していないか確認する。（54 ページ参照） ● ターミナルカバーを取り付けると、後方からのリモコンが効きにくくなることがあります。 →ターミナルカバーを取り外す。
本体操作部のボタン（電源ボタンを除く）がはたらかない	● オプションメニューのパスワードロック機能で「キー操作」が設定されています。 →設定を解除する。 ● REMOTE1 IN 端子に制御盤などを接続して本機を制御していないか確認する。（54 ページ参照）
異音がする	● カラーホイールが高速回転しているため、まれに金属音がすることがありますが故障ではありません。
FOCUS/ZOOM が動作しない レンズシフトが動作しない	● 設置 1 メニューのレンズロックが「ON」になっていないか確認する。（31 ページ参照）

ランプ交換のあとで以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認／処置
電源が入らない	● ランプカバーをきちんと取り付ける。
LAMP インジケーターが赤点灯する	● 交換した方のランプ使用時間をリセットする。（59 ページ参照）

仕様 （仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。）

形名			LVP-UD8400
表示方式			DLP®（単板 DMD）
光学方式			時分割色分離・合成方式
表示素子	サイズ		0.67 形 DMD × 1（枚）、アスペクト比 16：10
	画素数		2,304,000 画素（1920 × 1200）×1 枚
投写レンズ	焦点距離		f=24.5 ～ 33.1mm
	F 値		F2.0 ～ F2.4
光源			高圧水銀ランプ　330W × 2
画面サイズ（投写距離）			最小 40 形～最大 300 形（投写距離 1.4 ～ 10.9m）
表示可能解像度	コンピューター信号入力時		最大入力解像度：1920 × 1200 ドット パネル表示解像度：1920 × 1200 ドット
	ビデオ信号入力時		表示可能信号：NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC 水平解像度：600TV 本（S端子入力時）
	コンポーネントビデオ信号入力時		表示可能信号：480i、480p、576i、576p、720p、1080i、1080p パネル表示解像度：1920 × 1200 ドット
コンピューター入出力	コンピューター入力	映像入力	ミニ D-Sub15 ピン（RGB、YP_BP_R、YC_BC_R 信号対応）、1 系統 BNC 端子× 5（RGB、YP_BP_R、YC_BC_R 信号対応）、1 系統 • RGB：0.7Vp-p 75 Ω /1.0Vp-p 75Ω（同期負極性） • Y：1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） • P_BP_R/C_BC_R：0.7Vp-p 75Ω • HD/CS：TTL レベル（負または正極性） • VD：TTL レベル（負または正極性）
			DVI-D、1 系統
ビデオ入出力	ビデオ入力	映像入力	BNC 端子、1 系統 • 1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） S 端子、1 系統 • Y：1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） • C：0.286Vp-p 75 Ω（バースト信号）
	HDMI 入力	映像入力	HDMI、1 系統
	SDI 入力	映像入力	SDI 端子（BNC）、1 系統 • SD-SDI 信号（YC_BC_R 4:2:2 10 ビット） • HD-SDI 信号（YP_BP_R 4:2:2 10 ビット） • 3G-SDI 信号（YP_BP_R 4:2:2 10 ビット）
制御入出力 / その他			シリアル端子 IN/OUT（D-Sub 9 ピン オス、RS-232C 準拠）：各 1 系統 REMOTE1 IN（D-Sub 9 ピン メス）：1 系統 REMOTE2 IN/OUT（φ 3.5mm ステレオミニジャック）：各 1 系統 LAN 端子（RJ-45）：1 系統
使用温度 / 使用湿度			使用温度範囲：5 ～ 40℃（平地モード：床置き / 天吊り時） 5 ～ 35℃（上記以外） 使用湿度範囲：30 ～ 90%
電源			AC100V、50/60Hz
消費電力			8.7A　870W 待機時:2W（スタンバイモード「標準」時）／ 0.2W（スタンバイモード「低」時）
外形寸法（幅×高さ×奥行き）			490mm×201mm×421mm（本体のみ）※本体突起部含まず 490mm×201mm×506mm（ターミナルカバー装着時）※本体突起部含まず
質量			約 16kg（本体のみ）　約 16.5kg（ターミナルカバー装着時）

「JIS C 61000-3-2 適合品」
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

スクリーン	（形名 SCR-A50P）	オプションレンズ	（形名 OL-XD2000SZ）	光源ランプ	（形名 VLT-XD8000LP）
	（形名 SCR-A60P）		（形名 OL-XD2000LZ）	天井用取付金具ベース	（形名 BR-GB1※）
	（形名 SCR-A80P）		（形名 OL-XD2000TZ）	天井用取付アダプター	（形名 BR-XD8100S※）
			（形名 OL-XD8000UZ）	高天井用ポール	（形名 BR-XD400P）
			（形名 OL-XD2000FR）	カラーホイール	（形名 CW-FC2）

※：BR-GB1、BR-XD8100S はセットでご使用ください。単独では天井へ取り付けられません。

お知らせ

● オプションレンズ、オプションカラーホイールの取り付けや交換は必ず教育を受けた専門業者に依頼してください。
くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

仕様（つづき）

接続できる信号の種類

信号モード	解像度（H × V）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	通常表示（H × V）	リアル表示（H × V）	
TV60, 480i (525i)	720 × 480	15.73	59.94	1600 × 1200	—	*1
TV50, 576i (625i)	720 × 576	15.63	50.00	1600 × 1200	—	*1
1080i 60 (1125i 60)	1920 × 1080	33.75	60.00	1920 × 1080	—	*1, *2, *3
1080i 50 (1125i 50)	1920 × 1080	28.13	50.00	1920 × 1080	—	*1, *2, *3
480p (525p)	720 × 480	31.47	59.94	1600 × 1200	—	*1, *2, *3
576p (625p)	720 × 576	31.25	50.00	1600 × 1200	—	*1, *2, *3
720p 60 (750p 60)	1280 × 720	45.00	60.00	1920 × 1080	—	*1, *2, *3
720p 50 (750p 50)	1280 × 720	37.50	50.00	1920 × 1080	—	*1, *2, *3
1080p 60 (1125p 60)	1920 × 1080	67.50	60.00	1920 × 1080	—	*1, *2, *3
1080p 50 (1125p 50)	1920 × 1080	56.25	50.00	1920 × 1080	—	*1, *2, *3
CGA70	640 × 400	31.47	70.09	1920 × 1200	640 × 400	
CGA84	640 × 400	37.86	84.13	1920 × 1200	640 × 400	
CGA85	640 × 400	37.86	85.08	1920 × 1200	640 × 400	
VGA60	640 × 480	31.47	59.94	1600 × 1200	640 × 480	*2, *3
VGA72	640 × 480	37.86	72.81	1600 × 1200	640 × 480	
VGA75	640 × 480	37.50	75.00	1600 × 1200	640 × 480	
VGA85	640 × 480	43.27	85.01	1600 × 1200	640 × 480	
SVGA56	800 × 600	35.16	56.25	1600 × 1200	800 × 600	
SVGA60	800 × 600	37.88	60.32	1600 × 1200	800 × 600	*2, *3
SVGA72	800 × 600	48.08	72.19	1600 × 1200	800 × 600	
SVGA75	800 × 600	46.88	75.00	1600 × 1200	800 × 600	
SVGA85	800 × 600	53.67	85.06	1600 × 1200	800 × 600	
SVGA95	800 × 600	59.97	94.89	1600 × 1200	800 × 600	
XGA60	1024 × 768	48.36	60.00	1600 × 1200	1024 × 768	*2, *3
XGA70	1024 × 768	56.48	70.07	1600 × 1200	1024 × 768	
XGA75	1024 × 768	60.02	75.03	1600 × 1200	1024 × 768	
XGA85	1024 × 768	68.68	85.00	1600 × 1200	1024 × 768	
SXGA70a	1152 × 864	63.85	70.01	1600 × 1200	1152 × 864	
SXGA75a	1152 × 864	67.50	75.00	1600 × 1200	1152 × 864	
SXGA85a	1152 × 864	77.49	85.06	1600 × 1200	1152 × 864	
WXGA60	1280 × 768	47.78	59.87	1920 × 1152	1280 × 768	*2
WXGA60a	1280 × 800	49.70	59.81	1920 × 1200	1280 × 800	*2
WXGA60b	1360 × 768	47.71	60.02	1920 × 1084	1360 × 768	
WXGA60c	1366 × 768	47.50	59.75	1920 × 1080	1366 × 768	
WXGA+60	1440 × 900	55.94	59.89	1920 × 1200	1440 × 900	*2, *3
SXGA60b	1280 × 960	60.00	60.00	1600 × 1200	1280 × 960	
SXGA75b	1280 × 960	75.00	75.00	1600 × 1200	1280 × 960	
SXGA85b	1280 × 960	85.94	85.00	1600 × 1200	1280 × 960	
SXGA60	1280 × 1024	63.98	60.02	1500 × 1200	1280 × 1024	*2, *3
SXGA75	1280 × 1024	79.98	75.02	1500 × 1200	1280 × 1024	
SXGA85	1280 × 1024	91.15	85.02	1500 × 1200	1280 × 1024	
SXGA+60	1400 × 1050	63.98	60.02	1600 × 1200	1400 × 1050	
	1400 × 1050	65.32	59.98	1600 × 1200	1400 × 1050	*2, *3
SXGA+75	1400 × 1050	82.28	74.87	1600 × 1200	1400 × 1050	
WSXGA+60	1680 × 1050	65.29	59.95	1920 × 1200	1680 × 1050	
MAC13	640 × 480	35.00	66.67	1600 × 1200	640 × 480	
MAC16	832 × 624	49.72	74.55	1600 × 1200	832 × 624	
MAC19	1024 × 768	60.24	75.02	1600 × 1200	1024 × 768	
HP75	1024 × 768	62.94	74.92	1600 × 1200	1024 × 768	
HP72	1280 × 1024	78.13	72.00	1500 × 1200	1280 × 1024	
SUN66a	1152 × 900	61.85	66.00	1536 × 1200	1152 × 900	
SUN76a	1152 × 900	71.81	76.64	1536 × 1200	1152 × 900	
SUN66	1280 × 1024	71.68	66.68	1500 × 1200	1280 × 1024	
SUN76	1280 × 1024	81.13	76.11	1500 × 1200	1280 × 1024	
SGI72	1280 × 1024	76.92	72.30	1500 × 1200	1280 × 1024	
SGI76	1280 × 1024	82.01	76.00	1500 × 1200	1280 × 1024	
UXGA60	1600 × 1200	75.00	60.00	1600 × 1200	1600 × 1200	*2, *3
WUXGA60	1920 × 1200	74.04	59.95	1920 × 1200	1920 × 1200	

*1： SPLIT、イメージキャプチャーには対応しません。
*2： COMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子も対応しています。
*3： HDMI IN 端子も対応しています。

お知らせ

- 本機の最大解像度は 1920 × 1200 ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G 対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります（このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください）。
- SYNC ON G 対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは、接続するコンピューターの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080i はハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号などを RGB 信号で入力するときは、信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定を「RGB」にしてください。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 480p の 4 線（R、G、B、CS*）出力機器および 5 線（R、G、B、H、V）出力機器について本機は対応していません。
  *：Composite Sync

リアル表示について

投写画面上にモアレが発生したり、または投写画面上の線の太さがばらつくときは、入力信号そのままの大きさで表示（リアル表示）することにより、見やすくなることがあります。リアル表示にするためには、あらかじめ、オプションメニューの画角の設定を「REAL」にします。(メニューの操作方法については、29 ページ参照)

- パネル解像度より大きい信号は、中央部のみ表示されます。はみ出した部分は表示されません。
- パネル解像度より小さい信号は黒枠付きで表示されます。
- 信号によってはパネル解像度より大きい信号も黒枠付きで表示されることがあります。

SDI 対応信号

SD-SDI	480i
	576i
HD-SDI	720/50p
	720/60p
	1080/50i
	1080/60i
	1080/24p
3G-SDI	1080/50p
	1080/60p

- 信号フォーマットは 1/1.001 についても対応しています。

索引

ア行
アドバンスドメニュー（オプションメニュー）..... 34
アドバンスドメニュー（画質メニュー）.... 30
アフターサービス..... 67
色合い.....30、39
色温度.....30、39
色の濃さ.....30、39
エッジブレンディング.....33、43
オートパワーオフ.....14、32
オートパワーオン..... 32
オプションメニュー..... 34

カ行
画角.....22、34
画質メニュー..... 30
カラーエンハンサー.....30、39
乾電池を入れる..... 2
ガンマモード..... 40
曲面補正..... 17
クランプ位置.....36、42
クランプ幅.....36、42
言語選択..... 34
高地モード.....15、31
コーナー補正..... 16
コントラスト.....30、39
コンピューターとの接続..... 19

サ行
自動クリーニングフィルター..... 56
シネマモード..... 34
上部曲がり補正.....36、42
シャープネス.....30、39
仕様..... 63
詳細設定メニュー.....36、42
信号設定メニュー..... 36
信号判別..... 35
スタンバイモード..... 31
接続
　コンピューター..... 19
　ビデオ機器..... 25
　DVD プレーヤー..... 25
　ハイビジョンデジタルチューナー..... 25
接続できる信号の種類..... 64
設置 1 メニュー..... 31
設置 2 メニュー..... 32

タ行
台形補正..... 16
投写角度の調整.....14、15
投写距離..... 12

ナ行
ネットワーク..... 45
ネットワークメニュー.....37、45

ハ行
パスワード..... 50
バックカラー..... 32
反転表示.....15、31
ビデオ機器との接続..... 25
ピントの調整..... 14
フィルター..... 56
フォーカス調整..... 14
付属品..... 2
ブライト.....30、39
プロジェクター ID.....11、53
分周比.....36、42
別売品..... 63

マ行
マルチ画面メニュー.....33、43
メニュー位置..... 34
メニューの基本の操作方法..... 29

ラ行
ランプカバー..... 58
ランプの交換..... 58
ランプモード..... 31
ランプリレー.....31、48
リモコン ID..... 11
リモコン受光部.....8、10
レンズシフト.....14、31

B
BLANK.....16、23

D
DVD プレーヤーとの接続..... 25

F
FILTER インジケーター.....9、60、66

G
GEOMETRY..... 16

H
HDMI.....26、27

L
LAMP1/2 インジケーター
.....9、13、58、60、66

N
NCM.....30、40

P
POWER インジケーター
.....9、13、60、66

S
SCART 入力..... 35
SPLIT..... 23
sRGB..... 30
STATUS インジケーター
.....9、60、66
SUPER RESOLUTION.....30、40

端子について

SERIAL IN/OUT 端子（D-Sub 9 ピン）

PIN No.	名　称	I/O
1	–	–
2	TXD	入力
3	RXD	出力
4	–	–
5	GND	–
6	–	–
7	–	–
8	–	–
9	–	–

COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1 端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

HDMI IN 端子

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	TMDS Data2+	8	TMDS Data0 Shield	15	SCL
2	TMDS Data2 Shield	9	TMDS Data0-	16	SDA
3	TMDS Data2-	10	TMDS Clock+	17	DDC Ground
4	TMDS Data1+	11	TMDS Clock Shield	18	+5 V Power
5	TMDS Data1 Shield	12	TMDS Clock -	19	Hot Plug Detect
6	TMDS Data1-	13	CEC		
7	TMDS Data0+	14	–		

COMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子（DVI-D 24 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	TMDS DATA 2 –	9	TMDS DATA 1 –	17	TMDS DATA 0 –
2	TMDS DATA 2 +	10	TMDS DATA 1 +	18	TMDS DATA 0 +
3	TMDS DATA 2 Shield	11	TMDS DATA 1 Shield	19	TMDS DATA 0 Shield
4	–	12	–	20	–
5	–	13	–	21	–
6	DDC Clock	14	+ 5V Power	22	TMDS Clock Shield
7	DDC Data	15	GND (for +5V)	23	TMDS Clock +
8	–	16	Hot Plug Detect	24	TMDS Clock –

インジケーターの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが5つあります。インジケーターの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

■「POWER」、「STATUS」、「FILTER」：現在の状態を表示します。

	POWER	STATUS	FILTER	状態	備考
正常時	赤点灯	消灯	消灯	電源スタンバイ状態またはクーリング状態	
	緑点灯	消灯	消灯	電源「入」（通常時）	ランプの状態はLAMPインジケーターに表示されます。
		消灯	緑点滅	自動クリーニングフィルター動作中	インジケーターが消えるまでは電源を切らない。
異常時	赤/緑点滅	消灯	消灯	● ランプカバー、フィルターカバー、カラーホイール交換用カバー※2のいずれかが開いている ● 自動クリーニングフィルターを取り付けていない	● すべてのカバーを閉じる。 ● 自動クリーニングフィルターを取り付ける（56ページ参照）。
		点灯※1 または 点滅※1		故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
	緑点灯	消灯	オレンジ点滅	自動クリーニングフィルターが正しく動作していない	
	赤点灯 または 緑点灯	オレンジ点滅	消灯	本機内部が高温になっている ● 吸気口または排気口をふさいでいる ● 暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している ● フィルターが汚れている	● ふさいでいる物をとる。 ● 設置場所を変える。 ● フィルターの手入れをする。（56ページ参照）

※1：片方または両方のインジケーターの表示状態。
※2：別売品のカラーホイールと交換できます。（63ページ参照）

■「LAMP 1」、「LAMP 2」：各ランプの状態を表示します。

	LAMP 1 / LAMP 2	状態	備考
正常時	緑点滅	ランプ点灯時、ランプウォームアップ状態（電源「切」の操作はできません。） ランプ消灯時、ランプクーリング状態（電源「入」の操作はできません。）	
	緑点灯	ランプ点灯中	
交換表示	赤点滅 または 赤/緑点滅	ランプ交換表示（通算約3000時間※3使用）	点灯または点滅しているインジケーターの光源ランプを交換する。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
	赤点灯	ランプ交換表示（通算約4000時間※3※4使用）	
異常時	オレンジ点滅	保護機能がはたらいている または ランプ異常 片側のランプのみが異常の場合 ● ランプ選択を「デュアル」に設定時： 正常なランプのみが点灯します（1灯の明るさになる） ● ランプ選択を「シングル」または「ランプ1」、「ランプ2」に設定時： 正常なランプのみが点灯します（ランプ切換はできません）	両方のインジケーターが点滅している場合は、点滅が消えてから電源ボタンを押す。上記の操作を数回行っても光源ランプが点灯しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。 どちらか一方のインジケーターが点滅している場合で、異常が発生しているランプを再点灯させたいときは一旦電源を切り、点滅が消えてから電源ボタンを押す。上記の操作を数回行っても光源ランプが点灯しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

※3：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※4：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は約2000時間）。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

● 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から 1 年間です
但し、ランプは 1 年以内で 500 時間まで

● **ランプ使用時間の確認方法**
スタンバイ状態で、▲、▼ボタンを押しながら、電源ボタン（⏻）を押します。LAMP 1、LAMP 2 のインジケーターが約 5 秒間、緑色に点灯する場合は、点灯した方のランプの使用時間が 500 時間以内です（ランプ使用中は点灯しません）。

● **光源ランプを交換されるときは**
光源ランプは専用の VLT-XD8000LP をご使用ください。他のランプを使用された場合、製品の保証を受けられないことがあります。

■補修用性能部品の最低保有期間

● 当社は、DLP® プロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低 8 年間保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
● 光源ランプなどの消耗部品の他に、液晶パネル、偏光板、PBS（光偏光素子）、カラーホイールなどの光学部品及び冷却ファンは寿命部品で、定期的な交換が必要です。長時間（毎日 6 時間以上）ご使用されると、1 年未満であっても修理・交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙やほこりの多い場所でご使用になると、定期的な交換サイクルを早める場合があります。詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

● 三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは

◎「故障かなと思ったら」の手順にしたがって、お調べください。
● なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

◎ **保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。

◎ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎ **修理料金は**
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

◎ **ご連絡いただきたい内容**

1.	品　　名	三菱 DLP® プロジェクター
2.	形　　名	LVP-UD8400
3.	お買上げ日	年　月　日
4.	故障の状況	（できるだけ具体的に）
5.	ご住所	（付近の目印なども）
6.	お名前・電話番号・訪問希望日	

お問合わせ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報を、下記のようにお取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事、および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質やサービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

三菱電機
テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは

全国どこからでもおかけいただける
三菱電機テクニカルサポートセンター
0120-32-7440（無料）
Tel:075-353-0654
（携帯電話、PHSでお問い合わせの場合）

■受付時間　平日・土日・祝日（弊社指定休日除く）
午前 9：00～12：00/午後 1：00～9：00

FAX　075-353-0685
E-mail　pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する**詳細情報**や**応用例**などを、WWWサーバでもご提供しています。
www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/business

三菱電機株式会社（本社窓口）

購入、買替えのご相談は
三菱電機株式会社（本社窓口）
TEL:03-3218-6107（有料）

■ 受付時間　平日（土日・祝日・弊社指定休日除く）
午前 9：00～12：00/午後 1：00～5：30

● 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役にたちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

このDLP® プロジェクターの形名は LVP-UD8400 です。

愛情点検 ● 長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	● 電源コード、電源プラグが異常に熱い。 ● コゲくさい臭いがする。 ● 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。 ● その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

DLP®プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

A
PRINTED IN JAPAN

三菱電機株式会社
京都製作所　〒617－8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

871D570A30